

岩手県紫波町埋蔵文化財調査報告書 2012

比爪館跡

第23次・第24次発掘調査報告書

平成 25 年 3 月
紫波町教育委員会

例 言

- 1 本書は、岩手県紫波郡紫波町南日詰字箱清水^{しわぐんしわちやうみなみひづめあざほこしみず}に所在する比爪館跡^{ひづめだて}の、町立赤石小学校プール建設に伴う、第23次及び第24次（1999年及び2000年調査）緊急発掘調査成果の報告書である。
- 2 調査期間及び面積
発掘調査 第23次 平成11年7月1日～同年12月3日 面積 807㎡
第24次 平成12年4月17日～同年12月15日 面積 702㎡
- 3 調査主体 紫波町教育委員会（教育長 川村秀彦）
調査体制 平成11年度 平成12年度
紫波町教育委員会社会教育課 左同課
課長 佐々木 忠 課長 多田 祥一
係長 藤尾 智子 係長 藤尾 智子
主任主事 桜井 芳彦（調査担当） 副主査 桜井 芳彦（調査担当）
- 4 グリッド配置図は、5百分の1紫波町都市計画図を使用し遺構等の方向表示は同図の第X系の北方向に一致する。グリッド数値は、基-2を0とし、水系レベルはすべて97.700mに統一した。
- 5 座標数値 基-1 X=-51838.60m Y=+28741.50m H=97.889m
基-2 X=-51897.94m Y=+28669.81m H=97.807m（平面直角座標第X系による）
調査区中心地 北緯39° 32' 06" 東経141° 09' 45"（平成14年測量法世界測地系）
- 6 遺構層相の色相観察は、小山・竹原著「新版標準土色帖」日本色研事業(株)を使用した。
- 7 本書に掲載した地形図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図、紫波町発行の2千5百分の1都市計画図等である。
- 8 各遺構における遺構記号は次のとおりである。

遺構名	竪穴住居跡	掘立柱建物跡	土 坑	溝 跡	井戸跡	柵 列	焼土遺構	柱 穴
記 号	SI	SB	SK	SD	SE	SA	SX	SP
- 9 発掘調査及び本報告書作成にあたり、つぎの機関、各位の御指導・御協力を賜った。記して感謝の意を表したい。（敬称略）
岩手県教育委員会事務局文化課、岩手県立博物館、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、平泉町教育委員会
相原康二、伊藤博幸、大矢邦宣、桐生正一、斉藤利男、高橋信雄、高橋與右衛門、西野修、本沢慎輔、八重樫忠郎、八木光則
- 10 発掘調査等の作業には次の方々に参加、協力を頂いた。
箱崎一男、米川保丈、加藤英佐子、吉田満子、黒田トシコ、小澤由香里、稲垣淳子（室内整理含む）
- 11 本書は、桜井芳彦（前紫波町教育委員会生涯学習課）が執筆、編集していたものを、平成24年度に花籠博文（紫波町教育委員会文化財専門調査員）が再整理して補筆、編集を行ったものである。
なお、補筆、編集にあたっては羽柴直人氏からご指導頂いた。

比爪館跡 第23次、第24次発掘調査報告書

目 次

例言・目次

I 遺跡の立地と環境

1 立 地 1

2 地 形・地 質 1

3 周 辺 の 遺 跡 2

4 比爪館遺跡調査の歴史的環境 2

II 調査の成果

1 調査の内容 5

 (1) 掘立柱建物跡 5

 (2) 溝 跡 19

 (3) 井 戸 跡 20

 (4) 土 坑 跡 26

 (5) 竪穴住居跡 35

 (6) 陥 し 穴 40

III 調査成果のまとめ

1 遺 構 41

2 出土遺物 (実測土器一覧表) 42

実測図版

第1図 比爪館跡位置図 1

第2図 第23次、第24次調査区位置図 3

第3図 第23次、第24次調査遺構全体図 4

第4図～第22図 掘立柱建物跡 5～18

第23図 溝跡 19

第24図～第27図 井戸跡 21～25

第28図～第33図 土坑跡 27～32

第34図～第37図 竪穴住居跡 36～38

第38図～第39図 陥し穴 39～40

出土遺物実測図版

第40図～第54図 出土土器 49～63

第55図～第61図 井戸跡出土木製品 64～70

第62図～第63図 土坑跡出土木製品 71～72

写真図版

写真1～写真2 調査区全景 75～76

写真3 溝跡 77

写真4 竪穴住居跡 78

写真5～写真6 井戸跡 79～80

写真7～写真14 土坑跡 81～88

写真15 溝跡 89

写真16～写真26 出土遺物(土器、白磁) 90～100

写真27～写真29 〃 (木製品) 101～103

I 遺跡の立地と環境

1 立地 (第1図)

本遺跡は、北上川の西方900m、JR東北線日詰駅の南東500mに位置する。遺跡は中位花巻段丘相当面上に立地し、南流する北上川と南方800mを西から東流する滝名川によって周囲が解析された段丘上の微高地に立地している。

遺跡全体の地目は、学校・宅地・神社・墓地・畑地・水田・草地・山林・道路・水路等からなり、本遺跡としての範囲は4万㎡以上、南接する五郎沼も含めての総面積は10万㎡を超える。

2 地形・地質 (第2図)

紫波町のほぼ中央を北上川が縦断して南流する。北上川の西部一帯は奥羽山脈から流れ出て北上川に注ぐ滝名川・大坪川・五内川等の中小河川群によって、広く扇状地や氾濫低地が形成されており、そこに多くの段丘面が形成されている。本遺跡は、前記河川群の形成する河岸低地周辺に広く形成された、下位都南段丘面に乗る。砂を多量に含む粘土層の上に、赤土が別個に薄い層をなし、その上を火山灰層が薄く覆っている。この面は、河岸低地に残る自然堤防その他の微高地とともに、各所で本遺跡と併行期の小規模散布地を点在させるほか、平安期の大規模集落を乗せている。以下、本遺跡の立地、地形及び地質の詳細については、比爪館第9次、第10次調査報告書(1992)に掲載済であるので省略する。



第1図 比爪館跡位置図 (S=1:50,000)

3 周辺の遺跡

本遺跡の北に隣接して北日詰東ノ坊遺跡、また、東北新幹線建設の際、岩手県教育委員会によって調査されかわらけの採集が報告されている大日堂・南日詰大銀Ⅰ・Ⅱの各遺跡がある。微高地上に平安期の土師器・須恵器片の散布がみられる区域であり、本遺跡平安集落の一部をなすものと思われる。特に、比爪館跡の東側、北上川との間に位置する南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡及び下川原Ⅰ・Ⅱ遺跡が近年（財）岩手県文化振興事業団により発掘調査が行われ、かわらけの他中国産陶磁器等が出土しており、比爪館跡と同時期の関連遺跡であると考えられる。

参考引用文献

- 中川久夫他「北上川中流沿岸の第四系及び地形」地質学雑誌1963
 高橋文雄「都南村湯沢遺跡Ⅲ地形・地質」岩手県埋蔵文化財センター1978
 岩手県企画開発室発行「北上山系土地開発分類基本調査『花巻』」
 狩野敏夫他「東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ」岩手県教育委員会1981
 「南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書」2011「下川原Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書」2011
 （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

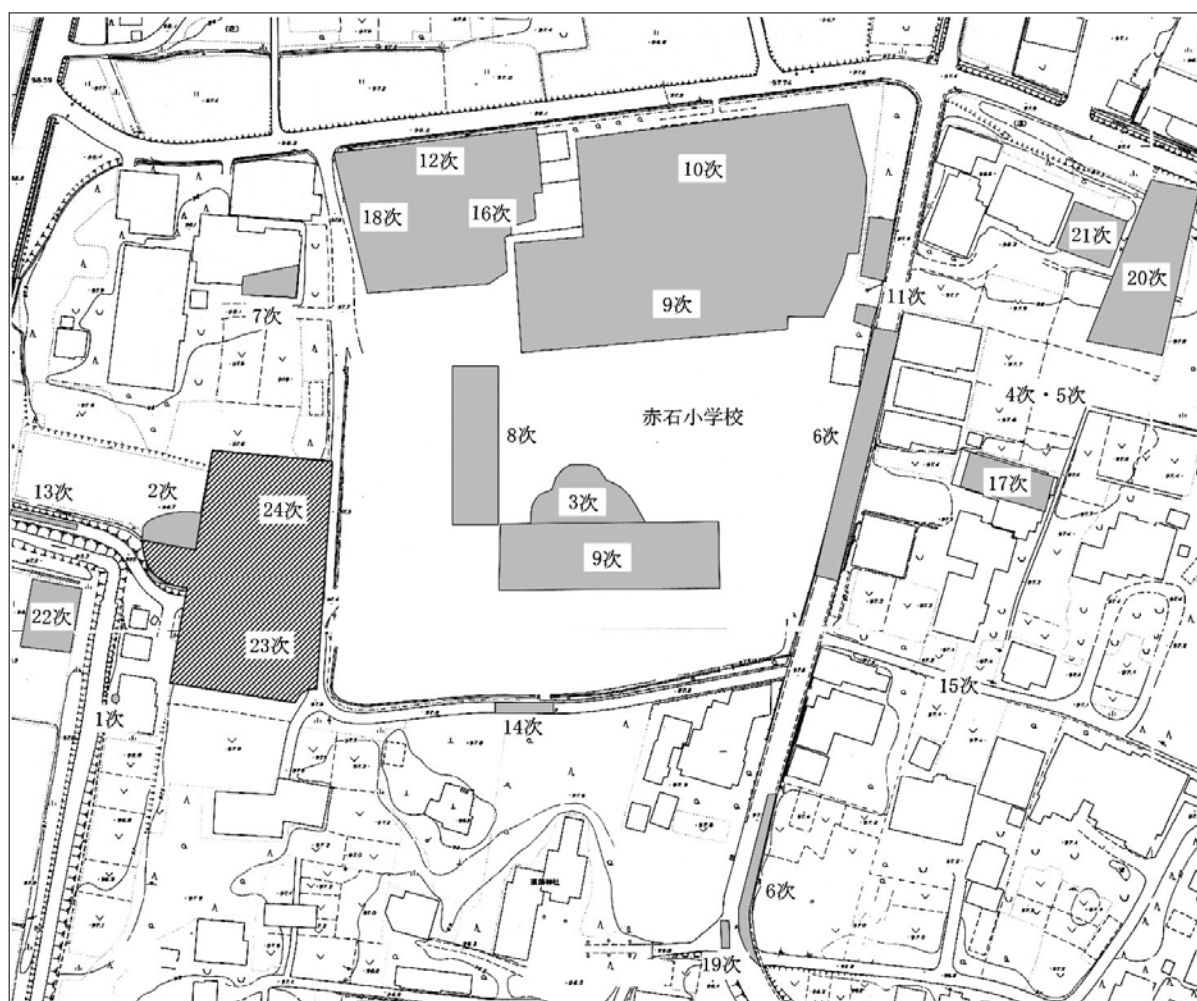
4 比爪館跡調査の歴史的環境

奥州藤原氏の一族、比爪氏の居館として「吾妻鏡」に記載のある比爪館跡は、近世以降多くの研究者によりその場所をとりざたされてきた。その多くが日詰の北にある独立丘陵高水寺城跡（現城山公園）を擬定地としていたことは第一次の比爪館跡発掘調査報告書（1966板橋源）に詳しくまとめられている。大正年間、岩手県による史跡名勝天然記念物調査報告に五郎沼とその周辺からの若干の遺物出土が報告されたが（1923.1926小笠原謙吉）、実際に考古学的調査が始まったのは1965年の板橋源氏の発掘からである。氏は以後数次にわたる調査の結果、この箱清水地内を比爪館跡と断定している（比爪館跡発掘調査報告書 第一次～第五次 1966・1974・1976年 紫波町教育委員会）。それ以後は、当町教育委員会により開発行為（主として赤石小学校施設整備工事関連）に伴う緊急発掘調査が続けられている。

調査年次一覧表

次数	調査年	調査原因	面積	主な検出遺構	報告書
第1	昭和40年(1965)	学術調査	230㎡	掘立柱建物、土坑跡	比爪館発掘調査報告書
第2	昭和44年(1969)	校庭整備	500㎡	掘立柱建物跡、溝跡、竪穴住居跡	比爪館発掘調査報告書
第3	昭和47年(1972)	学術調査			
第4	昭和49年(1974)	学術調査	55㎡	竪穴住居、土坑、柱穴跡	比爪館跡第4次・第5次発掘調査報告書
第5	昭和50年(1975)	学術調査	63㎡		
第6	昭和57年(1982)	町道改良	370㎡	井戸跡	比爪館遺跡第6次発掘調査報告書
第7	昭和60年(1985)	校舎建設	356㎡	掘立柱建物跡、溝跡、井戸跡	比爪館遺跡第7次発掘調査報告書
第8	昭和62年(1987)	校舎建設	355㎡	掘立柱建物跡、土坑、溝跡	比爪館第8次・第19次～第22次発掘調査報告書
第9	昭和63年(1988)	校舎建設	2,060㎡	掘立柱建物、大溝跡	比爪館第9次・第10次発掘調査報告書
第10	平成元年(1989)		2,100㎡		
第11	平成2年(1990)	校舎建設	76㎡	竪穴住居、土坑跡	比爪館第11次～第18次発掘調査報告書
第12	平成3年(1991)		465㎡	竪穴住居跡	
第13	平成3年(1991)	範囲確認	36㎡	内容確認	紫波町の遺跡町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ

次数	調査年	調査原因	面積	主な検出遺構	報告書
第14	平成3年(1991)	下水道関連	350㎡	試掘調査	
第15	平成4年(1992)		350㎡	試掘調査	
第16	平成4年(1992)	校舎建設	415㎡	竪穴住居跡、土坑、井戸跡	比爪館第11次～第18次発掘調査報告書
第17	平成5年(1993)	倉庫建設	167㎡	溝跡、柱穴	紫波町の遺跡町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ
第18	平成6年(1994)	校舎建設	255㎡	土坑、溝跡、井戸跡	比爪館第11次～第18次発掘調査報告書
第19	平成6年(1994)	下水道関連	15㎡	溝跡	比爪館第8次・第19次～第22次発掘調査概報
第20	平成8年(1996)	宅地造成	525㎡	土坑、溝跡	
第21	平成9年(1997)	個人住宅	123㎡	掘立柱建物跡	
第22	平成9年(1997)		94㎡	井戸跡	
第23	平成11年(1999)	校舎建設	807㎡	掘立柱建物跡	本書
第24	平成12年(2000)	校舎建設	702㎡	土坑、溝跡、井戸跡	



第2図 調査済位置図、第23次・第24次調査区位置図



第3図 第23次・第24次調査遺構全体図 (S=1:250)

II 調査の成果

1 調査の内容

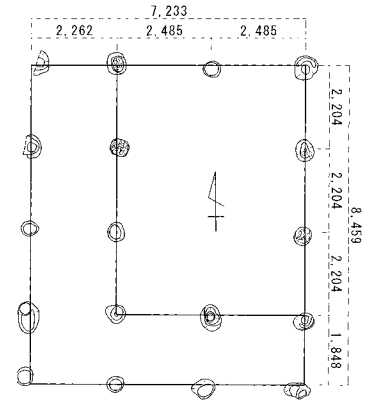
調査の成果として報告する内容は、掘立柱建物6棟、溝跡7条、土坑43基、竪穴住居跡3棟、陥し穴6基である。以下、これらに伴う出土遺物も併せて調査内容を報告する。

(1) 掘立柱建物

第23次・第24次の両調査区から、平面形や断面・規模などから柱穴とは考えられないものも含め、合わせて490基の小ピットが検出された。そのうち建物跡としての配列が確認されたものは6棟分、126基である。残る360基以上は、その配列関係が現時点で不明である。

SB-14 掘立柱建物跡 (第4図～第6図)

第23次調査及び東端列は第24次調査による検出。柱穴遺構の分布が薄くなっている調査区南西寄りでは検出。10世紀初頭頃と判断されるSI-61 竪穴住居跡を切っているほか、北東隅の柱穴が、かわらけを多く出土するSK-281 土坑跡に切られている。

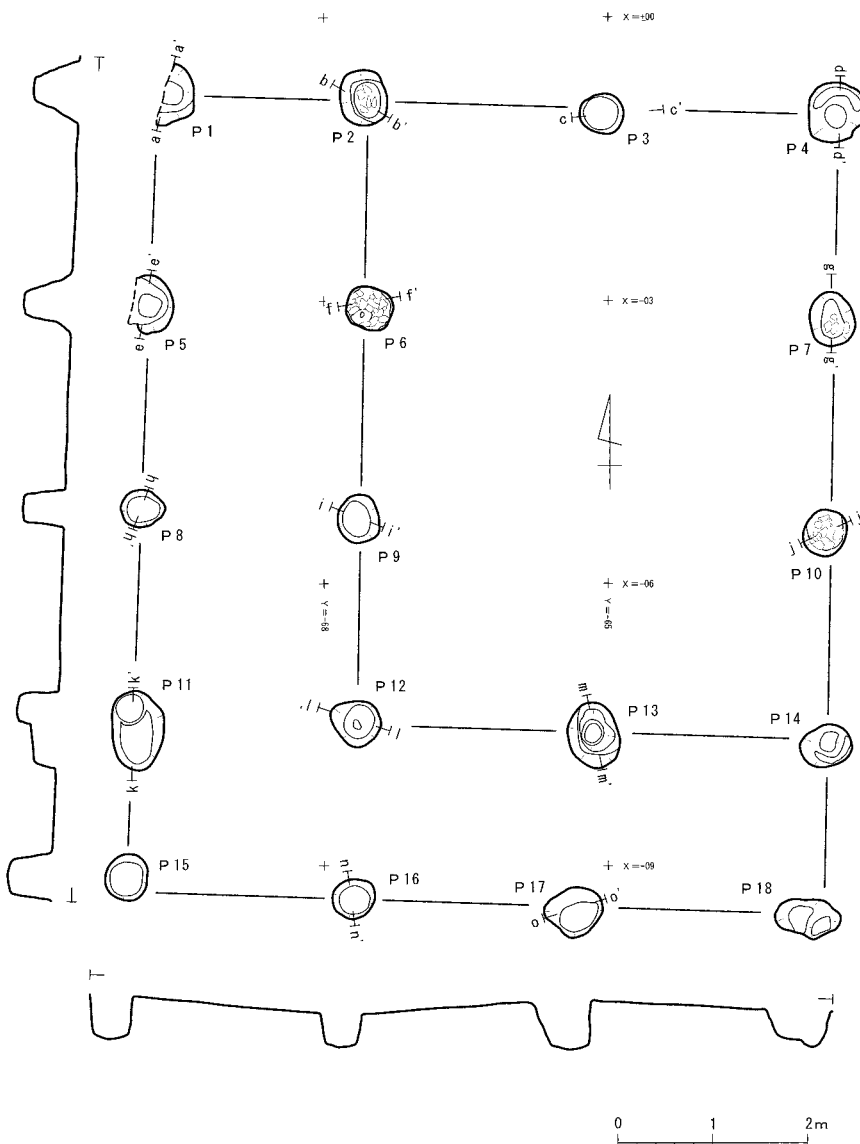


第4図
SB-14柱間計測値 (単位mm)
S=1:200

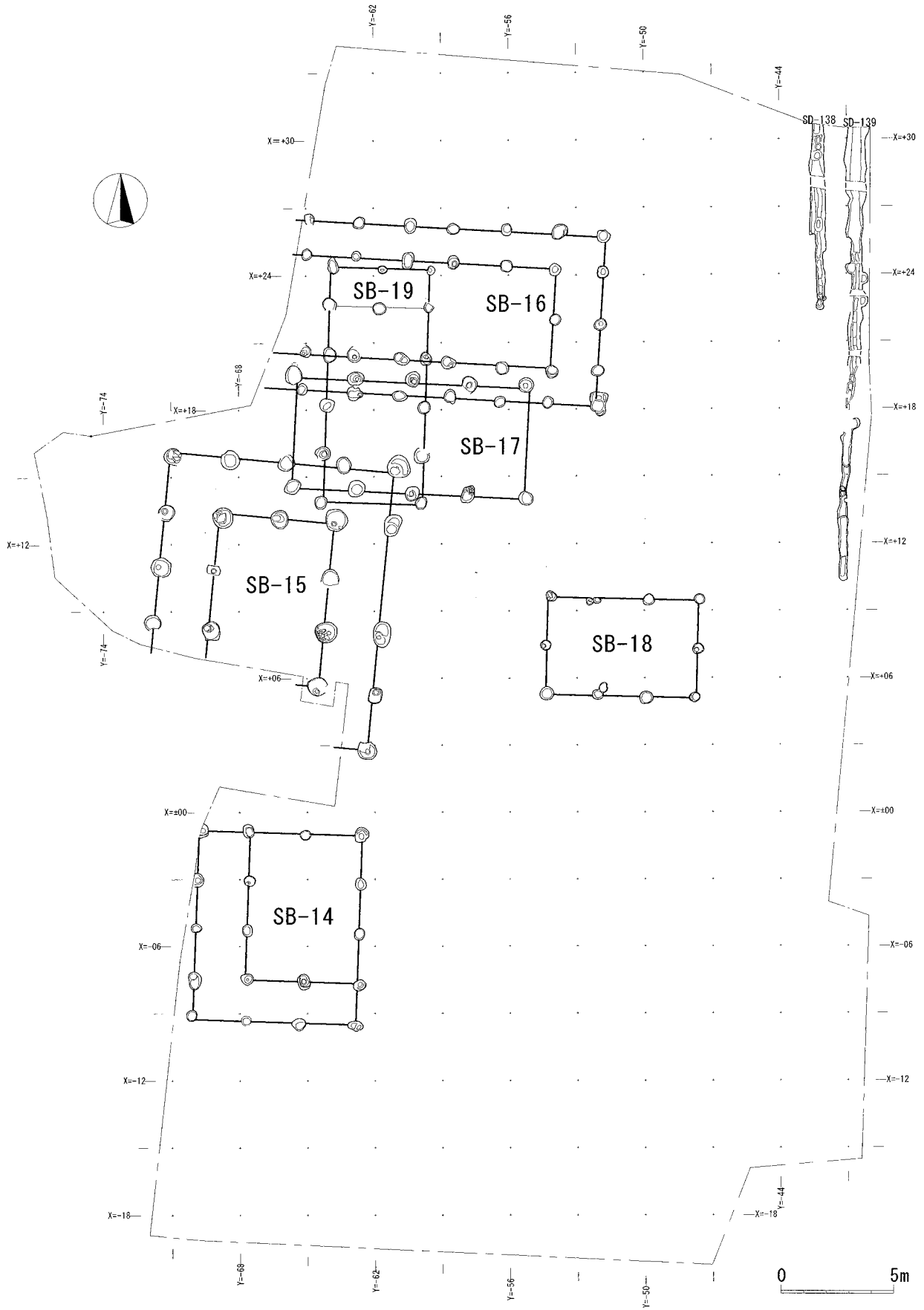
建物は南北に長く、身舎は3間×2間で、桁行6.61m、1間2.2mの7.26尺(7尺とすれば1尺=31.49cm)、梁行4.97m、1間2.49mの8.22尺(8尺とすると1尺=31.06cm)を測る。南と西に庇を持ち、南庇は1.85m、西庇は平均2.26mの間尺となっている。

本建物跡の柱穴規模は、開口部での直径は35cm～55cm、深さは35cm～60cmを測る。いずれも平面円形を呈し、平面および断面の観察から、直径20cm～25cmの丸柱を用いていたことが伺える。また、身舎の西列北側2基・東列中央2基の柱穴底に小礫数個から10数個による根石が確認された。柱穴は18基の検出であり、建物を構成するすべての柱穴であろう。

本建物跡は、東西の柱穴列とも、真北から東へ1度振れている。

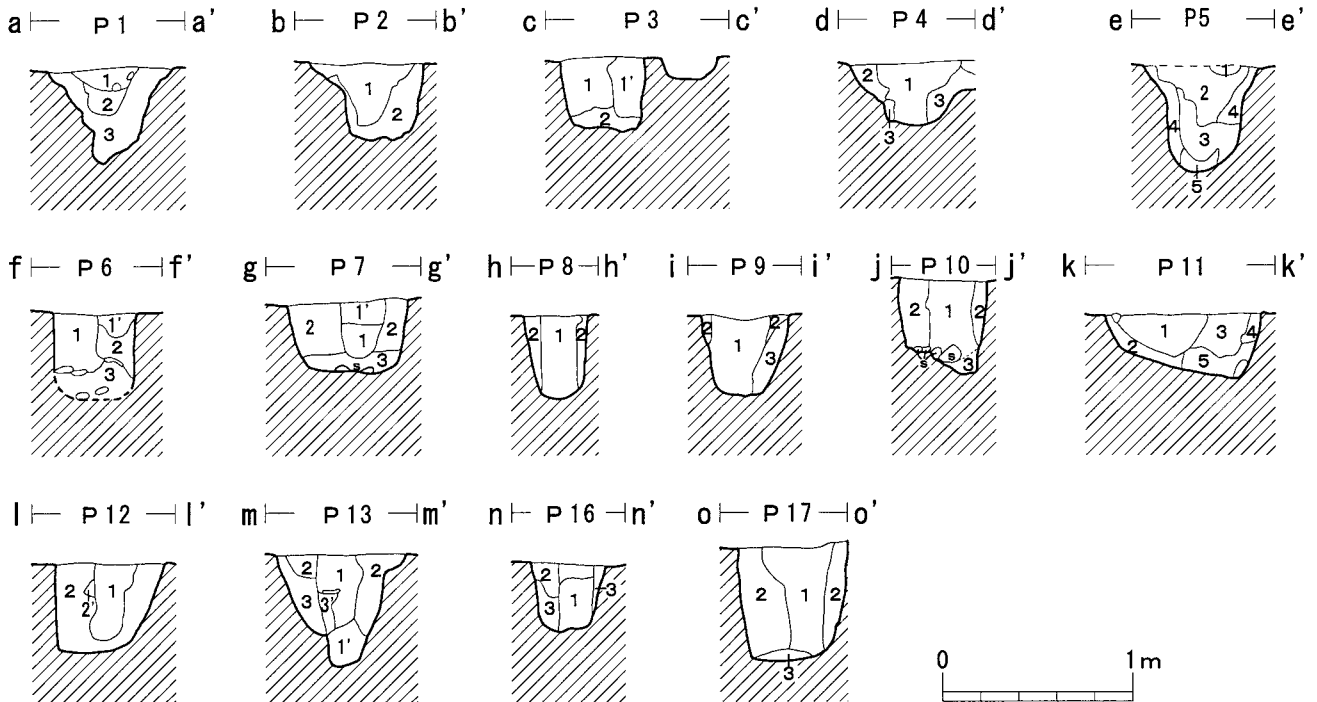


第5図 SB-14掘立柱建物跡平面図 (S=1:80)



第6図 掘立柱建物跡配置図 (S=1:250)

出土遺物 本建物の柱穴では、P4、P5、P7、P9～P11、P13～P17で、若干のかわらけ小片・細片の出土を見た。ただし、手捏ね成形と思われる土器片は極度に少なくほとんど認められない。当然実測可能なものも少なく、P5、P9、P14から各1点の出土のみの掲載となっている。(第53図282、第54図300・301) これら実測遺物も含め、本遺構から出土したものには、色調が明褐色から橙色を呈し焼成が甘く細粒からなる胎土の土器片と、色調が灰白色～にぶい黄橙色を呈し硬く焼き締められた胎土の粗いもので黒変を有する土器片がある。他の遺構では、これらの中間的な色調・焼成を呈する土器群が存在する。



第7図 SB-14掘立柱建物跡柱穴断面図 (S=1:40)

SB-14掘立柱建物跡柱穴断面注記 (第7図)

a - a' 断面 (P 1)

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。小礫含む。
- 2層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや軟。地山土粒含む。
- 3層土 7.5YR4/4褐色土。下位に地山土粒混入。

b - b' 断面 (P 2)

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。少量の地山土粒含む。
- 2層土 10YR3/2黒褐色土。軟。地山土粒・1層土小ブロック含む。

c - c' 断面 (P 3)

- 1層土 7.5YR3/1黒褐色土。やや硬。2層土小ブロック含む。
- 1'層土 1層土に2層土小ブロック多く入る。やや硬。
- 2層土 10YR3/3暗褐色土。軟。

d - d' 断面 (P 4)

- 1層土 10YR2/1黒褐色土。軟。褐色地山土小ブロック含む。
- 2層土 褐色地山土ブロック主体に1層土混入。
- 3層土 1層土のやや硬。褐色地山土小ブロック含む。

e - e' 断面 (P 5)

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。地山土粒多。
- 2層土 7.5YR5/6明褐色土。やや硬。
- 3層土 2層土と4層土のブロック状混土。軟。
- 4層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。地山土大小ブロック含む。
- 5層土 4層土の極度に軟らかいもの。

f - f' 断面 (P 6)

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。小地山土粒少量含む。
- 1'層土 1層土に小地山土粒多く含む。
- 2層土 10YR3/4暗褐色土と1層土の小ブロック状混土。
- 3層土 10YR3/4暗褐色土ブロック主体。軟。1層土小ブロック混入。

g - g' 断面 (P 7)

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。極暗褐色地山土粒・炭化粒含む。
- 1'層土 褐色地山土ブロックに若干の1層土混在。
- 2層土 1層土に褐色地山土・極暗褐色地山土両小ブロック多く含む。硬。
- 3層土 7.5YR2/2黒褐色土。1層土と極暗褐色地山土ブロックとの均一な混土。粘土質を呈す。やや硬。

h - h' 断面 (P 8)

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック含む。
- 2層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや軟。地山土小ブロック多く含む。

i - i' 断面 (P 9)

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック含む。
- 2層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。
- 3層土 2層土の軟。地山土小ブロック多く含む。

j - j' 断面 (P 10)

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。7.5YR3/3極暗褐色地山土粒多く含む。炭化粒含む。
- 2層土 1層土に上記地山土小ブロック及び7.5YR4/6褐色地山土小ブロックともに多く含む。
- 3層土 上記褐色地山土ブロックに1層土が入る。

k - k' 断面 (P 11)

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。地山土小ブロック・小礫含む。
- 2層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック多く含む。
- 3層土 1層土に地山土粒多く含む。
- 4層土 7.5YR4/2黒褐色土。硬。
- 5層土 4層土の軟。地山土粒・地山土小ブロック含む。

l-l' 断面 (P12)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 地山土小ブロック含む.
 2層土 1層土に地山土ブロック多く混入.
 2層土 2層土の地山土ブロック主体.

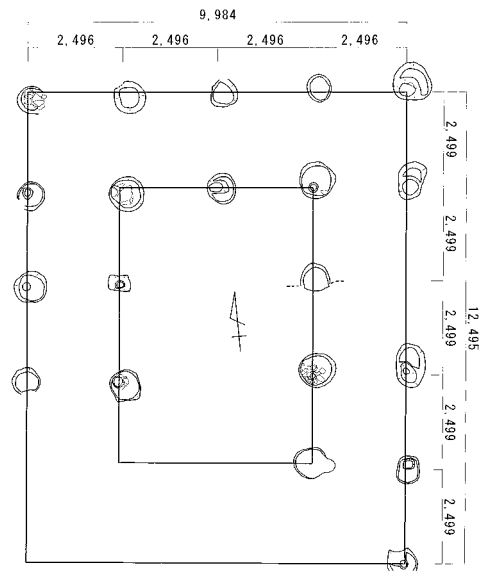
m-m' 断面 (P13)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや軟.
 1層土 1層土のより軟.
 2層土 1層土に地山土ブロックを含む.
 3層土 1層土に地山土小ブロックを含む.
 3層土 3層土の軟.

n-n' 断面 (P16)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. 軟.
 1層土 1層土に地山土粒含む.
 2層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟.
 3層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック多く含む.

o-o' (P17)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. 軟. 地山土粒含む.
 2層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック多く含む.
 3層土 10YR3/3暗褐色土. やや硬.

SB-15掘立柱建物跡 (第8図~第10図)

第23次調査。遺構の分布が最も濃厚な、調査区中央西寄りでの検出。中央付近を東西に走る小溝 (SD-142) や土坑 (SK-242) に切れ、柱穴の一部が欠失している。なお、P1はSK-286土坑を切っている。また、南西部分が調査区外に延びているが、東端南北列では南に伸びないことが判明しており、確認できなかった柱穴は、前述欠失の1基を含めて8基。本建物の北東隅部分でSB-17・SB-19建物跡と重複しているが、それらとの前後関係を窺わせるものはない。建物跡は南北に長く、身舎は3間×2間で、梁行は4.98m、1間2.49mの8.22尺 (8尺とすると1尺=31.13cm)、桁行は、東列で7.47m、1間2.49mの8.22尺 (8尺とすると1尺=31.12cm) を測る。南庇を除く東西北庇は平均2.49m、南庇は1ヶ所のみ計測だが柱当たりの中心間は2.64mとなっている。全体規模は南北で12.50m、東西で9.98mである。本建物跡柱穴の平面規模は、今次調査検出の建物跡の中では最も大きいものであり、ほぼ円形だが、小さいもので開口部の短径が



第8図 SB-15柱間計測値 (mm) S=1:200

59cm、大きいものは長径が102cmを測り、開口部径平均は81cmとなる。ただし、P16・P17・P18の3基は拡張が認められ、抜き取り跡の可能性もあるので含めていない。検出面からの深さは9cm~52cmを測るが、平均33cmほどである。場所による深さの偏りは特に認められない。柱当りや埋土断面の観察からは、直径20cm~25cmの丸柱を用いていたことが窺える。また、身舎を主として5基の柱穴底に小礫数個から10数個による根石が確認された。ただしP1の石組みは、SK-286土坑跡を切って掘り込んだことによる崩壊を防ぐためのようである。本建物跡は、東西の柱穴列とも、真北から東へ5.6度振れている。

出土遺物 本建物柱穴群からは、多量のかかわり小片もしくは細片が出土している。そのほとんどは前述の明褐色から橙色を呈する焼きの甘い土器片だが、ほとんどの柱穴に若干の灰白色及びにぶい黄橙色を呈するものが混在する。ただし、SB-14建物柱穴出土のそれとは異なり、黒変を有するものはなく、焼成も甘いものが多い。

SB-15掘立柱建物跡柱穴断面注記 (第9図)

a-a' 断面 (P1)
 1層土 10YR2/3黒褐色土. 軟. 褐色地山土粒・にぶい黄褐色地山土小ブロック含む. 炭化材多く含む.
 2層土 1層土と同じ. 黄褐色地山土小ブロック多く含む.
 3層土 2層土に褐色地山土小ブロック含む. 軟.
 4層土 3層土に褐色地山土小ブロックを極めて多く含む. 軟.
 5層土 10YR2/3黒褐色~10YR3/3暗褐色土. やや硬.
 6層土 5層土と褐色地山土との小ブロック状混土. やや硬.

b-b' 断面 (P2)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. にぶい黄褐色地山土粒含む. 土器片含む.
 2層土 1層土の硬. にぶい黄褐色地山土小ブロックを極めて多く含む.
 3層土 2層土の軟. 2層土より小ブロックの混入少ない.

c-c' 断面 (P3)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや硬. 小礫含む.
 2層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや硬. にぶい黄褐色地山土小ブロッ

クおよび暗褐色地山土小ブロック含む.
 2層土 2層土の軟.
 3層土 7.5YR4/4褐色地山土小ブロック. 1・2層土多量に混入.

d-d' 断面 (P4)
 1層土 7.5YR3/2暗褐色土. やや硬. 上層に褐色地山土小ブロック多く含む.
 下層に暗褐色地山土小ブロック多く含む. 小礫・土器片多く含む.

e-e' 断面 (P5)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. にぶい黄褐色地山土小ブロック含む.
 2層土 7.5YR3/2黒褐色土. 軟. 褐色地山土小ブロック多く含む. 小礫含む.
 3層土 2層土の硬.
 4層土 10YR2/3黒褐色地山土主体. 軟.

f-f' 断面 (P6)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。

g-g' 断面 (P7)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、やや硬。7.5YR5/6明褐色地山土小ブロック含む。

2層土 1層土に10YR5/4にぶい黄褐色土粒含む、やや硬。

3層土 10YR2/3黒褐色土、軟。

4層土 3層土と10YR5/4黄褐色地山土とのブロック状混土、軟。

h-h' 断面 (P8)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、やや軟。少量の地山土粒・炭化粒含む。

2層土 7.5YR2/2黒褐色土、やや硬。小礫・地山土小ブロック含む。

3層土 2層土の軟。小礫含まない。地山土小ブロック多く含む。

4層土 7.5YR2/1黒色土、軟。

i-i' 断面 (P9)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。

2層土 7.5YR3/2黒褐色土、軟。

3層土 1層土に7.5YR4/6褐色地山土小ブロック含む。

j-j' 断面 (P10)

1層土 7.5YR3/2暗褐色土、やや硬。7.5YR4/4褐色地山土小ブロック多く含む。小礫・土器片含む。

2層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。小礫・地山土粒含む。

3層土 10YR3/3暗褐色地山土主体、軟。

4層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。地山土小ブロック・炭化材含む。

k-k' 断面 (P11)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、やや硬。

2層土 1層土のより硬。礫多い。

3層土 7.5YR2/2黒褐色土、やや硬。褐色地山土小ブロック含む。にぶい黄褐色地山土小ブロック多く含む。

4層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。にぶい黄褐色地山土小ブロック若干量含む。

5層土 にぶい黄褐色地山土小ブロック、軟。

l-l' (P13)

1層土 10YR2/2黒褐色土、やや硬。小礫含む。

2層土 7.5YR4/6褐色地山土、地山土小ブロック多く含む。

m-m' (P14)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、地山土小ブロック、軟。小礫含む。

n-n' 断面 (P15)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。褐色地山土小ブロック・にぶい黄褐色地山土小ブロック・土器片含む。

o-o' 断面 (P16)

1層土 7.5YR3/2黒褐色土、軟。小礫含む。

2層土 7.5YR3/3暗褐色土、硬。地山土粒含む。

3層土 7.5YR3/3暗褐色土、軟。礫・小礫多く含む。地山土小ブロック含む。

p-p' 断面 (P17)

1層土 7.5YR3/2暗褐色土、軟。

2層土 7.5YR3/2暗褐色土、軟。地山土小ブロック・炭化材含む。

3層土 7.5YR3/3暗褐色土、やや硬。

4層土 地山土小ブロック主体に、2層土少量混入。

q-q' 断面 (P18)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。10YR6/6明黄褐色土小ブロック含む。炭化材含む。拳大の礫含む。

r-r' 断面 (P19)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。10YR6/6明黄褐色土小ブロック含む。炭化材含む。拳大の礫含む。

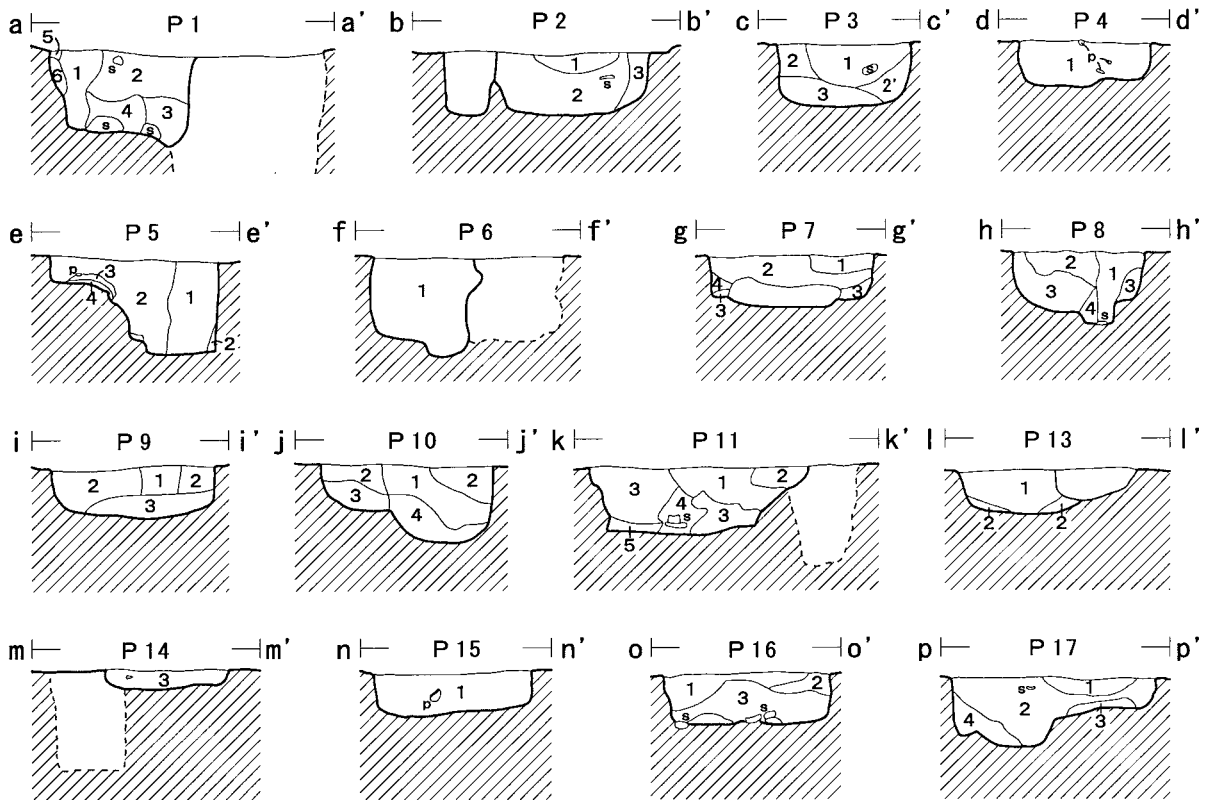
2層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。明黄褐色地山土小ブロック少量含む。

3層土 2層土に明黄褐色地山土小ブロック多く含む。

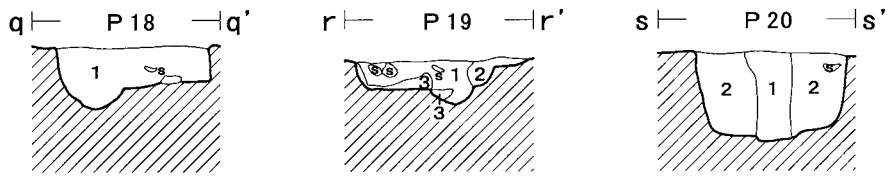
s-s' 断面 (P20)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土、軟。極暗褐色地山土粒・炭化粒含む。

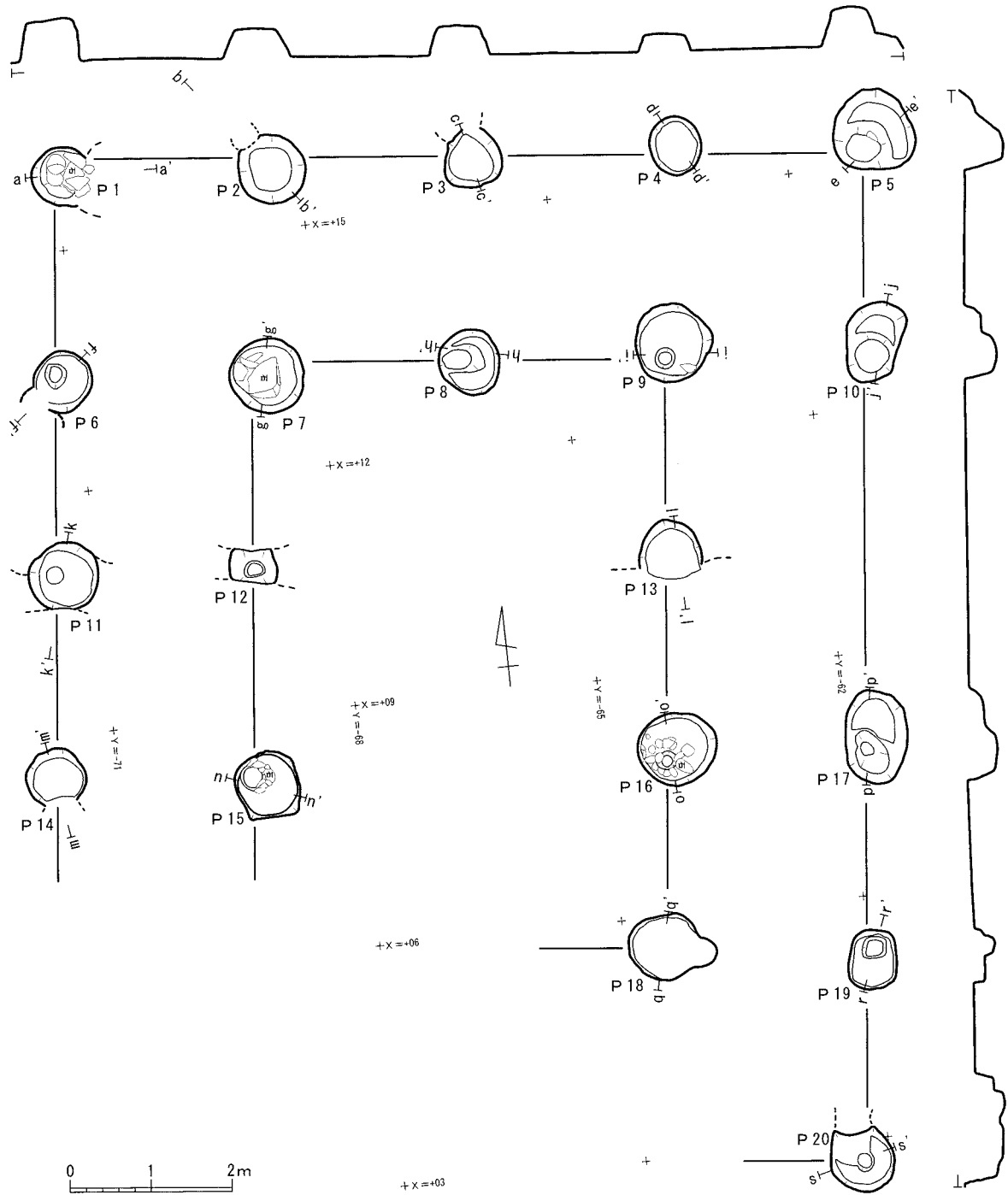
2層土 7.5YR3/2黒褐色土、やや硬。暗褐色地山土小ブロック若干。炭化材若干・極暗褐色地山土小ブロック多量に含む。



第9図 SB-15掘立柱建物跡柱穴断面図 (S=1:40)



第9图 SB-15掘立柱建物跡柱穴断面图 (S=1:40)



第10图 SB-15掘立柱建物跡平面图 (S=1:80)

SB-16掘立柱建物跡（第11図～第13図）

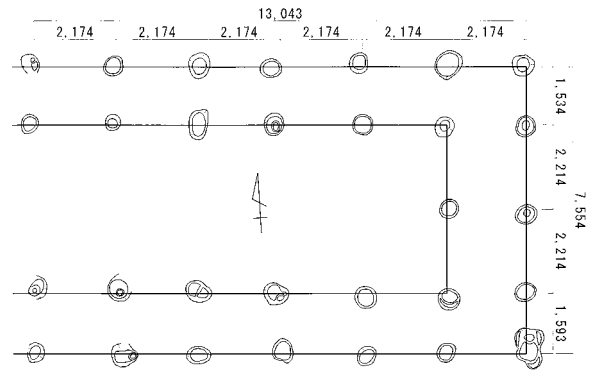
第23次・第24次調査の建物跡の中では最も北端に位置する。後述するSB-17・SB-19建物跡・SE-39井戸跡などと重複しているが、それらとの前後関係を証拠だてるような柱穴の切り合いはない。

建物跡は東西に長く、遺構西端は調査区外（耕作中の水田）に伸びており、東西規模は確認できなかった。検出した柱穴からは、身舎梁行2間、桁行は5間以上で、南・東・北に庇がつく。おそらく西庇も存在するのであろう。陥し穴状遺構・不明小土坑などを切っている柱穴はあるが、時期を特定する参考とはなっていない。本建物跡としての配列が確認できた柱穴数は30基（身舎分13基・庇分17基）である。確認範囲内での欠失等はない。計測はいずれも柱当たりの中心で、南北方向全長は東端庇部分で7.55m、同身舎部分は4.43mである。東西方向は北端庇部分で13.04m、同身舎部分で10.87mを測る。1間平均は、身舎桁行が2.17m、7.16尺にあたるが、7尺とすると1尺31.0cm。梁行が2.21m、7.29尺にあたるが、同じく7尺とすると1尺31.6cmとなる。北庇は1.53mの5.05尺（30.6cm×5尺）、南庇は1.58mで5.22尺（31.6cm×5尺）の間隔で身舎に付く。

本建物跡の柱穴は、平面はほぼ円形である。規模は開口部径が40cm～71cmであり、身舎部柱穴径の平均が54.3cm、庇部柱穴の径平均は55.5cmと大差ない。検出面に若干の傾きがあるため柱穴の深さはバラつきが見られるが、遣り方からの深さは36cm～65cm、平均48cmほどである。身舎部分の柱穴深さは遣り方から測って平均52.1cm、庇部分は同じく43.3cmと、若干の違いがある。柱当り平面や埋土断面の観察からは、径20cm程度の細い丸柱で建ちあがっていたことが推定される。また、本建物跡は、身舎の北柱穴列で真東から3.2度、同南柱穴列で4度南へ振れ、東柱穴列では真北から2度東へ振れている。

他の建物跡との比較上真北方向で考えると、本建物跡は平均東に3度強振れていることになる。

出土遺物 本建物柱穴群からは、きわめて多量のかわけ小片もしくは細片が出土しているが、実測可能であったのはP11より出土した1点のみである（第52図261）。出土したほとんどは前述の明褐色から橙色を呈する焼きの甘い土器片だが、ほとんどの柱穴に若干の灰白色～にぶい黄橙色を呈するものが混在する。また、SB-14建物柱穴出土のものと同様の黒変を有し硬い焼成のものも若干見うけられる。



第11図 SB-16柱間計測値（単位mm）S=1:200

SB-16掘立柱建物跡柱穴断面注記（第12図）

a-a' 断面（P1）

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。褐色地山土小ブロック少量含む。
- 2層土 1層土に褐色地山土小ブロック多量に含む。
- 3層土 7.5YR2/1黒色土。軟。地山土粒含む
- 4層土 7.5YR4/4褐色地山土と泥土の小ブロック状混土。軟。
- 5層土 2層土に同じ。

b-b' 断面（P2）

- 1層土 10YR2/2黒褐色土。軟。
- 2層土 1層土に地山土粒・土器片含む。軟。
- 3層土 1層土と7.5YR4/4褐色地山土との小ブロック状混土。やや硬。
- 4層土 3層土の軟。1層土多く入る。

c-c' 断面（P3）

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。
- 2層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや軟。地山土小ブロック多く含む。

d-d' 断面（P7）

- 1層土 10YR3/2黒褐色土。やや軟。褐色地山土小ブロック多く含む。土器片多く含む。

e-e' 断面（P8）

- 1層土 7.5YR2/2黒色土。軟（上部わずかに硬）。地山土小ブロック少量含む。炭化材多く含む。

A地山土 7.5YR4/4褐色土。

B地山土 7.5YR3/3極暗褐色土。

C地山土 7.5YR5/6明褐色土。

2層土 1層土と10YR3/3暗褐色地山土の小ブロック状混土。軟。

f-f' 断面（P9）

- 1層土 7.5YR3/2暗褐色土。やや硬。褐色地山土粒含む。
- 2層土 1層土に褐色地山土小ブロック多く含む。軟。
- 3層土 7.5YR2/2暗褐色土。軟。褐色地山土粒含む。

g-g' 断面（P11）

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。

h-h' 断面（P12）

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。小礫多く含む。地山土小ブロック含む
- 2層土 10YR2/2黒褐色土。やや硬。炭化粒含む。地山土小ブロック多く含む。

i-i' 断面（P13）

- 1層土 7.5YR2/1黒色土。やや硬。小石・炭化粒含む。地山土小ブロック多く含む。

j-j' 断面（P14）

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。土器細片含む。
- 2層土 1層土にA地山土小ブロック多く含む。やや軟。
- 3層土 7.5YR3/3極暗褐色土。地山土小ブロック主体。やや硬。

k-k' 断面 (P15)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック・小礫多く含む. 土器片含む.
 2層土 7.5YR2/1黒色土. 軟.

l-l' 断面 (P17)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土と7.5YR4/6褐色土とのブロック状混土. やや硬.
 2層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 褐色地山土小ブロック含む.
 3層土 1層土と同じ土の小ブロック状混土. 軟.
 4層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 地山土粒含む. 土器片含む.
 5層土 4層土の軟.

m-m' 断面 (P18)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. 軟. 褐色地山土小ブロック多く含む.
 2層土 10YR3/4暗褐色地山土主体. 軟. 1層土多く混入.

n-n' 断面 (P19)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや硬. 褐色地山土粒含む.
 2層土 1層土に褐色地山土小ブロック含む. やや硬.

o-o' 断面 (P20)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック少量含む.
 2層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック少量含む. 炭化粒含む.
 3層土 2層土に地山土ブロック多く含む. やや硬.
 4層土 2層土に同じ. やや硬.
 5層土 2層土に地山土ブロック多く含む. 軟. 1層土の軟.
 6層土 7.5YR5/6明褐色地山土ブロック. 軟.

p-p' 断面 (P21)
 1層土 7.5YR2/2暗褐色土. やや硬. 地山土粒少量含む. 炭化粒含む

q-a' 断面 (P22)
 1層土 7.5YR3/3暗褐色土. 硬. 地山土ブロック多く含む. 炭化粒含む.

2層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 地山土小ブロック多く含む.
 3層土 7.5YR3/3極暗褐色地山土ブロック主体. 2層土含む. やや硬.
 4層土 2層土と3層土のブロック状混土. 軟.
 5層土 7.5YR5/6明褐色土. 地山土ブロック. 4層土含む. 軟.

r-r' (P23)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや軟. 土器片含む. 地山土小ブロック多.

s-s' 断面 (P24)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. 軟.

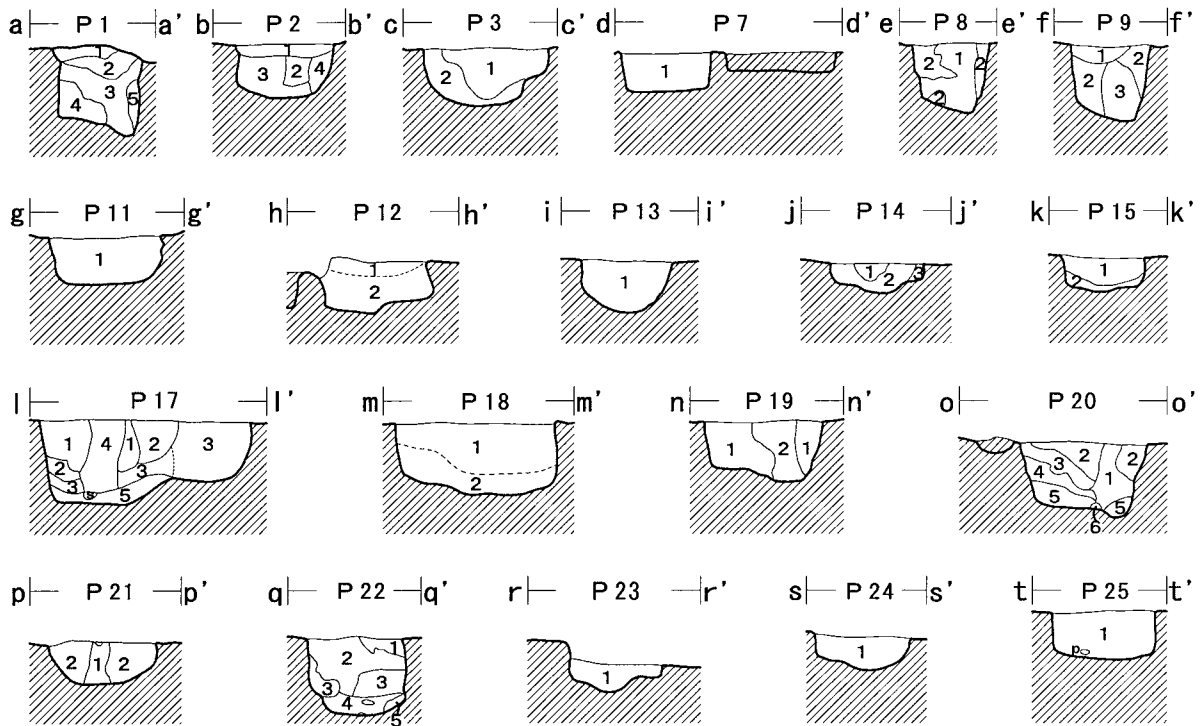
t-t' (P25)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや硬. 褐色地山土小ブロック含む.

u-u' 断面 (P27)
 1層土 7.5YR2/3極暗褐色土. やや硬. 地山土小ブロック多く含む. 土器小片・小礫・炭化材含む.

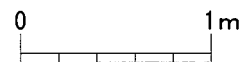
v-v' 断面 (P28)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック多く含む.
 2層土 7.5YR4/3褐色地山土ブロック主体. 軟. 1層土含む.

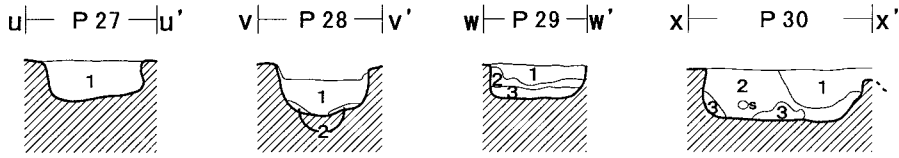
w-w' 断面 (P29)
 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. 硬. 地山土を含む.
 2層土 7.5YR4/4褐色地山土小ブロックと1層土の混土. やや硬.
 3層土 7.5YR2/3極暗褐色地山土主体. 軟.

x-x' 断面 (P30)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック・小礫・炭化粒・土器小片含む.
 2層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 地山土小ブロック多く含む. 小礫・炭化粒含む.
 3層土 7.5YR4/4褐色地山土ブロック主体. 軟.

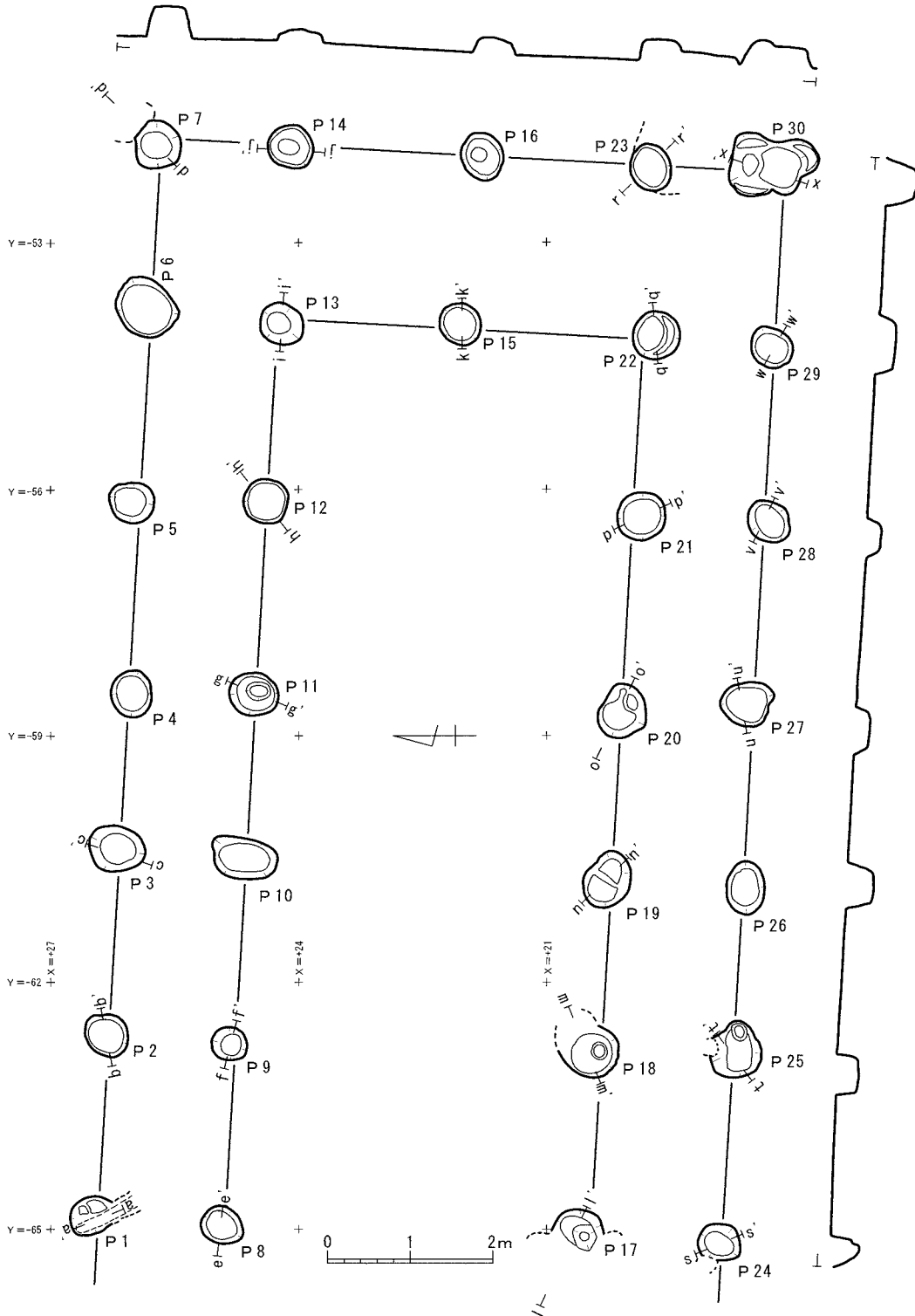


第12図 SB-16掘立柱建物跡柱穴断面図 (S=1:40)





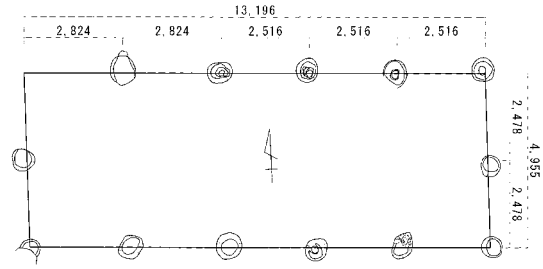
第12图 SB-16掘立柱建物跡柱穴断面图 (S=1:40)



第13图 SB-16掘立柱建物跡平面图 (S=1:80)

SB-17掘立柱建物跡（第14図～第16図）

第23次・第24次調査で検出した。南西部分SB-15建物跡、北側がSB-16建物跡とそれぞれ重複している上、中央から西半にかけてSB-19建物跡が大きく重なっている。そのいずれも新旧関係は不明である。その他SK-246土坑跡・SK-248土坑跡及びSE-41井戸跡が本建物範囲内に存在するが、これらも新旧関係は不明である。遺構北東端の柱穴のみは調査区外に伸びており、確認できなかった。検出した柱穴は、梁行2間、桁行は5間で底は付かない。陥し穴状遺構・不明小土坑などを切っている柱穴はあるが、時期を特定する参考とはなっていない。本建物跡としての配列が確認できた柱穴数は13基であり、確認範囲内での欠失等はない。建物跡は東西に長く、南北方向全長は東柱穴列で4.95m、東西方向は南柱穴列で13.19mを測る。1間平均は、桁行が2.64m、1尺30.3cmとすると1間8.71尺となるが、実際は東側3間が1間2.52m、西側2間が1間2.82mと、間尺が大きく異なる。これは東側3間が8.31尺（8尺とすると1尺=31.4cm）西側2間が9.31尺（9尺とすると1尺=31.5cm）で柱配置されていると解釈できる。梁行は2.48mの8.19尺であり1尺=31.0cmの8尺となる。

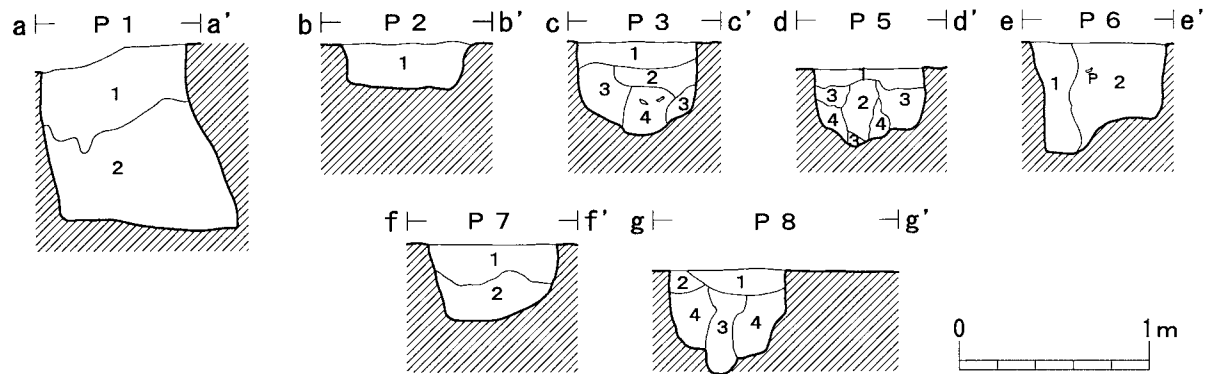


第14図 SB-17柱間計測値（単位mm）S=1:200

本建物跡の柱穴は、平面形は楕円形であり、規模は開口部径が56cm～83cm、平均すると長径72cm、短径62cmほどの規模である。P12は長径83cmと最大だが、柱穴内北西部分に小礫を多量に詰め込んでいる。掘り方を広げすぎたためであろうか。各柱穴の遣り方からの深さは34cmから84cmと若干バラつきが見られるが、平均62cmほどである。なおP1は調査の際の不手際により掘りすぎたものである。いくつか検出された柱当りや、埋土断面の観察からは、径20cm～25cm程度の細い丸柱で建ちあがっていたことが推定される。

本建物跡は、南柱穴列で東方向から2.5度南へ振れている。東柱穴列では逆に北から1度西へ振れており、これは対応するいずれの南北柱穴で見てもほぼ同様である。やや平行四辺形にゆがんだ建物跡であるといえる。

出土遺物 P6とP11を除く各柱穴から、かわらけ小片・細片が出土している。やはり明褐色から橙色の色調を呈する破片が多いが、他の建物跡に比して、灰白色～にぶい黄橙色の色調で黒変部を有し、胎土が粗く焼成が固くしまっているかわらけ片が多い。P12からは珠洲系と思われる須恵器系土器小片が出土した。



第15図 SB-17掘立柱建物跡柱穴断面図（S=1:40）

SB-17掘立柱建物跡柱穴断面注記（第15図）

a-a' 断面（P1）

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。褐色地山土小ブロック多く含む。
- 2層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。褐色地山土小ブロック多く含む。

b-b' 断面（P2）

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。褐色地山土粒。にぶい黄褐色地山土粒含む。

c-c' 断面（P3）

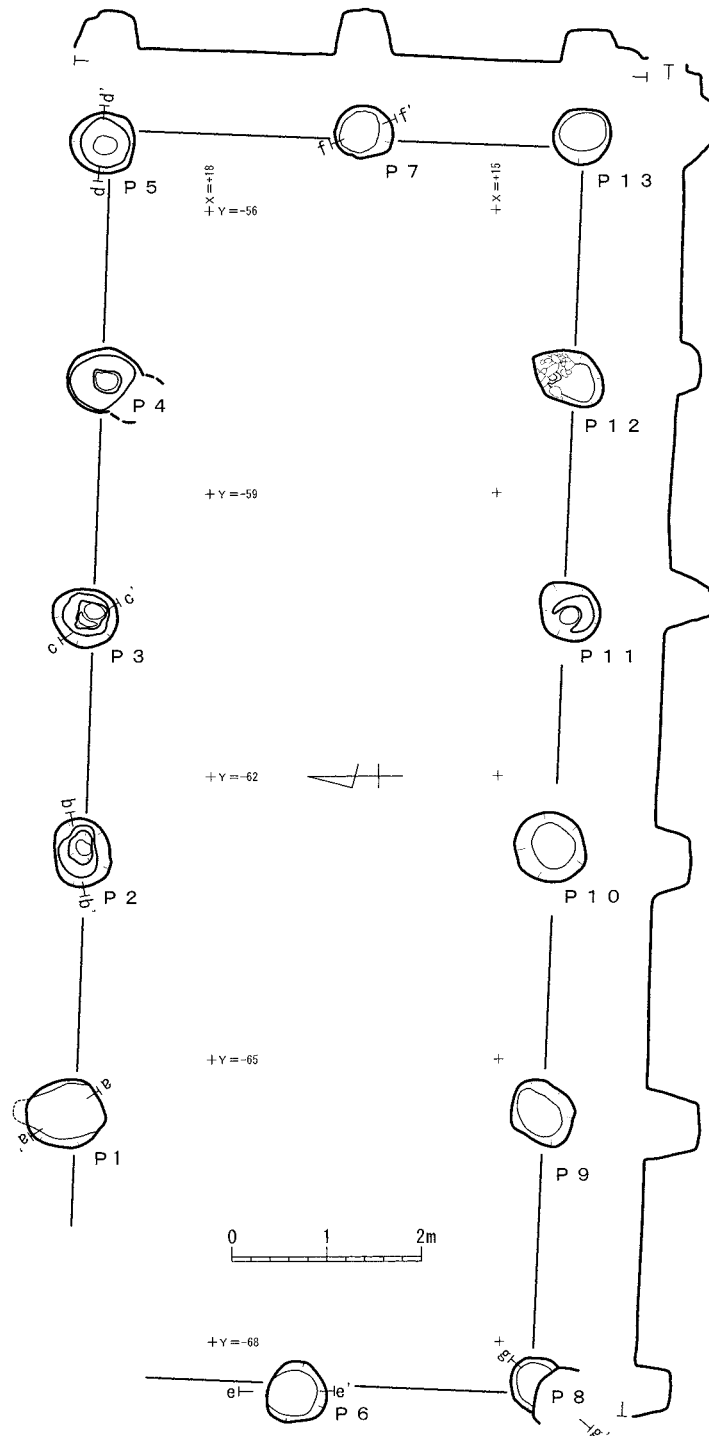
- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。地山土粒含む。
- 2層土 1層土に若干の地山土小ブロック含む。やや軟。
- 3層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。褐色地山土小ブロック多く含む。
- 4層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。少量の地山土小ブロック含む。土器片多く含む。

d - d' 断面 (P 5)
 1層土 7.5YR3/3暗褐色土. 硬. A・C地山土小ブロック含む.
 2層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. C地山土小ブロック含む.
 3層土 2層土とA・C地山土とのブロック状混土. やや硬.
 4層土 7.5YR2/3極暗褐色土. 軟. C地山土粒少量含む.

e - e' 断面 (P 6)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 褐色地山土小ブロック含む. 小礫含む. にぶい黄褐色地山土小ブロック多く含む.
 2層土 7.5YR2/3黒褐色土. 軟. 土器片少量含む.

f - f' 断面 (P 7)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. B・C地山土小ブロック含む. 炭化粒含む
 2層土 7.5YR5/6明褐色(C)地山土ブロック主体. 1層土混入.

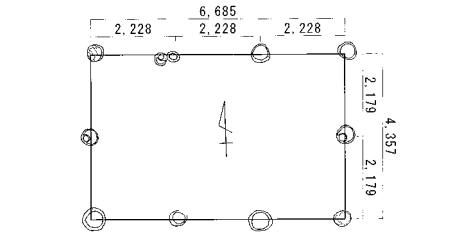
g - g' 断面 (P 8)
 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 小礫・地山土粒含む.
 2層土 1層土の地山土小ブロック多いもの.
 3層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 地山土粒若干含む.
 4層土 3層土の地山土粒多いもの.



第16図 SB-17掘立柱建物跡平面図 (S=1:80)

SB-18掘立柱建物跡（第17図～第19図）

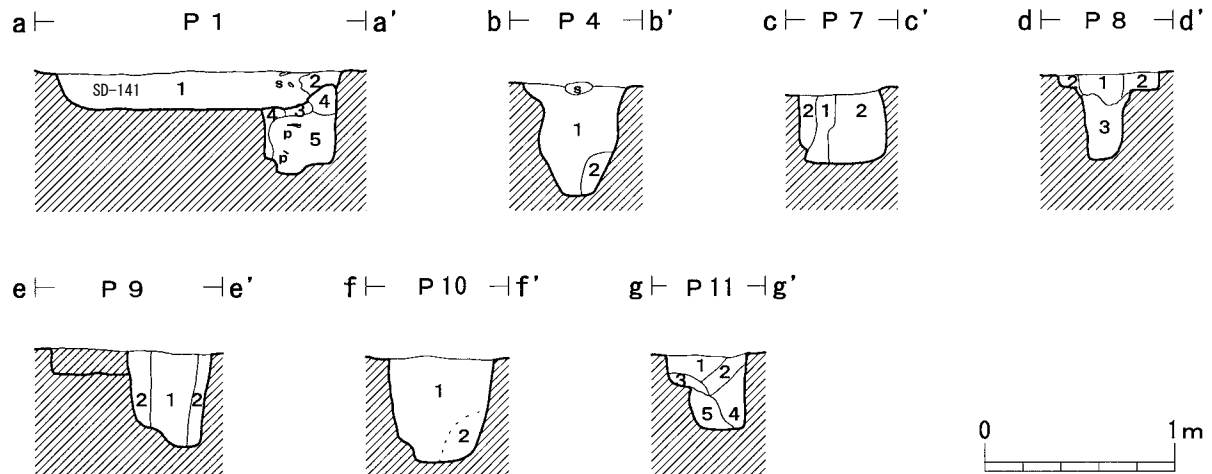
調査区中央やや東寄りにあり、第23次・第24次調査の建物の中では最も東端に位置する。調査区中最も遺構密度の薄い区域にあたり、他の建物跡との重複はない。その他の遺構との関係では、P1柱穴がSD-141溝跡に切られている。構成柱穴（柱穴数11基）はすべて検出されており、南北2間、東西3間の小規模な建物跡である。南北方向全長4.35m、東西方向6.68m



第17図 SB-18柱間計測値 (単位mm) S=1:200

を測る。1間平均は、桁行が2.23mの7.36尺であり、7尺とすれば1間31.8cm、梁行が2.18mの7.20尺、同じく7尺として1尺31.1cmとなる。本建物跡の柱穴は、平面形はほぼ円形である。P2とP3を除いて、規模は開口部径が40cm～60cmであり、遣り方からの深さは75cm～93cmであった。P2は平面径34cm～34.6cmのほぼ円形、P3は同じく27.5cm～33.8cmの楕円形である。P2の深さは遣り方から47.3cm、Pは同じく43.4cmと浅いものであった。この2基については、断面観察等はおこなっていない。なお、他の柱穴は同じく遣り方からは70cm～80cmを測る。本建物は、南柱穴列で真東から1.9度南に振れている。

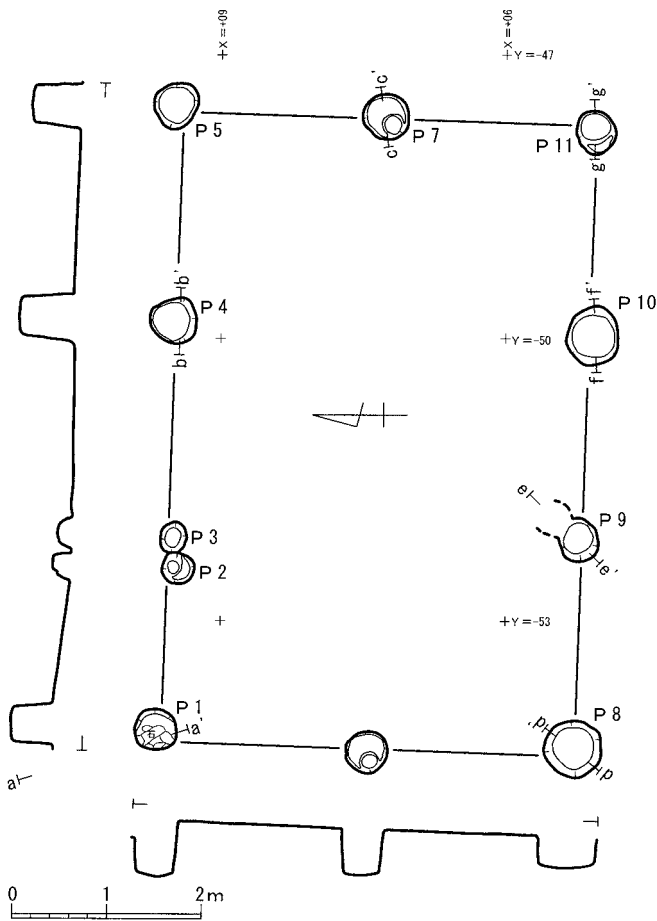
出土遺物 他の建物跡に比し、遺物の出土量は少ない。特にP2、P3からは全く出土がない。その少ない出土の中でも、灰白色からにぶい黄橙色の色調で黒変部を有し、胎土が粗く焼成が固くしまっているかわらけ片が多くを占めているのが特徴的である。



第18図 SB-18掘立柱建物跡柱穴断面図 (S=1:40)

SB-18掘立柱建物跡柱穴断面注記（第18図）

- | | |
|--|---|
| <p>a - a' 断面 (P 1)</p> <p>1層土 7.5YR2/2黒褐色土. やや硬. 褐色地山土小ブロック少量含む。</p> <p>2層土 1層土に褐色地山土小ブロック多量に含む。</p> <p>3層土 7.5YR2/1黒色土. 軟. 地山土粒含む</p> <p>4層土 7.5YR4/4褐色地山土と泥土の小ブロック状混土. 軟.</p> <p>5層土 2層土に同じ。</p> | <p>d - d' 断面 (P 8)</p> <p>1層土 7.5YR3/2黒褐色土. 軟.</p> <p>2層土 1層土に地山土粒・土器片含む. 軟.</p> <p>3層土 1層土と7.5YR4/4褐色地山土との小ブロック状混土. やや硬.</p> |
| <p>b - b' 断面 (P 4)</p> <p>1層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟 (上部わずかに硬). 地山土小ブロック少量含む. 炭化材多く含む。</p> <p>2層土 1層土と10YR3/3暗褐色地山土の小ブロック状混土. 軟.</p> | <p>e - e' 断面 (P 9)</p> <p>1層土 10YR2/2黒褐色土. 軟.</p> <p>2層土 1層土に地山土粒・土器片含む. 軟.</p> |
| <p>c - c' 断面 (P 7)</p> <p>1層土 7.5YR3/2黒褐色土と7.5YR4/6褐色土とのブロック状混土. やや硬.</p> <p>2層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 褐色地山土小ブロック含む。</p> | <p>f - f' 断面 (P10)</p> <p>1層土 7.5YR3/2暗褐色土. やや硬. 褐色地山土粒含む。</p> <p>2層土 1層土に褐色地山土小ブロック多く含む. 軟.</p> |
| | <p>g - g' 断面 (P11)</p> <p>1層土 7.5YR3/2黒褐色土. 軟. 褐色地山土小ブロック多く含む。</p> <p>2層土 10YR3/4暗褐色地山土主体. 軟. 1層土多く混入。</p> <p>3層土 7.5YR2/1黒色土. 軟. 地山土粒含む</p> <p>4層土 7.5YR4/4褐色地山土と泥土の小ブロック状混土. 軟.</p> <p>5層土 2層土に同じ</p> |



第19図 SB-18掘立柱建物跡平面図 (S=1:80)

ら53.8cm平均で46.7cmである。

建物跡の方向は、東柱穴列で真北より2.2度東へ振れている。

出土遺物 P8を除くすべての柱穴より、かわらけ小片・細片が出土している。P1、P9の出土かわらけは実測掲載した。(第52図256～258、263) 大型の手捏ねが若干目立つほか、P9、P12などでは灰白色～にぶい黄橙色を呈し焼成が甘く、黒変部分も見当たらない小片が出土している。ただし、いずれも少量である。P10より土師器甕と思われる小片1点が出土しているほか、P12からは珠洲系と思われる須恵器系小片が出土している。

SB-19掘立柱建物跡柱穴断面注記 (第21図)

a-a' 断面 (P1)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。暗褐色地山土小ブロック少量含む。
2層土 10YR3/3暗褐色地山土主体。1層土多く含む。

b-b' 断面 (P5)

1層土 7.5YR2/2黒色土。やや軟。褐色地山土粒含む。
2層土 7.5YR2/2黒色土。やや軟。褐色地山土小ブロック含む。

c-c' 断面 (P6)

1層土 7.5YR2/2黒色土。軟。小礫・土器小片・A地山土小ブロック含む

d-d' 断面 (P7)

1層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。褐色地山土粒含む。小礫多く含む。

e-e' 断面 (P9)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。土器片多く含む。にぶい黄褐色地山土粒多く含む。

f-f' 断面 (P10)

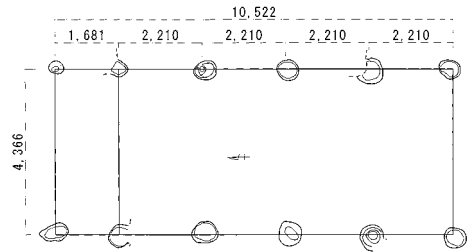
1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。A地山土小ブロック含む。

g-g' 断面 (P11)

1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。10YR6/4にぶい黄橙色土の大きめ小ブロック及び10YR3/4暗褐色土の小さめ小ブロック多く入る。

h-h' 断面 (P12)

1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや軟。小礫・地山土粒若干含む。



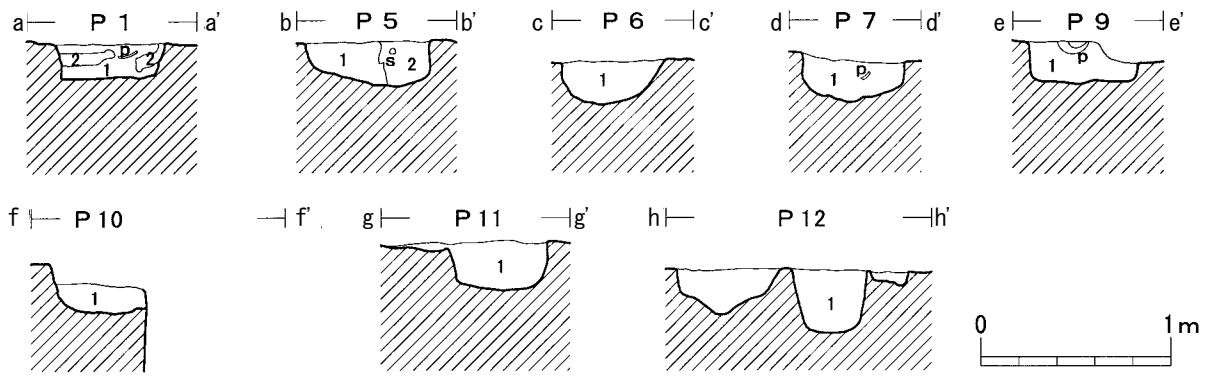
第20図 SB-19柱間計測値(単位mm) 1:200

SB-19掘立柱建物跡 (第20図～第22図)

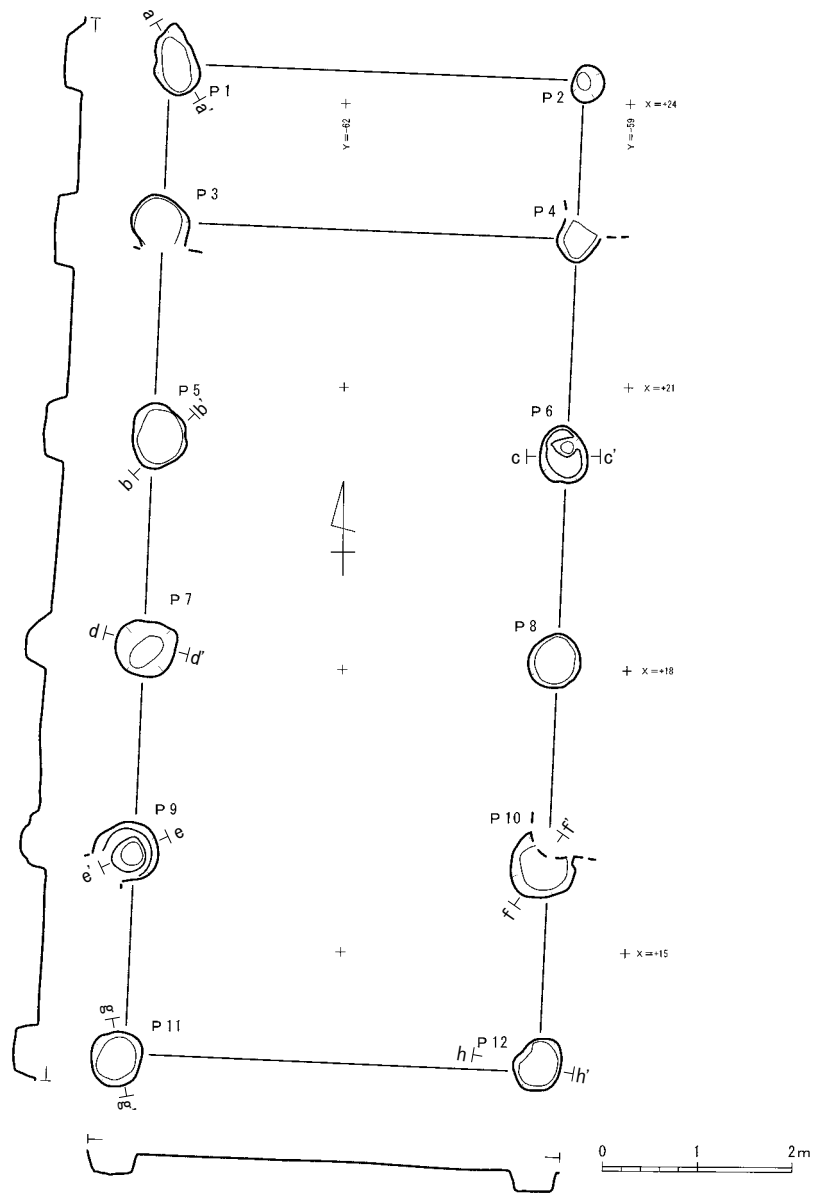
南からSB-15、SB-17、SB-16の順に、3棟の建物跡と重なっている。その他、SK-242、SK-244、SK-271の各土坑跡等と重なっているが、直接切りあいが生じているのはSE-41井戸跡のみであり、本建物柱穴のうちP10がこの井戸跡に切られている。

建物跡は南北5間だが、桁行の北端部分のみは間隔が狭く、庇状のものが付いたものと思われる。身舎に相当する部分の南北方向は1間7.29尺(7尺として1尺=31.6cm)、庇部分は5.5尺ほどになる。東西は1間14.41尺(14尺とすれば1尺=31.2cm)を測る。

柱穴平面は円形から楕円形を呈し、開口部径は35.0cmから76.6cmとバラつくが、おおむね40cmから60cm程度である。遣り方からの深さは、40cmから



第21图 SB-19掘立柱建物跡柱穴断面图 (S=1:40)



第22图 SB-19掘立柱建物跡平面 (S=1:80)

(2) 溝跡 (第23図)

第23次・第24次調査では、7条の溝跡が検出された。そのうちの4条は近現代の遺構と判明しており、記述は省略する。尚、SD-135とSD-136から出土したかわらけは流れ込みである。ここではSD-138からSD-140までの3条の溝跡について詳述するが、SD-139とSD-140は本来同一遺構であったと考えられる。

SD-138溝跡

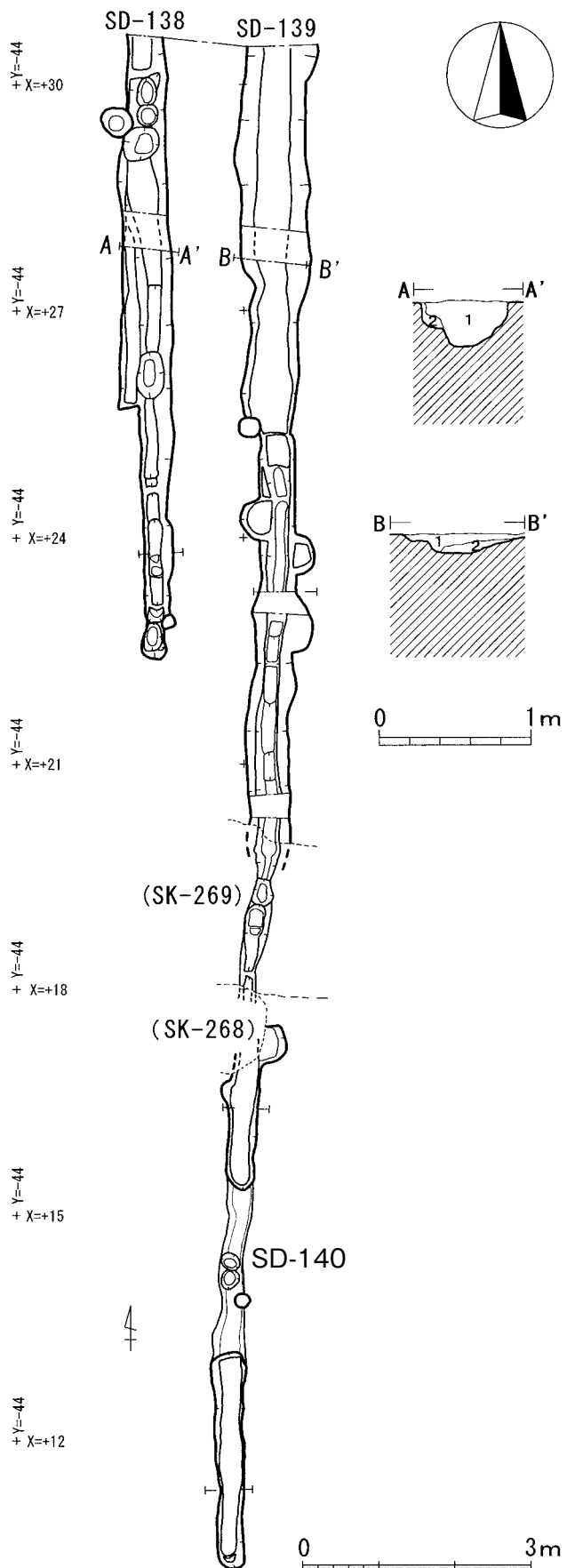
調査区北東端北半から、次に記述するSD-139溝跡に近接し、ほぼ平行に走って検出されている。検出した長さは8.3mほどであり、北調査区外へと伸びている。幅は北半で70cmから50cm、南半で45cmから30cmとなっている。底部に柱もしくは杭の当たっていたと思われる痕跡が不整列に並んで散見され堀跡の可能性が高い。本溝は、調査された北端で西方向へ0.9度振れている。

SD-139溝跡

前述SD-138溝跡に、ほぼ平行して走る溝跡。長さは下記SD-140溝跡を挟んで20.2mあるが、深さ、底部痕跡等はSD-138と同様のものであり、やはり堀跡と考えられる。本溝跡は、調査された北端で東方向へ2.0度振れている。

SD-140溝跡

前述SD-139溝跡は、南端から2.9m～5.0mの間が途切れており、同様の幅で深さ3cm～5cmの浅い溝が繋いでいる。本来SD-139溝跡と一体のものであるが、極度に浅くなるため調査時はこれをSD-140溝跡としている。中央近くに2基の柱穴様ピットが並ぶが、その部分の本溝が浅すぎたため伴うものかどうかは不明である。ピットはどちらも開口部18cmから27cm程度の楕円形で、深さ7cm程度であった。



第23図 溝跡平面図 (1:90)・断面図 (1:45)

(3) 井戸跡 (第24図)

第23次・第24次調査区内では7基の井戸跡と思われる遺構を検出し精査している。本遺跡の特徴の一つだが、地下水脈が高いために井戸跡はいずれも浅く掘られており、遺物の出土は少なく、土坑跡との判別がつかないものも多い。基本的には一定程度の湧水が認められる土坑は井戸跡として調査している。

SE-35井戸跡 (第25図)

調査区南西隅にて検出。南東にT-2陥し穴状遺構が接し、南2.5mにSE-36井戸跡がある。西半は調査区外となっていたため、東半のみの精査。開口部径1.97mの円形井戸跡と推定される。底面は袋状をとり、杵や桶等の設置の痕跡はない。検出面からの深さは2.03mを測る。埋土は5層に大別され、自然堆積を呈している。

出土遺物 少量のかわらけ小片の出土を見た。

SE-36井戸跡 (第25図)

前述SE-35井戸跡近く、調査区南西隅での検出。こちらは南半が調査区外となっており、北半のみの精査である。開口部径1.41mの円形井戸と推定される。底面は平坦であるが、杵や桶等の設置の痕跡はない。検出面からの深さは1.32mと浅い。埋土は4層に大別され、2層より上は自然堆積を呈している。

出土遺物 1層よりかわらけ小片少量と土師器の甕胴部片が出土している。また、2層から3層にかけて、かわらけ小片少量と土師器甕の口縁部片、および珠洲系と思われる底部小片が出土している。かわらけ片は、すべて明褐色から橙色を呈するものである。

SE-37井戸跡 (第25図)

調査区中央西端に位置し、上表をSD-142溝跡に浅く切られているほか、南端で2基の柱穴を切っている。開口部は径2m前後と広いが、浅くすぼまって井戸跡本体は径90cm程度である。検出面からの深さも1.42mと浅い。底面は袋状をとり、杵や桶等の設置の痕跡はない。埋土は3層に大別され、人為的に埋められた様相を呈している。

出土遺物 1層中より鉄釘1本、2層から4層にかけてかわらけ小片若干量の出土をみた。また、4層中において若干の木製品を出土している。

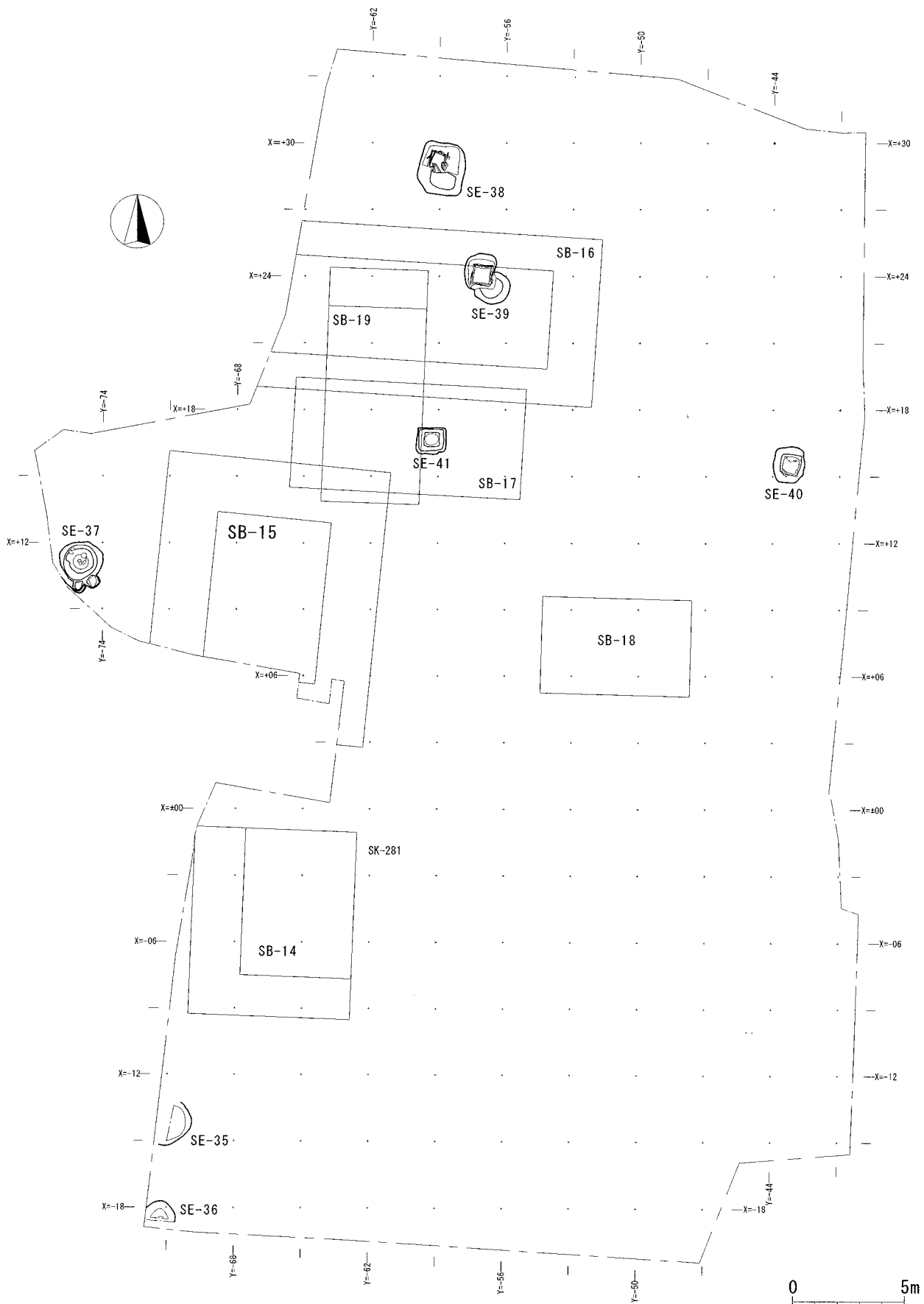
SE-38井戸跡 (第25図)

調査区北西寄りに位置する。開口部平面形は隅丸方形であり南北2.5m、東西2mを測る。井戸構築の際に同時に掘りこまれたと思われる南段を有する。段は東西105cm、南北70cmほどの平場となっているが、北側井戸本体のへり部分に崩壊等の痕跡が認められないことや、本体杵外と類似する埋土であることなどから、掘削のための段であり、井戸形成時には埋められたものと思われる。断面観察の設定場所位置が不適合であったことから断面図では底面が浅くなっているが、実際の底面の深さは検出面から2.03mほどである。底面は平坦な方形となっており、若干の井戸杵が崩れながら残存していた。埋土は5層に大別され、人為的に埋められた様相を呈している。

出土遺物 ほぼ全層位、全域でかわらけ小片の出土を見たが、その他、杵内中位層から常滑焼大甕の破片、珠洲系の小片なども出土した。

SE-39井戸跡 (第26図)

調査区北西寄り、上記SE-38井戸跡の南東3mに位置する。SB-16建物跡と重複しているが新旧関係は不明である。開口部平面形は隅丸方形遺構と円形遺構が重なった形をしており、はじめは重複した土坑と認識して掘り下げ調査を始めた。実際はSE-38同様、円形部分は掘り込みのための拡張であった。



第24図 井戸跡配置図 (S=1:250)

拡張円形部分開口部径1.45m、主体部径1.33m～1.58m、検出面からの深さは拡張部で67cm、主体部で155cmを測る。底面は一辺1.4mほどの平らな方形を呈しその上に内径1.35m～1.4mの井戸枠が若干底面から浮き上がって載る。枠の結合は四隅の柱の上下に臍を切って2本の横木を組み、外側から立板を立てかけただけのものであり、底面に埋め込んだり刺し込んだりしたような痕跡はなかった。立板は一辺三枚を二重に廻してあった。埋土は枠内3層に大別され、人為的に埋められた様相を呈している。

出土遺物（第41図、第57図～第60図） 本遺構での枠内出土遺物はきわめて多量であった。3層中よりかわらけ小片、鉄片・鉄釘、珠洲系小片など、4層からはそのほか常滑焼片が出土している。底面からはやはりかわらけ小片多数のほかに常滑焼・珠洲焼系の小片が出土した。枠外からもかわらけ小片多数が出土している。かわらけは、枠の内外ともすべて明褐色から橙色を呈する柔らかい焼成のものである。また、SE-38同様、他遺構に比して手捏ねのかわらけ片の出土が多い。

SE-40井戸跡（第27図）

調査区東端やや北寄りに位置する。開口部平面は1.4m～1.6mの隅丸長方形だが、検出面から60cmほどの深さからは径90cmの隅丸方形にすぼまる。155cm深ほどの底面は不整だが、四隅に枠の柱と思われる杭を残す。埋土は5層に大別され、人為的に埋められた様相を呈している。

出土遺物 1層より珠洲系小片、青磁小片の出土を見た。2から5層にかけては、かわらけ小片若干量が出土している。かわらけ片については灰白色～にぶい黄橙色固焼きのものも多く入る。6層にて漆椀の出土を見た（第61図366）。

SE-41井戸跡（第27図）

調査区中央に位置し、SB-17、SB-19建物跡と重複しているがいずれも新旧関係は不明である。開口部平面形は長さ1.2m～1.3mの隅丸方形をとり、ほぼ垂直に壁が下って検出面からの深さ124cmの底面となる。底面中央は長さ65cm～70cmの方形に5cmほど掘り込まれており、その中央に径53cm～58cmの円形の痕跡がついている。埋土は4層に大別され、人為的に埋められた様相を呈している。

出土遺物 全層から多くのかかわらけ小片が出土した。3層から4層出土には若干の灰白色～にぶい黄橙色かわらけ片が混在している。

SE-37 井戸跡 断面注記

- | | | | |
|-----|--|-----|--|
| 1層土 | 7.5Y R2/2黒褐色土。軟。褐色地山土粒含む。小石含む。 | 3層土 | 3層土より軟。炭化材小片含む。下位に地山土小ブロックが沈んでいる。 |
| 2層土 | 1層土に小礫含むもの。軟。炭化材多く含む。下位にスコリア含む。 | 4層土 | 7.5Y R2/1黒色泥土。ごく軟。木片含む。礫含む。 |
| 3層土 | 2層土ににぶい黄褐色地山土粒多く含む。やや硬。 | 4層土 | 小礫多し。地山土粒含む。 |
| 4層土 | 10Y R2/1黒色土。きわめて軟。褐色地山土粒含む。にぶい黄褐色地山土小ブロック含む。 | 4層土 | 小礫多し。地山土小ブロック多く含む。 |
| 5層土 | 4層土に褐色地山土小ブロック多く含む物。極めて軟。 | 5層土 | 7.5Y R2/2黒褐色土。やや硬。3層上に少量の地山土小ブロック入る。小石含む。 |
| 6層土 | 褐色粘土質地山土。極めて軟。 | 5層土 | 5層土の硬。小石含む。 |
| 7層土 | 7.5Y R2/3黒褐色土。やや硬。 | 6層土 | 7.5Y R2/2黒褐色土。やや軟。5層土の、地山土小ブロックが多いもの。小石含む。 |

SE-38 井戸跡 断面

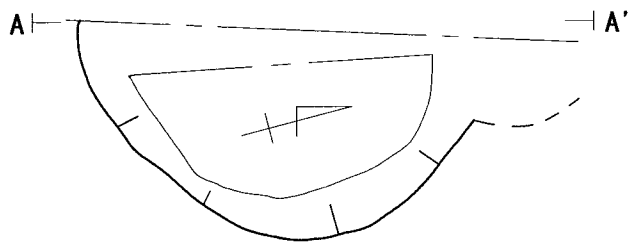
- | | |
|-----|---|
| 1層土 | 10Y R3/2黒褐色土。硬。小礫・褐色地山土小ブロック多く含む。 |
| 2層土 | 10Y R2/2黒褐色土。やや軟。褐色地山土小ブロック含む。 |
| 3層土 | 2層土に7.5Y R4/6褐色地山土小ブロック～小ブロック多く含む。やや軟。小礫含む。 |
| 4層土 | 10Y R2/1黒色土。軟。下位に2.5Y R4/3オリーブ褐色粘土質地山土の小ブロックを含む。 |
| 5層土 | 2.5Y 4/3オリーブ褐色粘土質地山土小ブロック。軟。4層土および褐色地山土の小ブロックを混入。 |
| 6層土 | 5層土に大量の礫および砂が入っている。木片混入。 |

SE-39 井戸跡 断面

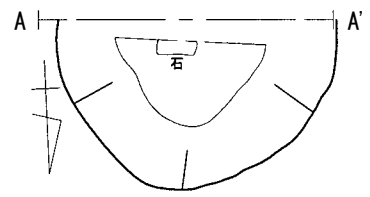
- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 1層土 | 7.5Y R2/3極暗褐色土。硬。地山土小ブロック少量含む。 |
| 1層土 | 1層土のやや軟。地山土小ブロック含む。 |
| 2層土 | 1層土のやや軟。地山土小ブロック・小ブロック極めて多量に含む。礫含む。 |
| 3層土 | 7.5Y R2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック含む。礫含む。 |

SE-40 井戸跡 断面

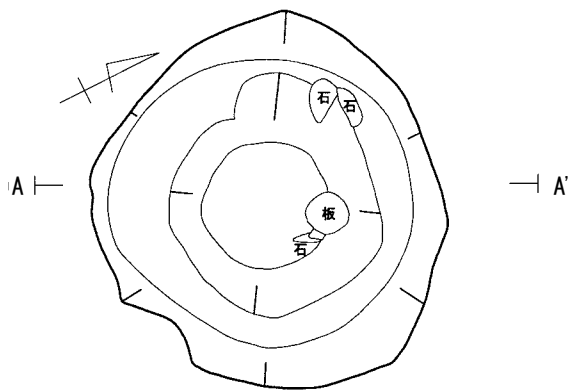
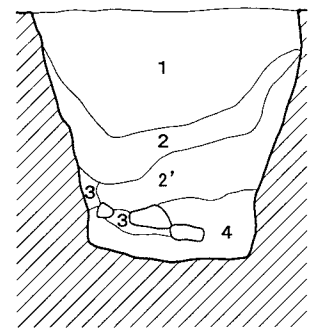
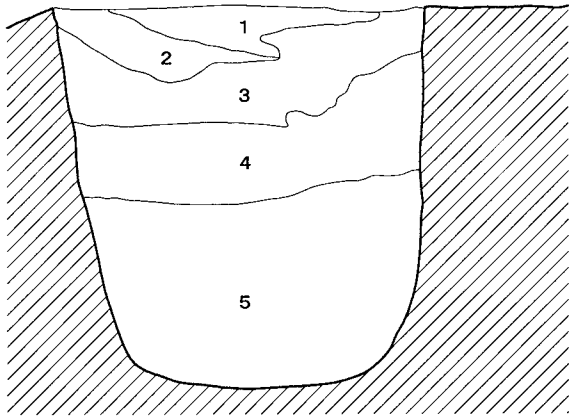
- | | |
|-----|--|
| 1層土 | 7.5Y R2/2黒褐色土。やや硬。小礫・炭化材含む。地山土小ブロック含む。 |
| 2層土 | 1層土のやや軟。 |
| 3層土 | 2層土に多量の地山土小ブロック含む。やや軟。拳大以下の小礫多く入る。 |
| 4層土 | 地山土小ブロック主体。やや硬。黒褐色土粒・小石含む。 |
| 5層土 | 7.5Y R3/2黒褐色土。軟。地山土粒・小礫多く含む。 |
| 6層土 | 10Y R2/1黒色土。軟。木質遺物出土。礫多し。 |
| 7層土 | 4層土の軟。 |
| 8層土 | 地山土小ブロック主体。軟。 |



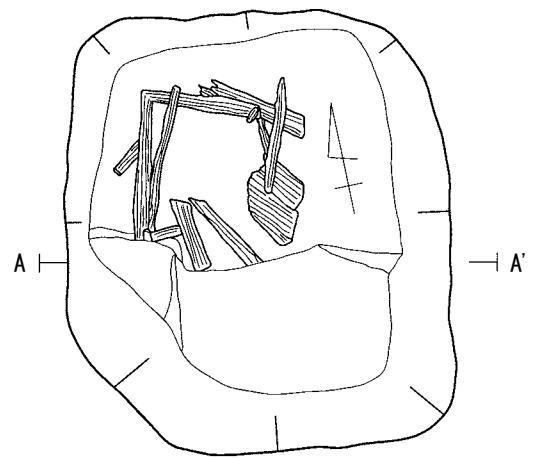
A | SE-35 | A'



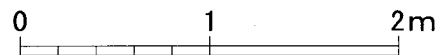
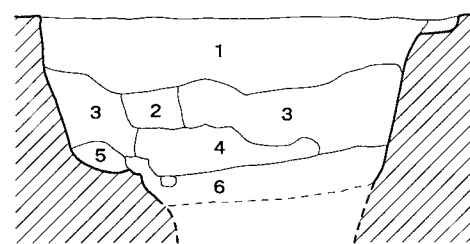
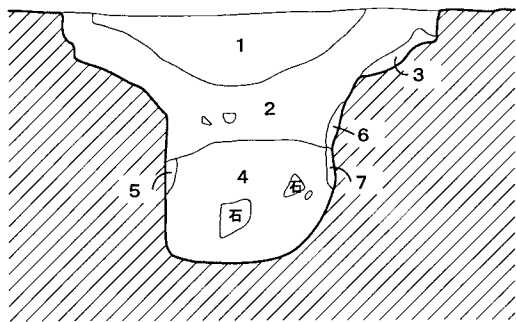
A | SE-36 | A'



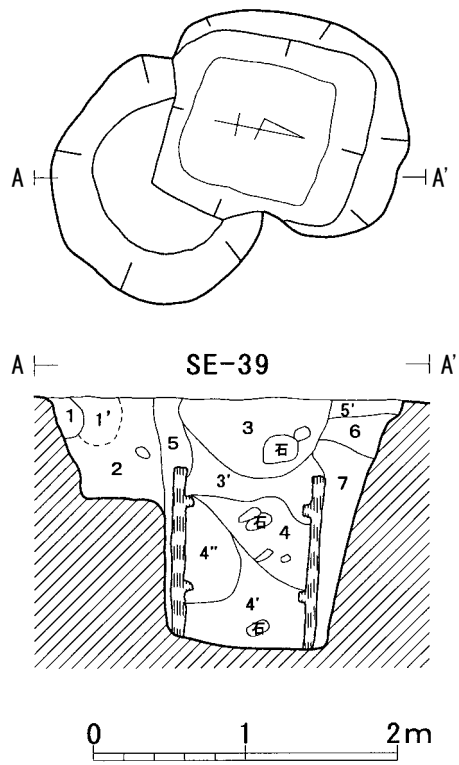
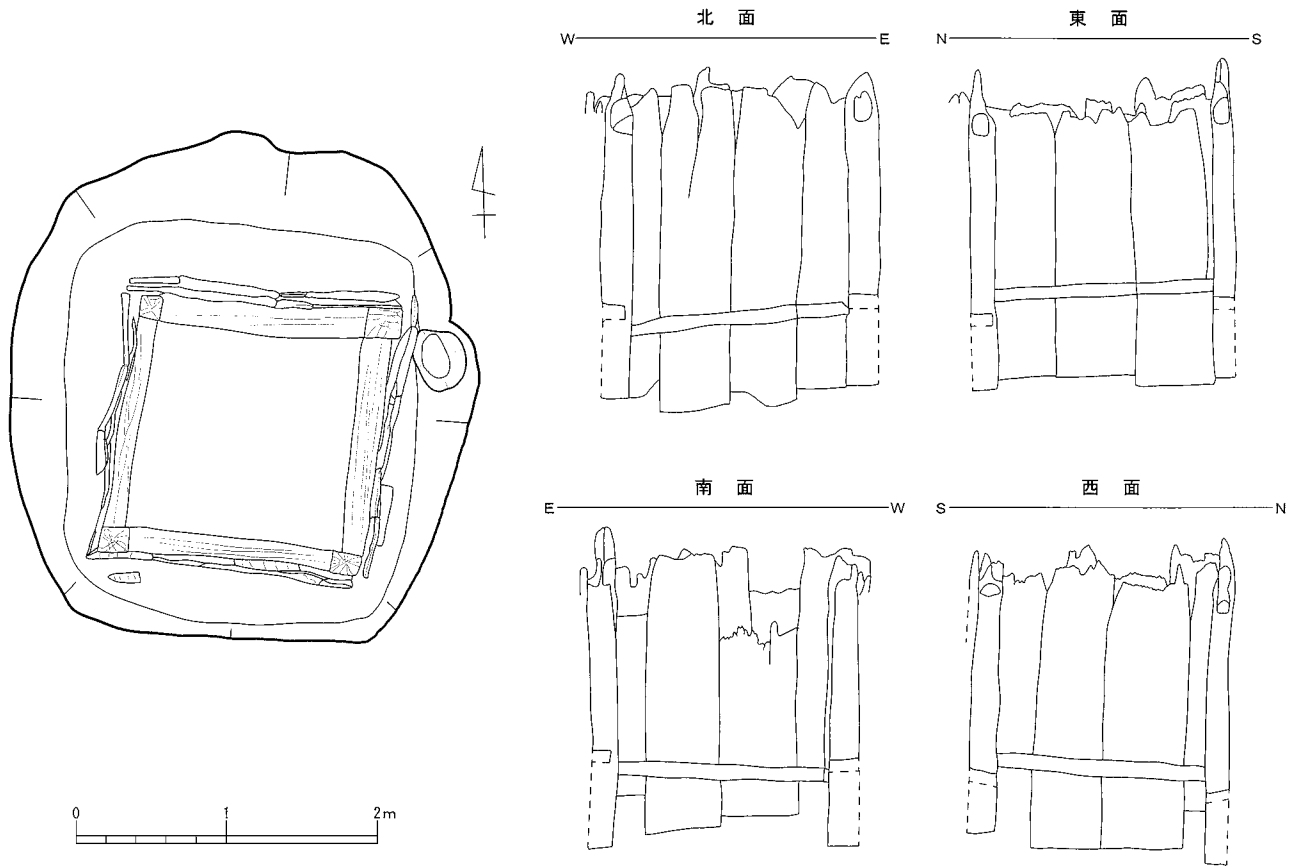
A | SE-37 | A'



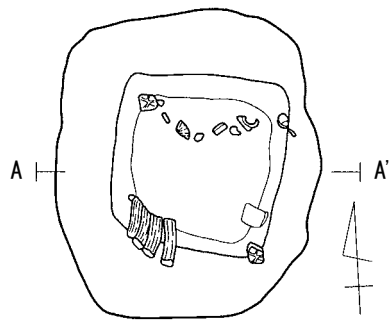
A | SE-38 | A'



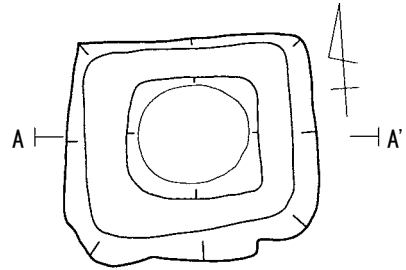
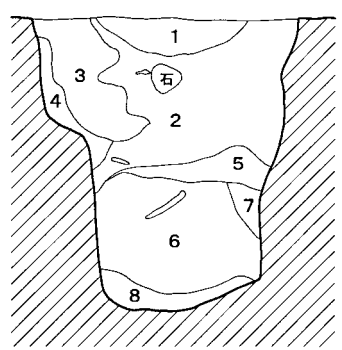
第25图 SE-35·SE-36·SE-37·SE-38井戸跡 平面図・断面図 (S=1:40)



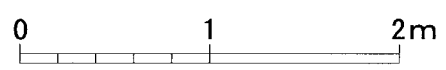
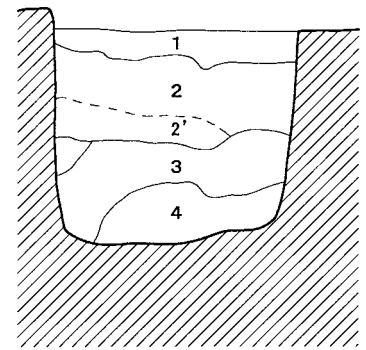
第26図 SE-39井戸跡出土井戸枠平面図、立面図 (S=1:50)



A — SE-40 — A'



A — SE-41 — A'



SE-41 井戸跡 断面注記

- 1層土 小礫・小石・2層土ブロック・多量の地山土ブロックよりなる。硬。
- 2層土 7.5Y R2/2黒褐色土。やや硬。小礫・小石・地山土小ブロック。それぞれ多量に含む。
- 2'層土 2層土に小石少なく、地山土賞ブロックが極めて多いもの。
- 3層土 10Y R2/1黒色土。軟。小礫含む。木片等の有機遺物含む。
- 4層土 10Y R2/1黒色土。極めて軟。地山土ブロック多く含む。地山土小ブロックが多く入るが、2.5Y R5/3黄褐色粘土質土であり、出自不明土。

第27図 SE-40・SE-41井戸跡 平面図、断面図 (S=1:40)

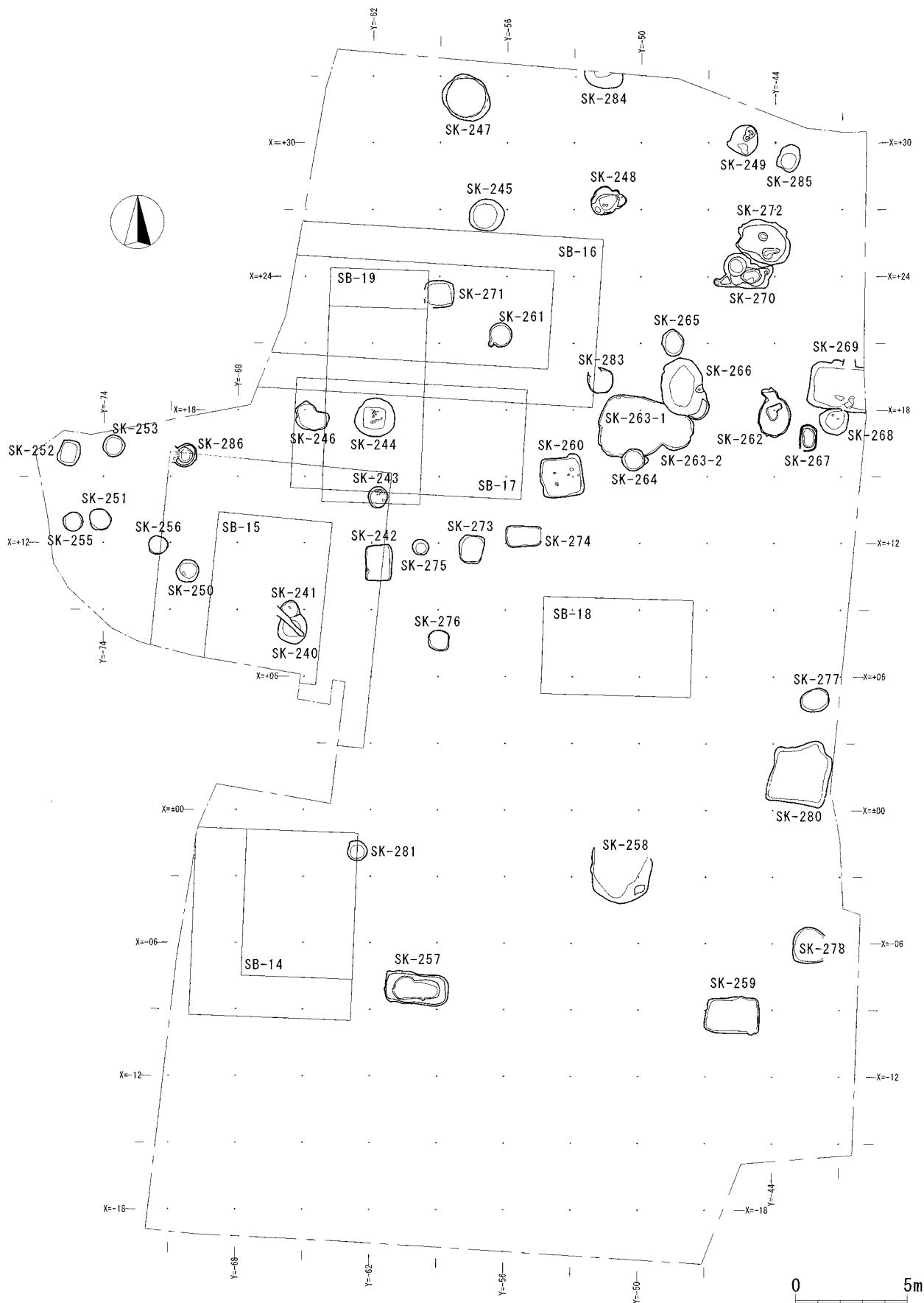
(4) 土坑跡 (第28図参照)

第23次・第24次調査では、45基の土坑を検出している。その中には植栽痕と思われるものや柱穴の可能性もあるものもある。詳細な記述は観察結果を以下に一覧表とする。なお、深さの数値は検出面からである。

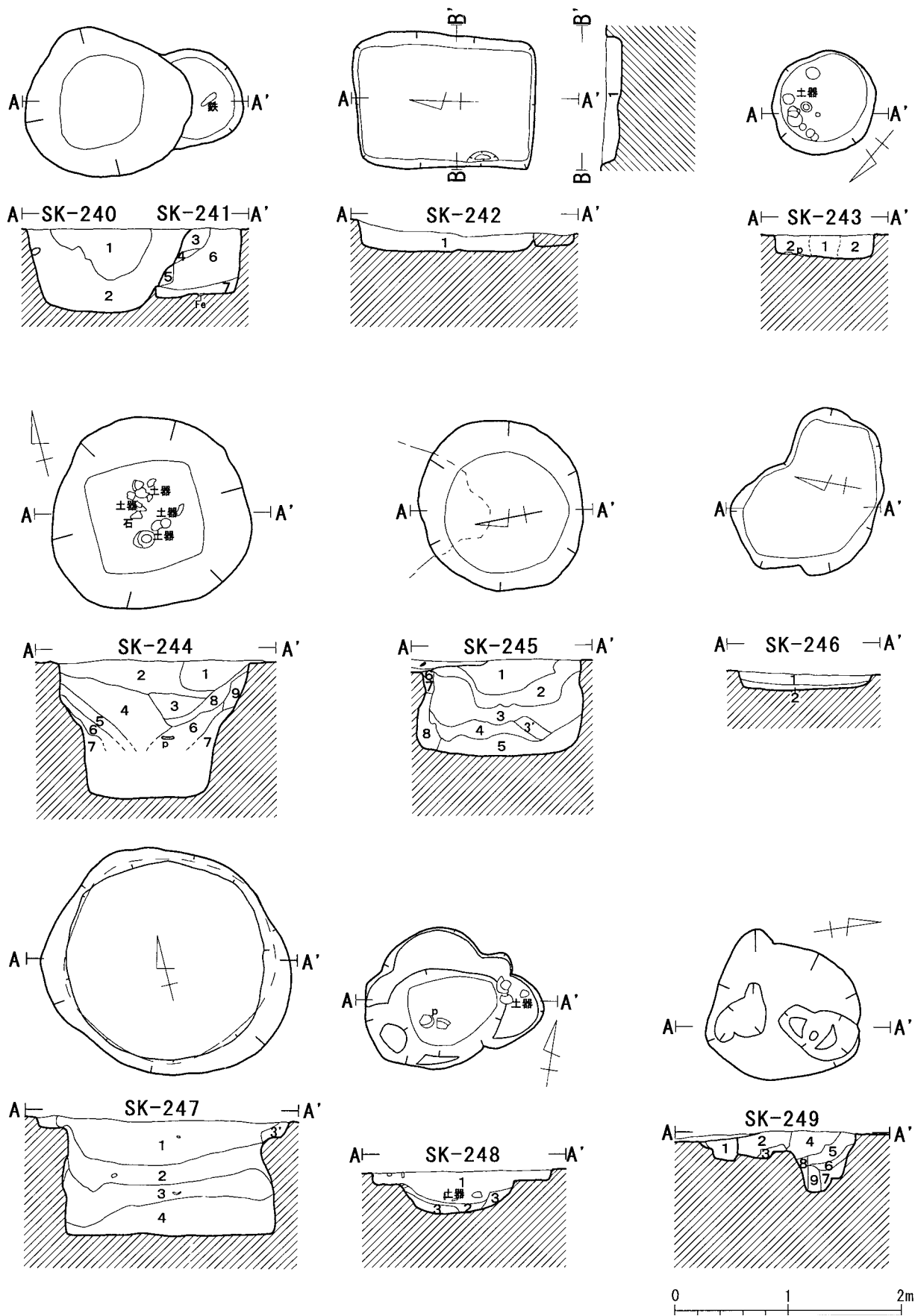
第3表 土坑諸元一覧

(単位:cm)

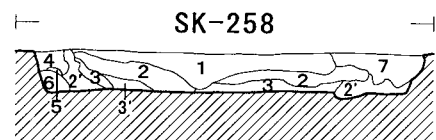
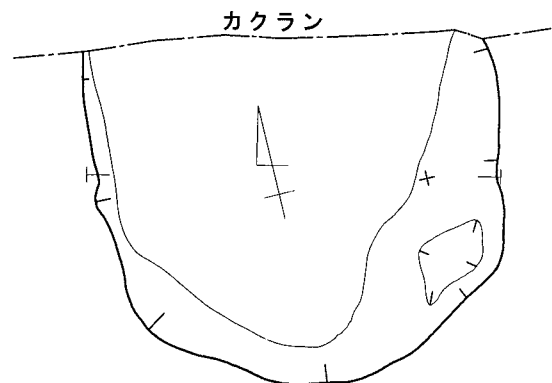
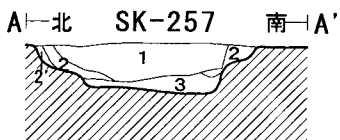
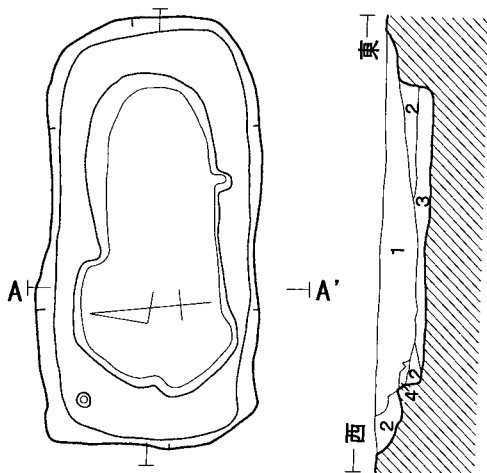
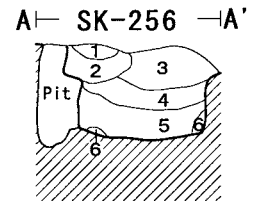
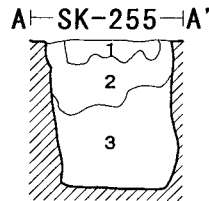
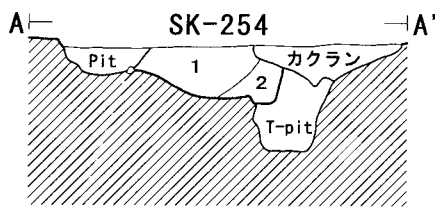
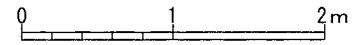
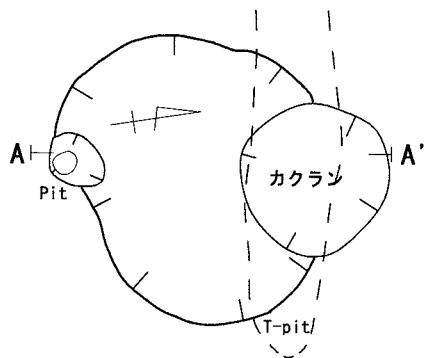
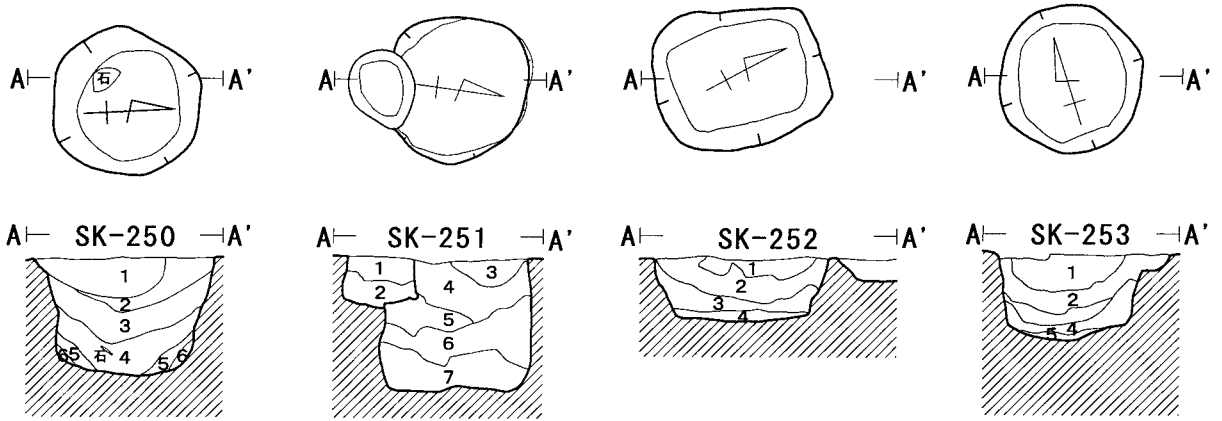
土坑名	開口部径	底部径	深	埋土堆積	切り合い	出土遺物	備考
SK-240	145×126	72×91	75	自然堆積	SK-241を切る	上層. B群主体に僅少のB'群. 手捏ねあり. 中層. 上層よりB'群多. 下層. B群B群半々.	灯明皿
SK-241	71以上×86	73×67	61	人為堆積	SK-240に切られる	埋土中B'群多い. 床面にB群片.	
SK-242	163×124	151×98	24	自然堆積	SD-142との関係不明	多量のB'群土器片.	長方形土坑
SK-243	94×90	81×73	20	人為堆積		多量のB'群土器片. B群土器2片.	
SK-244	177×170	97×96	123	人為堆積		上層より多量のB'群. 下層B'群の手捏ねかわらけ1固体分.	底部方形
SK-245	157×142	112×106		人為堆積	SD-137に切られる	B群主体にわずかのB'群出土	壁面に粘土貼り付け
SK-246	149×126	124×100	14	自然堆積		B群B'群小片各1点	不整形
SK-247	222×197	187×171	102	自然堆積		極めて多量のB群B'群出土. 半分は手捏ね. その1/3はB'群.	フラスコ状
SK-248	158×124	79×60	36	自然堆積		B群主体に若干のB群出土. 手捏ねも出土	開口部不整形
SK-249	137×124		52	人為堆積		B群主体に若干のB'群出土. 手捏ねも出土. 僅少のA群出土	重複Pit群?
SK-250	103×99	74×67	77	自然堆積		B群B'群主体に若干のA群出土	
SK-251	102×97	99×92	87	人為堆積	小Pitに切られる		
SK-252	114×91	87×67	41	自然堆積		B群B'群主体に若干のA群1片出土. 少量の手捏ね出土.	隅丸長方形
SK-253	98×95	75×71	57	自然堆積		B群主体. B'群1片出土. 手捏ね多い.	
SK-254	145×161		38	人為堆積	T-5を切る	B'群3片のみ	小Pitが切る
SK-255	87×90	83×75	97	人為堆積			
SK-256	84×88	80×75	60	自然堆積	Pitを切る		
SK-257	285×147	213×109	33	人為堆積?		B群主体に少量のB'群出土. 手捏ねも出土	開口部長方形 底部不整形
SK-258	228以上×257			自然堆積	攪乱が入る	B群B'群少量. 土師器少量	
SK-259	252×165	151	9	自然堆積		少量のB群主体にB'群1片のみ	西壁消失
SK-260	192×177	174×165	65	人為堆積		多量のB'群主体にA群B群各若干量出常 滑片渥美片出土土.	方形土坑
SK-261	100×109	94×87	27	自然堆積		B群主体に若干のB'群出土. 手捏ね若干出土	
SK-262	222×147		20	自然堆積		B群主体に若干のA群出土.	木根痕
SK-263-1	317×235	306×260	11	自然堆積	SK-263-2を切る	B群主体. A群1片出土.	
SK-263-2	118以上×172	156	16	自然堆積	SK-263-1に切られる	B群主体. B'群1片出土.	
SK-264	100×96	83×79	81	自然堆積	SK-263-1に切られる	上層に羽釜片. B'群手捏ね. A群. 須恵 器系陶器. 下層B群主体. 手捏ね若干.	
SK-265	117×96	97×76	10	自然堆積		極めて多量のB群B'群主体で手捏ねも 多い. 上層に若干量のA群片	不整形
SK-266	256×182	184×106	57	自然堆積		少量のB群主体に若干の群	
SK-267	119×78	82×41	13	自然堆積		少量のB群小片	隅丸長方形
SK-268	132×128	90×78	82	自然堆積	SD-139SK-269を切る	B群主体にB'群若干. 手捏ね若干.	
SK-269	270以上×207	233以上×173	26	自然堆積	SD-139を切る	多量のB群B'群主体. 手捏ね少量. A 群片1点. 渥美・青磁片各1点	
SK-270	123×115	88×80	82	自然堆積		多量のB'群主体に若干量のA群・C群	木根痕を切る
SK-271	123×121	105×100	94	人為堆積?		多量のB群・B'群主体(手捏ねは1点)に A群少量.	方形土坑
SK-272	251×184		32	自然堆積		多量のA群・B'群主体.ロクロのみ	木根痕か?
SK-273	126×108	112×94	42	自然堆積		A群・B'群主体. ロクロのみ	隅丸方形
SK-274	55以上×94	149×83	11	自然堆積	東端壁に攪乱が入る		隅丸長方形
SK-275	74×67	47×44	125	人為堆積		B群主体. 手捏ね多い. 少量のA・B'群. 少量の篝火	
SK-276	94×92	83×78	10	自然堆積		少量のかわらけ細片	
SK-277	127×102	113×88	31	自然堆積		B群主体に若干のB'群. どちらも手捏ね多い	
SK-278	134以上×166	128×155	17	自然堆積			
SK-279	114×88	—	22	自然堆積		少量のB'群小片	
SK-280	290×267	—	42	自然堆積			
SK-281	94×89	—	56	自然堆積	SB-14P1を切る	B群主体に手捏ね多い. 若干のB'群. 常滑片	
SK-284	173×不明	—	—	自然堆積		少量のA・B群小片	
SK-285	114×93	—	28	自然堆積		少量のA・B群小片	
SK-286	109×96	46×49	106	人為堆積	SB-15P1に切られる	若干量のB・B'群. 多量の篝火	



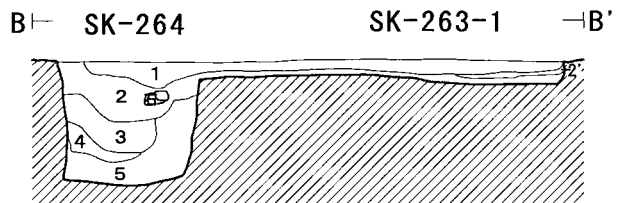
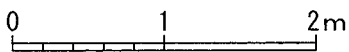
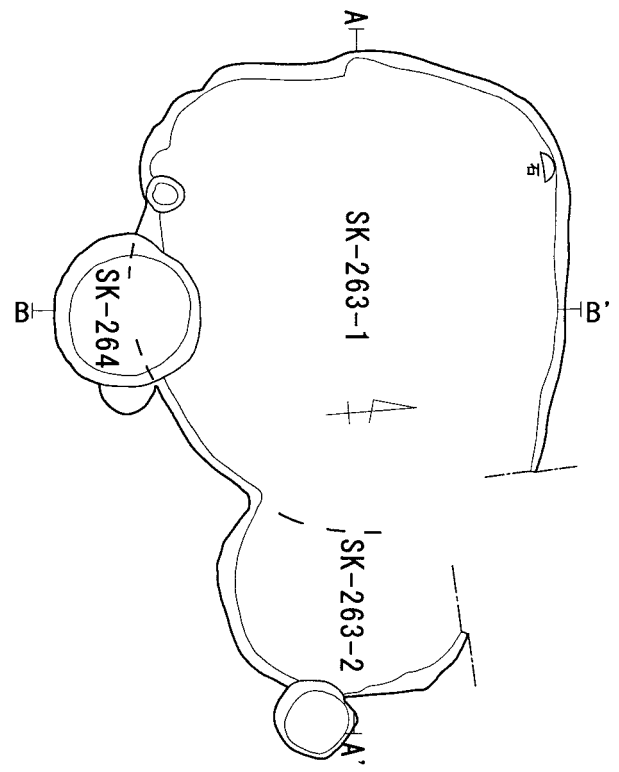
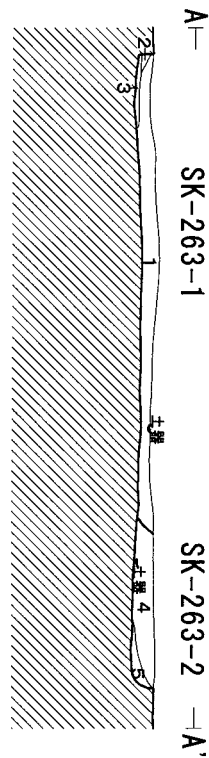
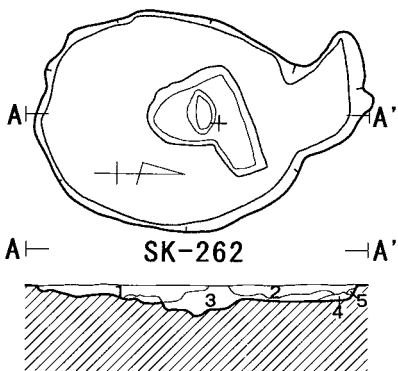
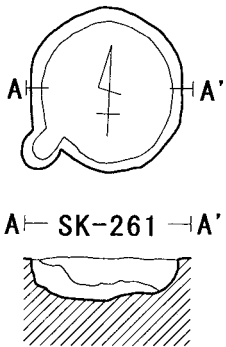
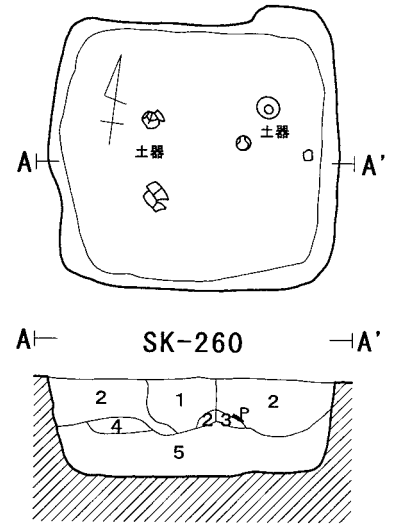
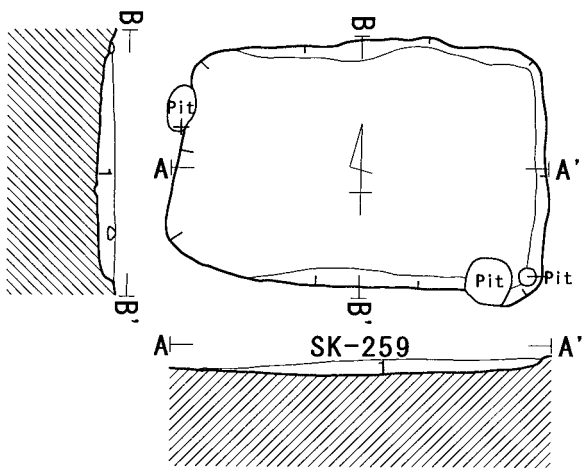
第28図 土坑跡配置図 (S=1:250)



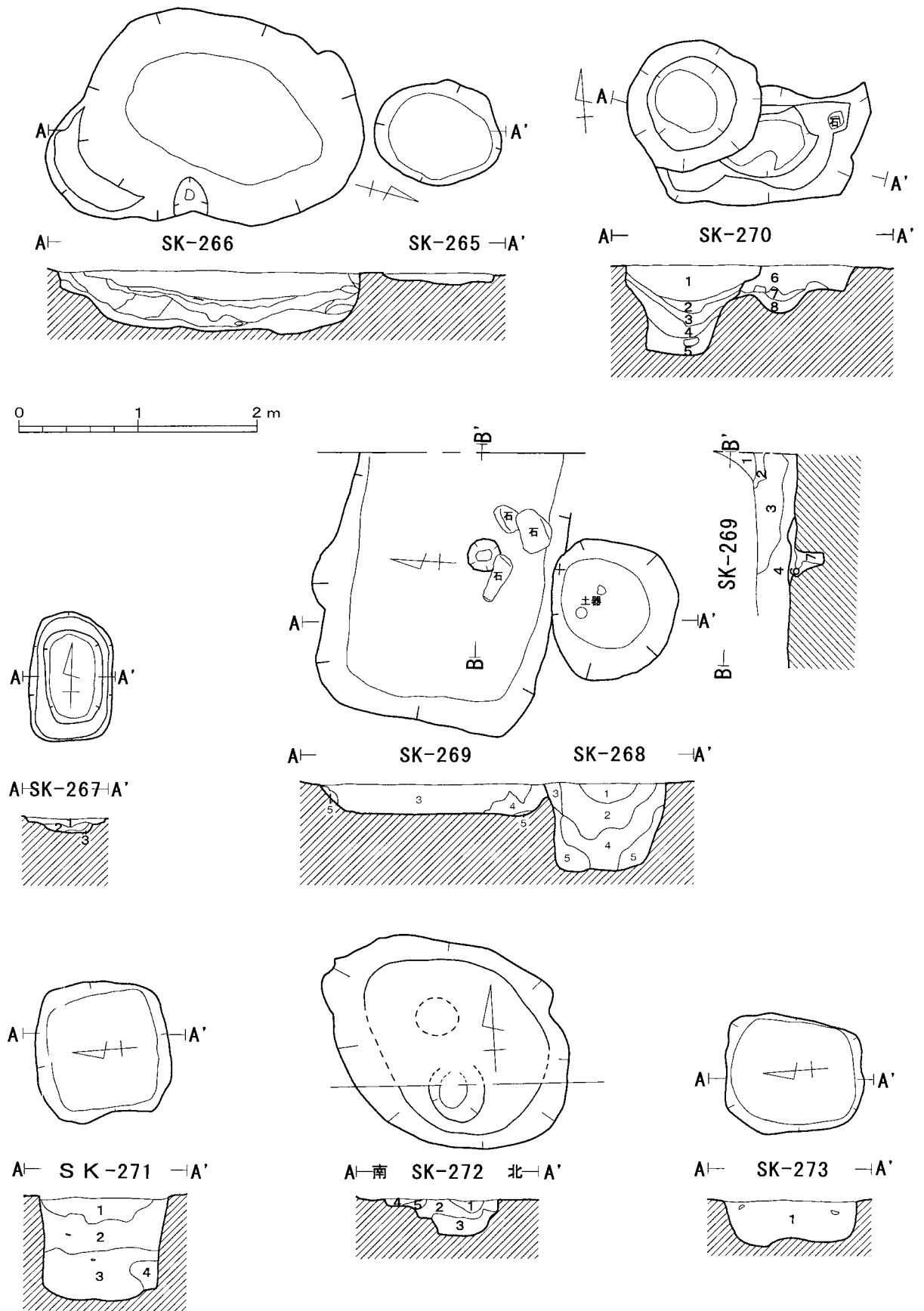
第29图 SK-240 ~ SK-249 土坑迹平面图·断面图 (S=1:50)



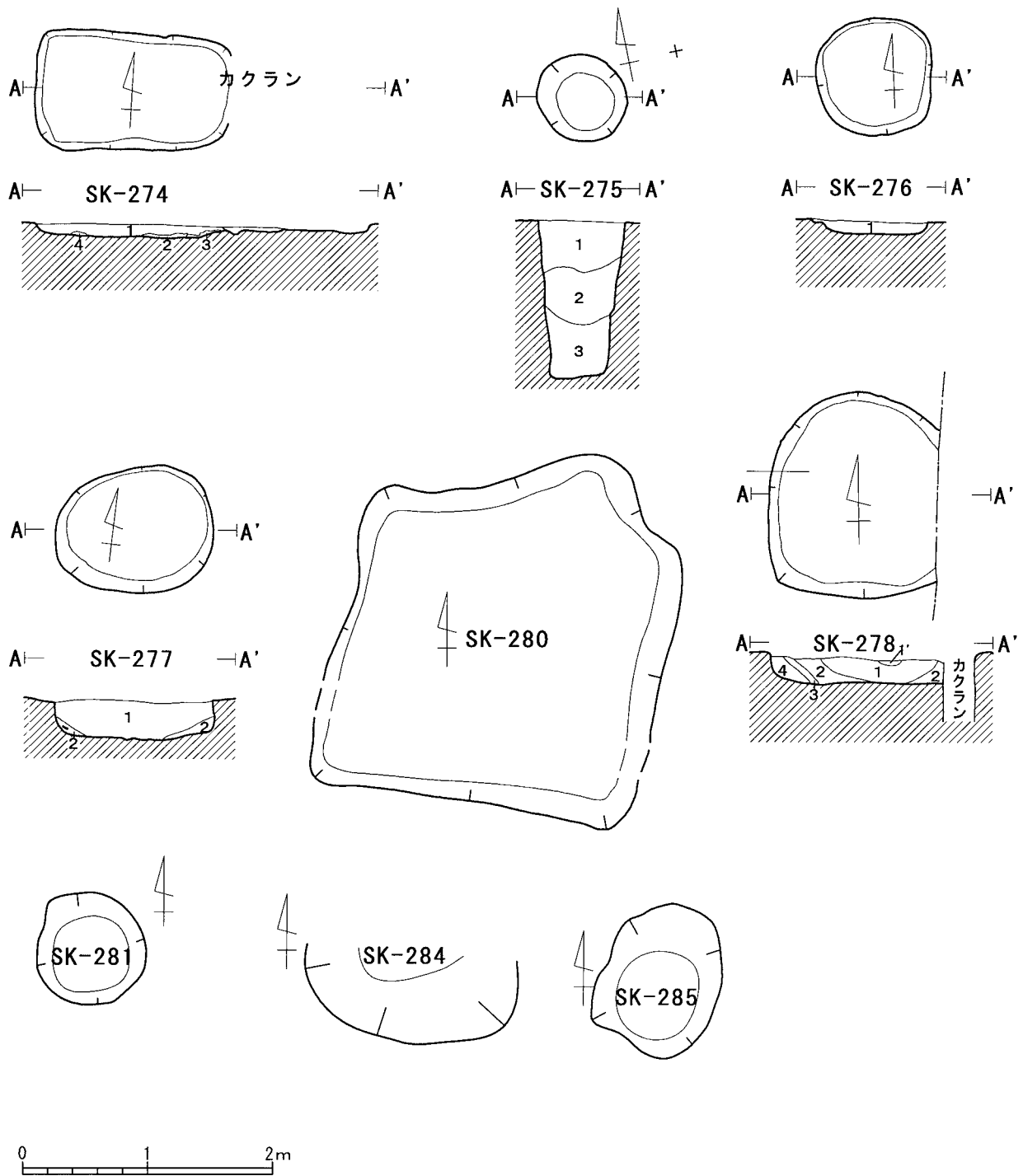
第30図 SK-250 ~ SK-258 土坑跡平面図・断面図 (S=1:50)



第31图 SK-259 ~ SK-264 土坑跡平面図・断面図 (S=1:50)



第32图 SK-265 ~ SK-273 土坑迹平面图·断面图 (S=1:50)



第33図 SK-274 ~ SK-285 土坑跡平面図・断面図 (S=1:50)

SK-240・SK-241土坑断面

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。地山土小ブロック・小礫含む。
- 2層土 10YR3/3暗褐色土。硬。砂粒を多く含む。
- 3層土 1層土と同じ。
- 4層土 砂質地山土ブロック。硬。
- 5層土 10YR3/3暗褐色土。軟。少量の地山土小ブロック含む。
- 6層土 10YR3/3暗褐色土。硬。砂粒を多く含む。
- 7層土 10YR3/2黒褐色土。軟。

SK-242土坑断面

- 1層土 10YR2/2黒褐色土。軟。極めて多量の礫（小礫～拳大）を含む。土器片多く含む。炭化材含む。

SK-243土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2暗褐色土。軟。褐色地山土粒含む。柱穴か？
- 2層土 1層土に7.5YR4/4褐色地山土小ブロック多く含む。小礫・土器片含む。

SK-244土坑断面

- 1層土 2層土と褐色地山土（やや硬）のブロック状混土。
- 2層土 7.5YR3/2黒褐色土。礫・小石・地山土小ブロック含む。
- 3層土 1層土に10YR4/3にぶい黄褐色地山土粒多く混入。軟。
- 4層土 3層土に多量の拳大礫含む。
- 5層土 1層土に褐色地山土小ブロック多く含む。
- 6層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。
- 7層土 10YR4/3にぶい黄褐色粘土質土ブロック。軟。周辺壁は褐色地山土。
- 8層土 6層土に10YR4/3にぶい黄褐色粘土質土粒均一に多く入る。やや硬。
- 9層土 6層土の硬。底面より多量の完形かわらけ出土

SK-245土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや軟。褐色地山土小ブロック・土器片・小礫・炭化粒等含む。
- 2層土 1層土に褐色地山土ブロック多く含む。やや硬。土器片含まない。周壁貼付け土の流れ込みか。
- 3層土 7.5YR2/2～2/1黒褐色土。軟。
- 3層土 3層土に暗灰色粘土質土含む。きわめて軟。
- 4層土 褐色地山土主体。3層土・粘土質土含む。軟。
- 5層土 暗灰色～黄灰色粘土質土。
- 6層土 褐色地山土主体。
- 7層土 10YR3/2黒褐色地山土。
- 8層土 7.5YR6/4にぶい橙色地山土。

SK-246土坑断面

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。暗褐色地山土ブロック含む。
- 2層土 7.5YR3/4暗褐色地山土主体。やや軟。

SK-247土坑断面

- 1層土 10YR2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック・炭化材・土器片含む。
- 2層土 1層土と7.5YR4/6褐色地山土とのブロック状混土。やや硬くしまっている。
- 3層土 10YR2/1黒色土。軟。褐色地山土小ブロック・灰黄褐色粘土質地山土小ブロック・草葉等有機物多く含む。
- 4層土 10YR1.7/1黒色土。軟。10YR5/2灰黄褐色粘土質地山土ブロック含む。草葉等有機物少量含む。

SK-248土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。褐色地山土小ブロック含む礫含む。
- 2層土 1層土に褐色地山土小ブロック多く含む。軟。
- 3層土 1層土と褐色地山土とのブロック状混土。軟。

SK-249土坑断面

- 1層土 7.5YR2/1黒色土。軟。褐色地山土小ブロック含む
- 2層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。少量の褐色地山土小ブロック含む。土器片含む。
- 3層土 1層土のやや硬。地山土小ブロックは含まない。
- 4層土 1層土と同じ。
- 5層土 2層土と同じ。
- 6層土 1層土の地山土小ブロックが多いもの。
- 7層土 7.5YR2/1黒色土。
- 8層土 7層土と同じ。
- 9層土 2層土の極めて軟らかいもの。

SK-250土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや軟。小礫含む。SD-142溝埋土
- 2層土 7.5YR2/1黒色土。軟。褐色地山土小ブロック多く含む。
- 3層土 10YR2/2黒褐色土。軟。10YR2/2上位ににぶい黄褐色地山土粒多く含む。
- 4層土 7.5YR2/3黒褐色土。軟。10YR2/2上位ににぶい黄褐色地山土粒多く含む。下に褐色地山土小ブロック含む。
- 5層土 10YR2/2黒褐色土。軟。両地山土小ブロック多く含む。
- 6層土 褐色地山土。軟。

SK-251土坑断面

- 1層土 7.5YR2/3極暗褐色土。やや軟。10YR5/4にぶい黄褐色地山土粒多く含む。
- 2層土 7.5YR3/3暗褐色土。やや軟。地山土小ブロック多く含む。
- 3層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや軟。にぶい黄褐色地山土粒含む。
- 4層土 10YR3/2暗褐色土。やや軟。7.5YR4/4褐色地山土ブロック多量に含む。
- 5層土 10YR2/2暗褐色土。軟。地山土小ブロック多く含む。
- 6層土 褐色地山土ブロック主体に10YR3/2暗褐色土少量混在。軟。
- 7層土 褐色地山土ブロック主体。軟。

SK-252土坑断面

- 1層土 7.5YR2/3極暗褐色土。やや軟。10YR5/4にぶい黄褐色地山土粒・炭化粒・土器片等含む。
- 2層土 1層土ににぶい黄褐色地山土小ブロック多く含む。土器片多く含む。やや硬。
- 3層土 1層土の軟。
- 4層土 7.5YR4/4褐色地山土ブロック主体。

SK-253土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒色土。やや硬。10YR5/4にぶい黄褐色土粒・同小ブロック多く含む。
- 2層土 10YR2/2黒褐色土。やや硬。
- 3層土 10YR2/3黒褐色土。軟。褐色地山土小ブロック多く含む。
- 4層土 7.5YR2/1黒色土が上位。7.5YR2/2黒褐色土が下位をなし、間に7.5YR4/4褐色地山土小ブロックが筋状に入る。
- 5層土 7.5YR4/4褐色土主体。軟。

SK-254土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。少量の小石含む。下に褐色地山土粒含む。
- 2層土 1層土から漸移してにぶい黄褐色地山土になる。

SK-255土坑断面

- 1層土 褐色地山土ブロック主体。硬。
- 2層土 7.5YR2/3極暗褐色地山土小ブロック多。やや硬。
- 3層土 7.5YR2/3極暗褐色土。軟。

SK-256土坑断面

- 1層土 10YR3/3暗褐色土。やや硬。にぶい黄褐色地山土小ブロック多く含む。
- 2層土 10YR2/3黒褐色土。やや硬。にぶい黄褐色地山土小ブロック含む。
- 3層土 7.5YR2/1黒色土。軟。にぶい黄褐色地山土粒・褐色地山土粒若干量含む。
- 4層土 3層土に褐色地山土ブロック多く含む。軟。
- 5層土 10YR3/2黒褐色土。やや硬。にぶい黄褐色地山土小ブロックを筋状に多く含む。
- 6層土 5層土の軟。地山土ブロックが少なくなる。

SK-257土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土粒含む。小礫。土器片等多く含む。
- 2層土 地山土ブロック主体の軟。
- 2層土 2層土の硬。
- 3層土 地山土ブロック主体に1層土多く混入。.

SK-258土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック少量含む。礫少量含む。
- 2層土 1層土と地山土との小ブロック状混土（1：1）。軟。
- 2層土 2層土で、1層土が多いもの（混合比2：1）。軟。
- 3層土 2層土（混合比1：1）のやや硬。
- 3層土 3層土の黒褐色土少ないもの（混合比1：2）。
- 4層土 地山土主体に1～2層土混入。やや硬。
- 5層土 地山土ブロック。やや硬。

- 6層土 1層土に地山土粒多く含む。軟。
7層土 1層土に地山土小ブロック含む。軟。

SK-259土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土に地山土小ブロック・小礫・砂等混入。軟。

SK-260土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。硬。極めて多量の地山土小ブロック含む。礫含む。
2層土 7.5YR2/1黒色土。軟。地山土小ブロック少量含む。
3層土 地山土ブロック主体に2層土混入。硬。
4層土 2層土と地山土との小ブロック状混土。軟。炭化材含む。
5層土 7.5YR3/3極暗褐色。地山土主体。層内上端に炭化粒多く含む。

SK-262土坑断面

- 1層土 7.5YR2/1黒色土。硬。地山土小ブロック含む。炭化粒含む。土器小片含む。
2層土 1層土に同じ。
3層土 7.5YR3/3暗褐色土。地山土主体。やや硬。
4層土 7.5YR3/3暗褐色土。地山土ブロック。軟。
5層土 3層土に同じ。

SK-263-1土坑断面

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。土器小片・礫・小石含む。
2層土 3層土と地山土ブロックの混土。やや硬。
3層土 7.5YR3/3極暗褐色土。軟。中央付近のみに地山土小ブロック含む。

SK-263-2土坑断面

- 4層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや軟。SK-263-1土坑1層土に類似するが、やや黒みが強い。土器細片・小石含む。
5層土 4層土に地山土ブロック混入。やや硬。

SK-264土坑断面

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。硬。地山土ブロックを極めて多く含む。
2層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。地山土小ブロック多く含む。炭化材多くフック無。礫含む。
3層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック多く含む。炭化材多く含む。
4層土 3層土に地山土小ブロック含む。炭化材少量含む。
5層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。小礫少量含む。下位に地山土小ブロック含む。

SK-267土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや軟。地山土ブロック多く含む。
2層土 7.5YR2/1黒色土。軟。地山土小ブロック少量含む。
3層土 10YR3/4暗褐色。地山土ブロック主体。軟。

SK-268土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。小石粒(2～5mm)含む。土器細片含む。地山土小ブロック含む。
2層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや軟。小石含む。土器片含む。地山土小ブロック多く含む。
3層土 1層土に同じ。やや硬。小石粒少ない。
4層土 7.5YR2/1黒色土。軟。地山土小ブロック含む。
5層土 7.5YR2/2黒褐色土。極めて軟。地山土ブロック含む。

SK-269土坑断面

- 1層土 表土。7.5YR3/2黒褐色土。
2層土 表土に地山土粒多く含む。やや硬。小石含む。
3層土 7.5YR2/2～2/3黒褐色土。やや硬。地山土粒・土器細片・炭化粒。各少量含む。
4層土 7.5YR2/2～2/3黒褐色土。やや硬。多量の地山土小ブロック含む。
5層土 地山土ブロック主体。軟。3・4層土粒含む。

SK-270土坑断面

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや硬。地山土ブロック・小ブロック多く含む。小石含む。
2層土 7.5YR3/2～2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック含む。炭化粒含む。土器小片含む。
3層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。炭化粒・地山土粒含む。
4層土 3層土に多量の地山土小ブロックを筋状に含む。軟。
5層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック含む。
6層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。下位に地山土小ブロック散らばる。
7層土 地山土ブロック主体。やや硬。
8層土 地山土ブロック主体。軟。

SK-271土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。小石含む。
2層土 1層土に地山土小ブロック含む。小礫・炭化材含む。
3層土 7.5YR2/1黒色土。軟。礫・木片含む。地山土小ブロック含む。
4層土 地山土小ブロック主体。軟。3層土・礫混入。

SK-273土坑断面

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや軟。拳大の小礫と地山土ブロックを多く含む。上位層中央は地山土小ブロックを含み、やや硬い。

SK-274土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック含む。
2層土 10YR3/2極暗褐色土。地山土小ブロック含む。
3層土 地山土小ブロック主体に1層土含む。

SK-275土坑断面

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土。やや軟。地山土小ブロック、地山土粒、炭化材。いずれも多く含む。
2層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土粒若干含む。小礫含む。
3層土 10YR2/2黒褐色粘土質土。軟。炭化材含む。5Y5/1灰色粘質土ブロック多く含む。

SK-276土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。やや硬。地山土小ブロック含む。

SK-277土坑断面

- 1層土 7.5YR2/1黒色土。軟。地山土粒少量含む。土器片少量含む。
2層土 1層土に地山土ブロックを含む。

SK-278土坑断面

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック含む。
1層土 1層土に砕石が混入している。
2層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。地山土小ブロック多量に含む。
3層土 7.5YR3/2黒褐色土。軟。地山土粒多量に含む。
4層土 2層土と3層土が均一に混ざった層土。

(5) 竪穴住居跡 (第34図)

第23次・第24次調査では、3棟の竪穴住居跡を検出している。調査の段階では他に2棟、竪穴住居跡として精査を実施したものがあつたが、両遺構とも自然の落ち込みであつた。それら(SI-62、SI-64)は欠番となつており、個別の記載はしていない。

SI-61竪穴住居跡 (第35図)

調査区南寄りの西端にて全体を検出。しかし削平が進んでおり、煙道と煙出しの部分は不明である。SI-14掘立柱建物跡その他の柱穴にきられている。隅丸方形を呈する平面の規模は、東西長・南北長とも3.7mを測る。検出面から床面までの深さは10cm～17cmであり、床面には特に貼り床を施した部分はなく全体に踏み固められていた。埋土は大別2層となる自然堆積である。付属施設としては、東壁南寄りにカマドがあつたものと思われ、検出面から30cmほどの深さに赤く焼き固まつた火床があつた。伴う土坑は、北東コーナー・南東コーナーにそれぞれ1基づつ、また、中央南寄りに3基検出されている。北西コーナー近くに浅い小ピットが伴うが、柱穴とは考えられない。

出土遺物(第41図36～第42図)は、その殆どが火床面上もしくはその周辺から出土した土師器である。

SI-63竪穴住居跡 (第36図)

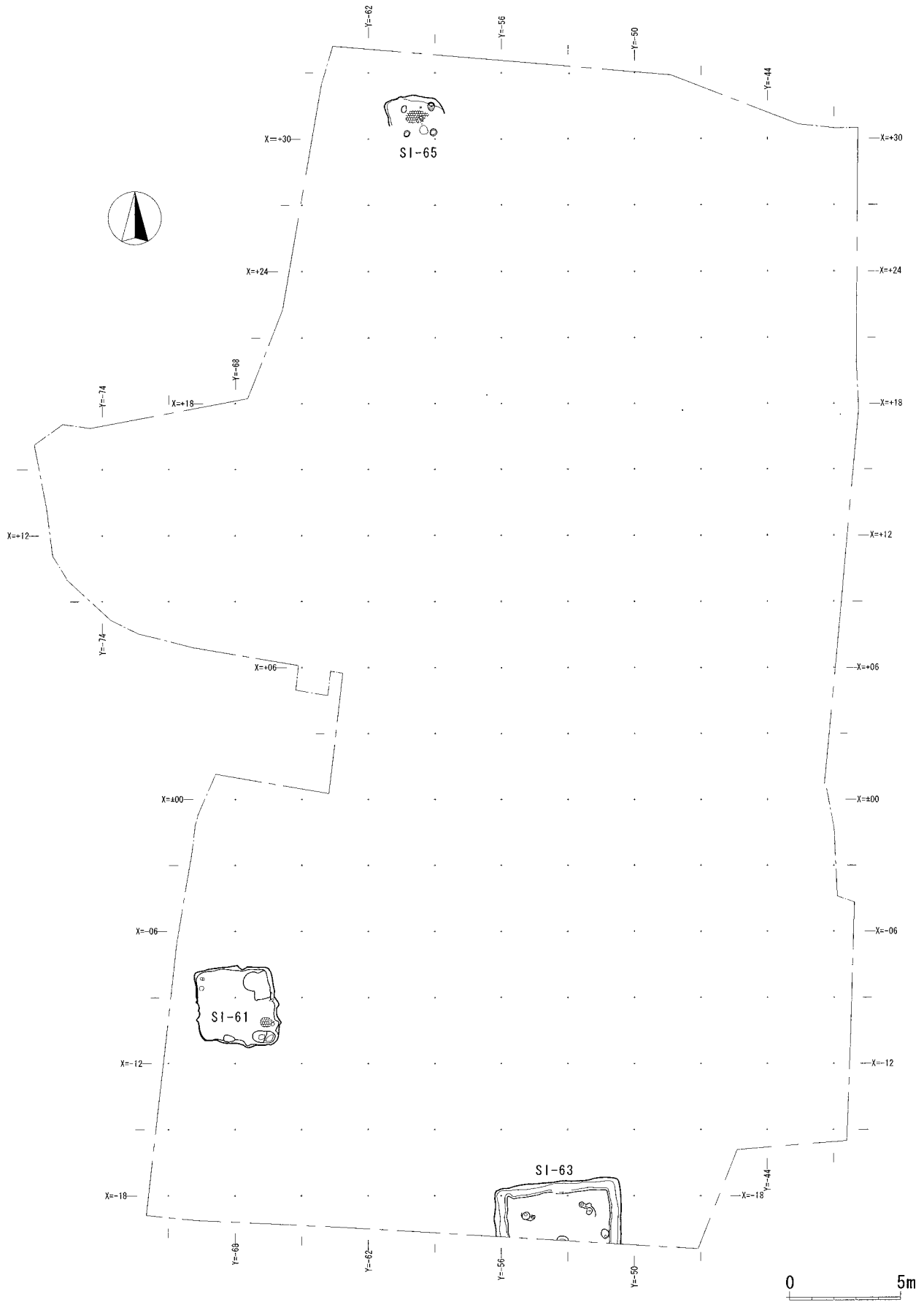
調査区南端東寄り部分で検出。遺構の南半は調査区外となっている。方形を呈すると思われる平面の規模は、東西5.6mを測る。南北長は不明だが、西端では2.2m、東端で2.3mを調査した。若干の時期不明柱穴に切られており、また、陥し穴T-1を切っている。検出面からの深さは20cmほどであり、埋土は大別2層からなる自然堆積。床面は全体にほぼ水平であり、その大部分で貼り床が認められた。検出範囲では床周辺を深さ3cm～5cmの浅い溝がめぐっている。溝の幅は45cm～55cmと広い。貼り床が載っている部分も多く、竪穴掘削の際に掘り込まれ、床面成形時に埋められたものようである。壁腰板等の設置施設とは考えられない。中央の円形土坑(径55cm、床面からの深34cm)も同様に埋められたものである。北西部および北東部の、壁から1.2m～1.3mの所に、柱穴2基が確認された。深さは、北西柱穴20cm、北東柱穴17cmのもので、本竪穴住居跡に伴うものである。

出土遺物 集中は特に認められず、埋土2層中より若干の土師器が出土したのみである。

SI-65竪穴住居跡 (第37図)

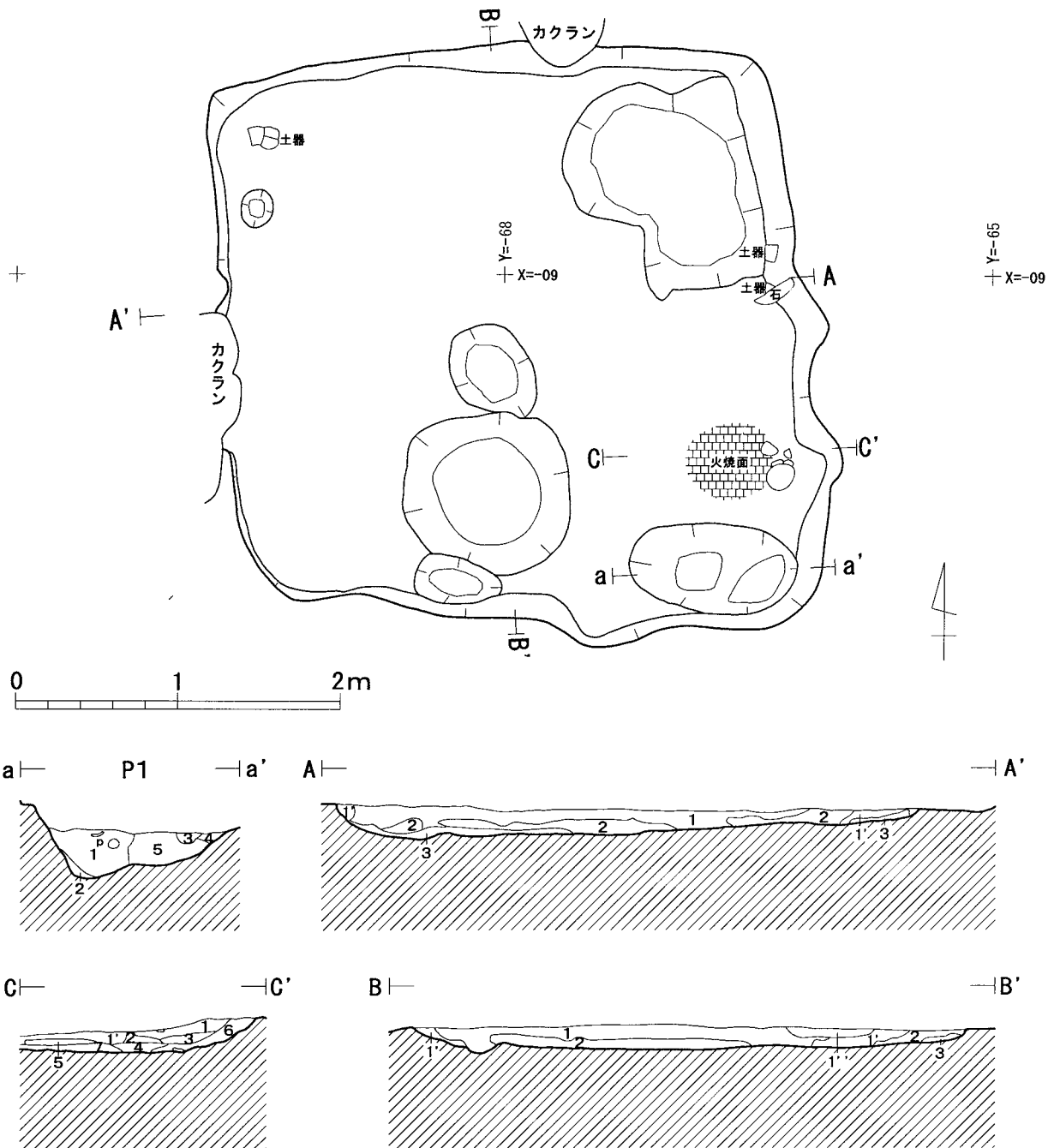
調査区北西端近くにて検出したが、削平がひどく、壁の立ち上がりが確認できたのは北西コーナー周辺のごく一部のみである。4基の柱穴が1.1m～1.2mの間隔で四角に並ぶことから、本来方形の竪穴住居跡であつたと思われる。中央付近にある焼土は、床面に固く焼きついており、直上からの遺物出土も多かつたことから、地床炉であることが考えられる。

出土遺物(第42図57～59)焼土上より若干の土師器が出土した。



第34図 竪穴住居跡配置図 (S=1:250)

SI-61 竪穴住居



第35図 SI-61 竪穴住居跡平面図・断面図 (S=1:40)

SI-61 竪穴住居 断面注記

A-A' 断面 (E-W) B-B' 断面 (N-S)

1層土 7.5Y R2/1黒色土。軟。少量の地山土粒含む。

1'層土 1層土に地山土小ブロック・焼土等含む。

1''層土 1層土の混入物がないもの。

2層土 7.5Y R2/2黒褐色土。地山土小ブロック多く含む。軟。

3層土 7.5Y R3/3暗褐色地山土主体。軟。

C-C' 断面 (カマド)

1層土 2.5Y R6/8橙色硬焼土小ブロックと7.5Y R3/3暗褐色土との混土。硬。

2層土 7.5Y R3/3暗褐色土主体。軟。上記焼土小ブロック混入。

3層土 10Y R5/4にぶい黄褐色土。やや硬。炭化粒含む。

4層土 2.5Y R6/8橙色焼土。

5層土 7.5Y R2/2黒褐色土。硬。焼土流少量含む。

6層土 7.5Y R3/2黒褐色土。やや硬。焼土粒・焼土小ブロック多く含む。

a-a' 断面 (P-a)

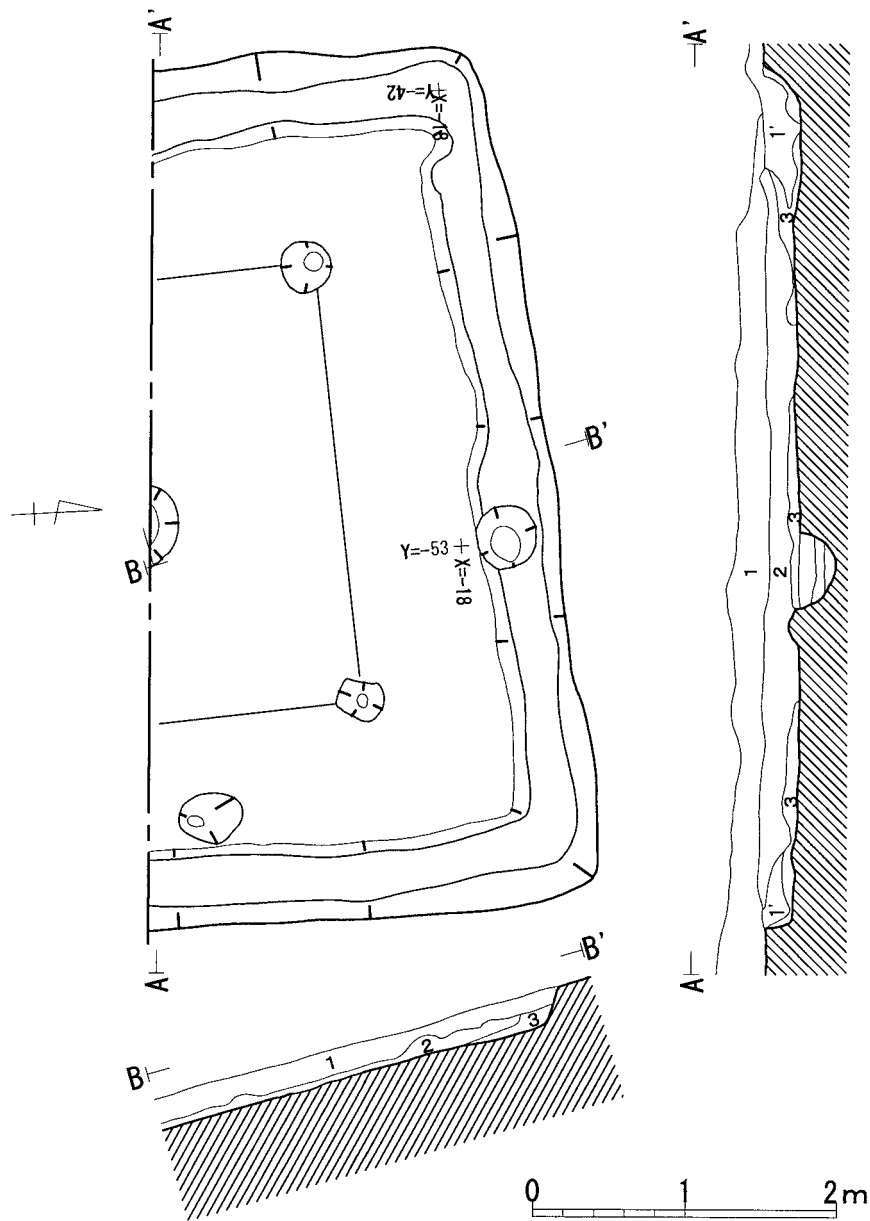
1層土 7.5Y R2/2黒褐色土。軟。地山土粒含む。上位に土師器片および10Y R4/4軟性褐色地山土ブロック入る。

2層土 1層土に焼土粒多く含む。軟。

3層土 1層土のやや硬。

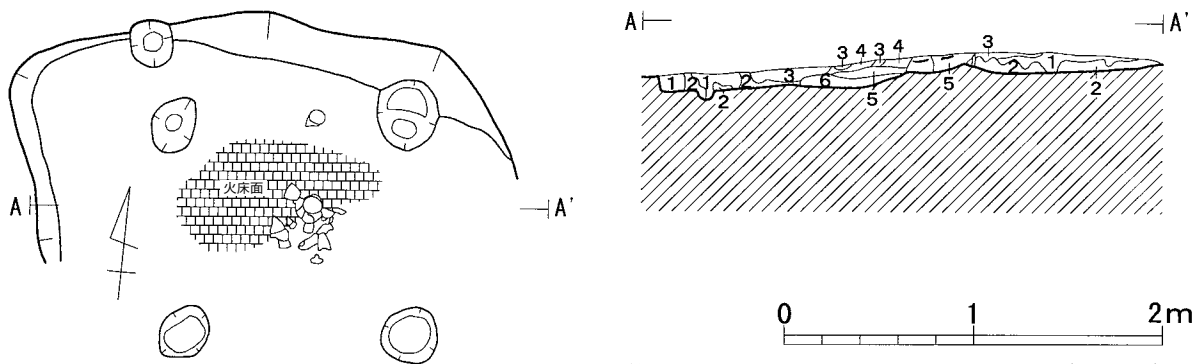
4層土 10Y R4/4地山土ブロック。硬。

5層土 1層土と地山土の小ブロック状混土。軟。



第36図 SI-63竪穴住居跡平面図・断面図

SI-65竪穴住居

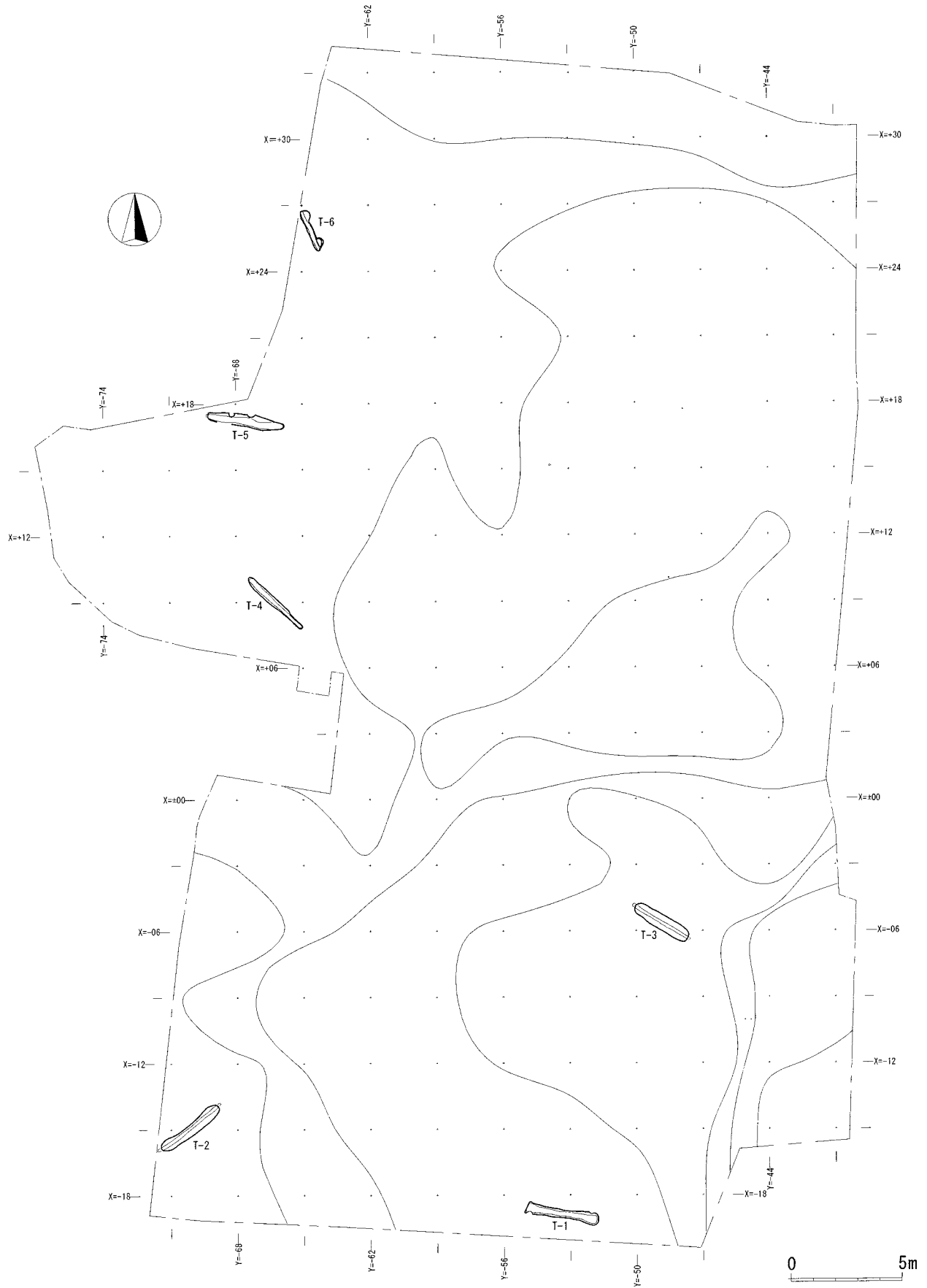


第37図 SI-65竪穴住居跡平面図・断面図 (S=1:40)

SI-65竪穴住居断面注記

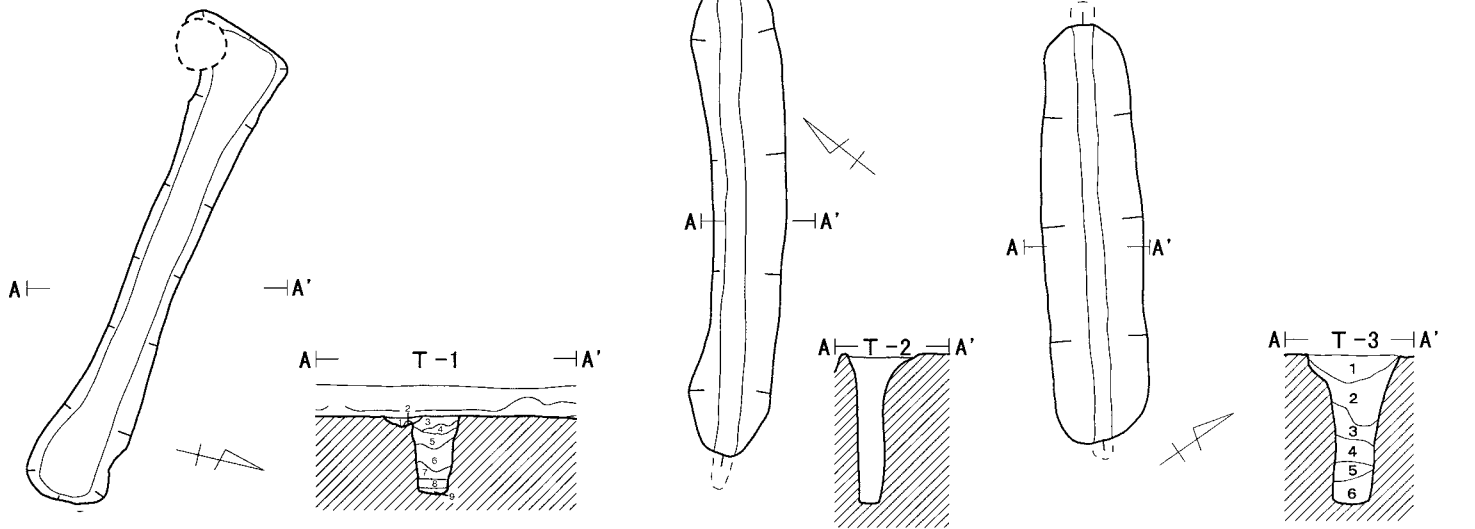
- 1層土 10Y R2/2黒褐色土、やや硬。10Y R4/6褐色地山土多く含む。
- 2層土 10Y R4/6褐色地山土主体、軟。
- 3層土 10Y R2/2黒褐色土、軟。炭化粒・焼土粒・地山土粒含む。

- 3'層土 3層土に、極めて多量の炭化粒入る。
- 4層土 5 Y R3/3暗赤褐色土、軟。炭化粒・地山土粒多く含む。
- 5層土 4層土と地山土との混土、軟。
- 6層土 硬化焼土面。



第38図 陥し穴配置図 (S=1:250)

(6) 陥し穴

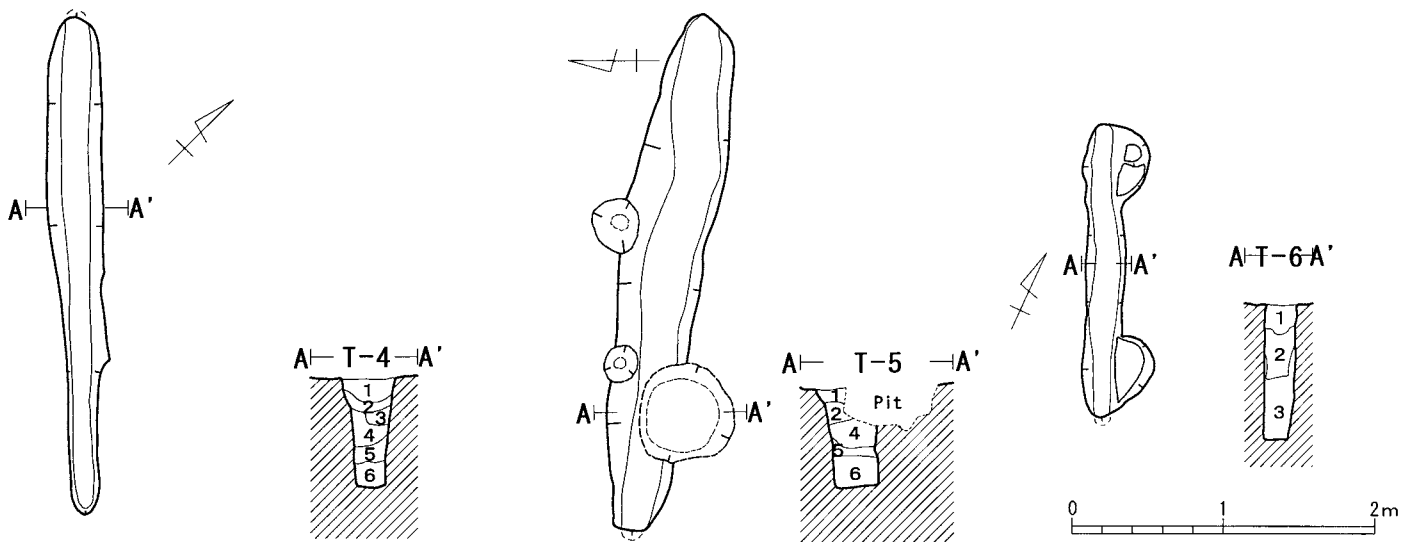


T-1 陥し穴断面注記

- 1層土 地山土粒主体に黒褐色土粒が若干混入.
- 2層土 地山土ブロック.
- 3層土 7.5YR3/3暗褐色土. やや硬. 地山土粒を多量に含む.
- 4層土 7.5YR2/2黒褐色土.
- 5層土 3層土の軟.
- 6層土 4層土に、地山土粒が筋状に流れ込んでいる. 軟.
- 7層土 7.5YR4/4褐色地山土層. 軟.
- 8層土 7.5YR2/1黒色土. 軟. 炭化粒・地山土粒含む.
- 9層土 6層土に若干の8層土粒混入. 軟.

T-3 陥し穴断面注記

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟.
- 2層土 1層土に、B・C地山土粒混入. 軟.
- 3層土 2層土にB・C地山土小ブロック多く混入.
- 4層土 2層土とB・C地山土との小ブロック状混土. やや軟.
- 5層土 3層土に同じ. 軟.
- 6層土 C地山土ブロック. やや軟.



T-4 陥し穴断面注記

- 1層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟.
- 2層土 10YR3/2暗褐色土. 軟.
- 3層土 2層土に暗褐色地山土ブロック多く混入.
- 4層土 10YR3/3~4/3暗褐色地山土ブロック主体.
- 5層土 3層土に同じ.
- 6層土 2層土に同じ.

T-5 陥し穴断面注記

- 1層土 10YR2/3黒褐色土. やや軟. 地山土粒若干混入.
- 2層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟.
- 3層土 1層土の軟.
- 4層土 3層土に地山土小ブロック多く混入.
- 5層土 10YR2/2黒褐色土. 軟. 地山土小ブロック若干混入.
- 6層土 黒褐色土. 軟.

T-6 陥し穴断面注記

- 1層土 7.5YR3/2黒褐色土. やや軟. 地山土小ブロック・地山土粒・炭化材多く含む.
- 2層土 7.5YR2/2黒褐色土. 軟. 地山土粒・小礫若干含む.
- 3層土 10YR2/2黒褐色粘土質土. やや軟. 5Y5/1灰色粘土質土ブロック多く含む.

第39図 T-1 ~ T-6 陥し穴平面図・断面図 (S=1:50)

Ⅲ 調査成果のまとめ

1 遺構

(1) 掘立柱建物

今次で調査した掘立柱建物跡6棟のうち、新旧が判別できるものは少なかったが、唯一、SB-14とSB-15建物跡はまったく重複がなく、他の建物跡との同時存在が可能である。

また、SB-15建物跡の柱穴P1がSK-286の土坑を切っており、この土坑跡から多量のちゅう木が出土している。残り4棟は、SB-19が3棟のいずれとも重複しており、これら3棟との同時存在の可能性はない。同様にSB-17はSB-15、SB-16建物跡との同時存在がなく、6棟の掘立柱建物跡に関しては、少なくとも3時期の存在が考えられる。以下、各建物を比較する資料として1尺あたりの計測値と建物跡の方向を掲げる。なお、尺は身舎の梁と桁のすべてを総延長とした計測値であり、建物跡の方向は梁、桁に関わらず真北から東への触れ角度の数値である。

	1尺の長さ	建物の方向
SB-14掘立柱建物	31.30cm	1.0°
SB-15掘立柱建物	31.13cm	5.6°
SB-16掘立柱建物	31.20cm	3.0°
SB-17掘立柱建物	31.30cm	2.5°
SB-18掘立柱建物	31.55cm	1.9°
SB-19掘立柱建物	31.44cm	2.2°

(2) 溝跡

堀跡の可能性のある溝跡2条が調査区北西端を南北に走っている。西側で検出したSD-138溝跡は8.3mを測り真北から西に0.9度振れている。東のSD-139溝跡は20mを測り、方向は真北から2.0度東に傾いている。両溝の間隔は、中心で1.6mから1.7mと狭く、同時存在したとは考えにくい。また、どちらも底部柱穴の検出は不明瞭であり、間隔等は不明である。このことから、過去の調査（第8次調査、第18次調査）で検出している溝と位置、方向とも今回検出した溝とは延長上に乗るものなかった。

(3) 井戸跡

調査した井戸跡のうち、比叡館の時期と思われる井戸跡はSE-38、SE39、SE40、SE41の4基であり、そのほかは時期不明である。井戸跡の特徴としては、SE-38、SE-39の2基に井戸構築の際に掘り込みのための拡張と思われる段を有することである。SE-38では開口部に東西105cm、南北70cmほどの平場が見られ、SE-39井戸跡は、ほぼ円形状に開口部径145cmの平場を持ち井戸の主体部に落ち込む。主体部径は133cmから158cm、検出面からの深さは上部開口部が67cm、主体部で155cmを測る。なお、SE-38、SE-39井戸跡からは他の井戸跡に比較して手捏ねのかわらけが多く出土している。

(4) 土坑跡

今次調査では、45基の土坑を検出している。平面形と深さで類別すると次のとおりとなる。

深さ、平面形	深さ	検出数
浅くて平面形が方形	深さ10cm～40cm	10基
深くて平面形が方形	深さ65cm～120cm	3基
浅くて平面形が円形	深さ10cm～35cm	9基
中程度の深さで平面形が円形	深さ55cm～95cm	11基
より深くて平面形が円形	深さ100cm～140cm	3基
不定形な平面形	深さ50cm前後	9基

上記の、より深くて円形を呈するものとした3基のうち、SK-286、SK-275の2基の土坑底面からは、ちゅう木が多く出土している。残り1基のSK-255土坑跡も含め、開口部の径が70cmから90cmといずれもその深さに比して小さな円形であり、平泉柳の御所で検出されているトイレ遺構としているものに類似する。また、ほかの特徴として、平面形が方形もしくは円形を呈し、壁がほぼ垂直に落ち中程度の深さもあり、平らな底面を持つ土坑跡からは、多量のかかわりけが出土している。

2 出土遺物

出土遺物は、10世紀代の須恵器、土師器さらに12世紀代の漆塗碗、井戸枠、籾木等の木製品及び白磁壺の蓋、渥美、常滑片等の陶磁器、かわらけなどの土器がある。ここでは、特に出土量の多いかわらけについて記述してまとめとする。

出土したかわらけの中で、遺構とのセット関係が明確なものは土坑及び井戸跡であり1遺構あたりの出土数も多い。類別すると、ロクロ成形大型、ロクロ成形小型、手捏ね成形大型、手捏ね成形小型の4器種である。また、比叡館跡では、今次の調査では出土していないが、柱状高台を有するものが若干出土することがある。

次に、数基の土坑跡に相伴するかわらけを比較すると次のようになる。

SK-243土坑跡からは、9点の測定可能なかわらけが出土した。手捏ねかわらけは相伴しない。大型のかわらけは1点のみで口径は14.3cmである。色調はいずれもにぶい浅黄橙を呈する。

SK-244土坑跡では、測定可能な10点のロクロかわらけの出土を見た。そのうち、大型かわらけ5点の口径は14.5cmである。手捏ねかわらけの出土はない。表面の色調はにぶい黄橙色、もしくは浅黄橙色で褐灰色ないし灰黄色のものが混じる。SK-281からは、16点の測定可能なかわらけが出土しており、そのうち5点は手捏ねである。ロクロかわらけの大型のものは口径が13.7cmである。柱穴からは11点の出土を見ている。うち3点が手捏ねかわらけで色調はすべて橙色を呈していた。以上から土坑の時期差とかかわらけの色調、焼成の違いで大別可能であるが、限られた範囲の遺構であることから、分類は今後さらに資料を積み重ねた後とする。

以下、次の実測土器一覧表のとおりである。

第4表 実測土器一覧表

(単位:cm)

番号	遺構名	種別	成形	残存	口径	底径	器高	色調	備考
1	SD-135	かわらけ	ロクロ	4/5	8.0	6.1	1.4	10YR6/4 にぶい黄橙	
2	SD-135	かわらけ	ロクロ	完形	8.4	6.0	1.3	7.5YR7/6 橙	
3	SD-135	かわらけ	ロクロ	完形	8.1	6.5	1.8	5YR7/6 橙	
4	SD-135	かわらけ	ロクロ	3/4	8.6	5.6	2.2	10YR7/4 にぶい橙	
5	SD-135	かわらけ	ロクロ	4/5	8.2	6.4	1.7	5YR7/6 橙	
6	SD-135	かわらけ	ロクロ	完形	8.7	6.1	2.3	7.5YR8/4 浅黄橙	
7	SD-135	かわらけ	ロクロ	1/6	8.6	6.0	1.8	5YR6/6 橙	
8	SD-135	かわらけ	ロクロ		11.6	7.5	2.0	5YR7/6 橙	
9	SD-135	かわらけ	ロクロ		欠	6.4	欠	10YR8/6 黄橙	
10	SD-135	かわらけ	ロクロ		欠	6.6	欠	5YR7/6 橙	
11	SD-135	かわらけ	ロクロ		欠	7.3	欠	5YR7/6 橙	
12	SD-135	かわらけ	ロクロ	4/5	14.8	7.6	3.7	5YR7/6 橙	
13	SD-135	かわらけ	ロクロ	4/5	14.8	7.5	4.0	5YR7/6 橙	
14	SD-135	かわらけ	ロクロ	4/5	14.5	7.7	3.9	10YR8/3 浅黄橙	
15	SD-136	かわらけ	手捏ね		15.9	—	2.4	5YR7/6 橙	
16	SD-138	かわらけ	ロクロ	2/3	13.7	10.8	1.9	10YR8/3 浅黄橙	
17	SD-138	かわらけ	ロクロ		欠	7.7	欠	10YR8/3 浅黄橙	
18	SD-142	かわらけ	ロクロ	完形	9.1	6.6	1.8	10YR8/4 浅黄橙	
19	SD-144	かわらけ	ロクロ	1/5	14.0	7.6	3.5	7.5YR7/6 橙	
20	SD-144	かわらけ	ロクロ	1/3	8.4	6.0	1.6	7.5YR7/3 にぶい橙	
21	SE-39	かわらけ	手捏ね	1/3	13.0	—	3.6	5YR7/6 橙	
22	SE-39	かわらけ	手捏ね	1/2	9.0	—	2.0	5YR7/6 橙	
23	SE-39	かわらけ	手捏ね	1/4	11.0	—	2.6	5YR8/4 淡橙	
24	SE-39	かわらけ	ロクロ	底部	欠	5.7	欠	7.5YR8/6 浅黄橙	
25	SE-39	かわらけ	ロクロ		欠	欠	欠	7.5YR8/6 浅黄橙	底部1/2
26	SE-39	かわらけ	ロクロ		欠	欠	欠	7.5YR7/6 橙	底部1/2
27	SE-39	かわらけ	ロクロ	完形	8.4	5.7	2.2	5YR7/6 橙	
28	SE-39	かわらけ	ロクロ	1/2	9.1	6.1	1.7	10YR7/4 にぶい黄橙	
29	SE-39	かわらけ	ロクロ	2/3	9.2	7.1	2.1	5YR7/8 橙	
30	SE-39	かわらけ	ロクロ	2/5	8.0	4.7	2.0	10YR8/4 浅黄橙	
31	SE-39	かわらけ	ロクロ	1/4	9.0	6.2	1.7	7.5YR7/4 にぶい橙	
32	SE-39	かわらけ	ロクロ	1/2	9.0	6.0	1.6	5YR7/6 橙	

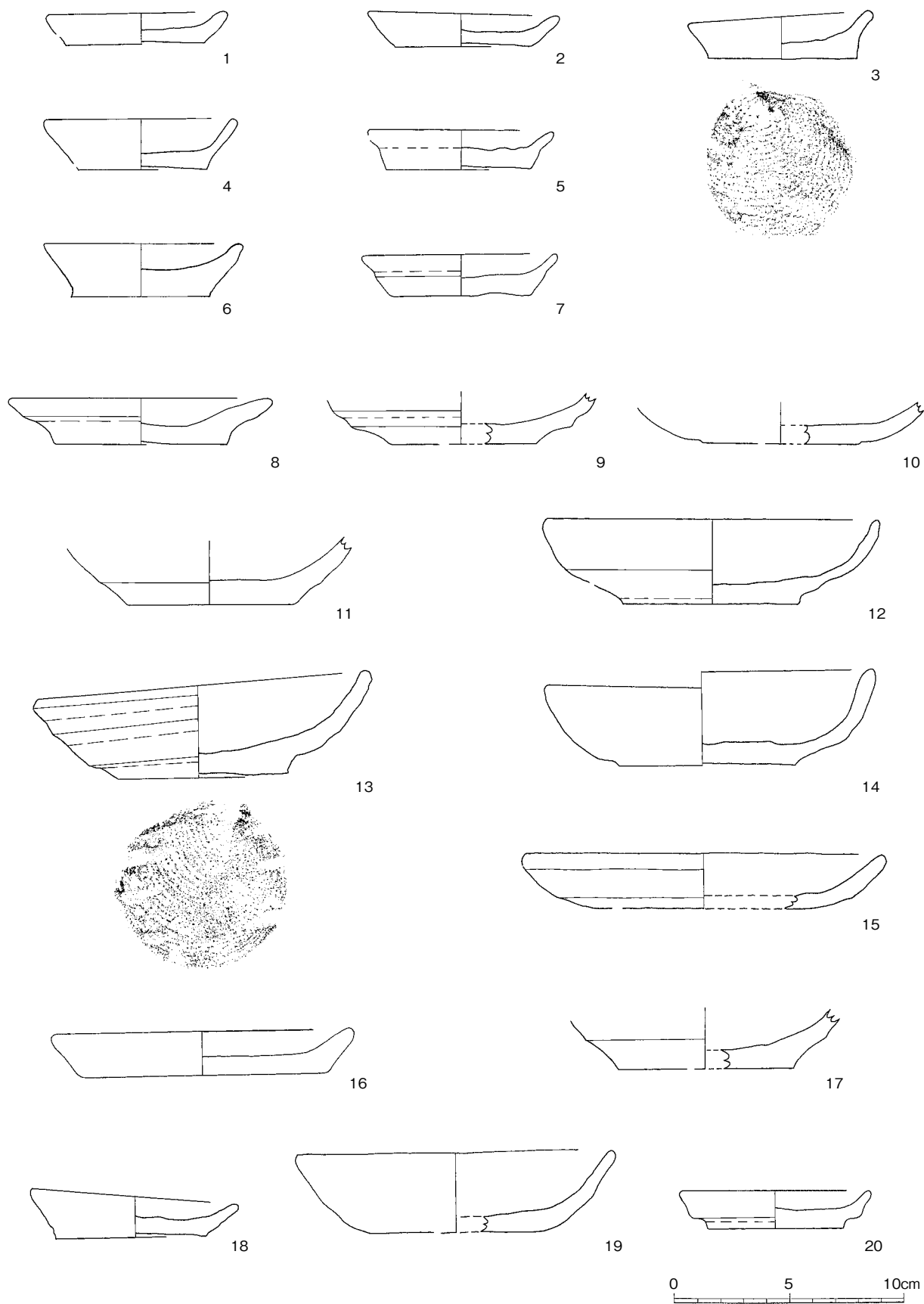
番号	遺構名	種別	成形	残存	口径	底径	器高	色 調	備考
33	SE-39	かわらけ	口ク口		8.0	5.1	2.0	5YR7/8 橙	
34	SE-39	かわらけ	口ク口		8.4	5.2	2.0	10YR7/3 にぶい黄橙	
35	SE-39	かわらけ	手捏ね	完形	14.9	—	3.5	7.5YR7/4 にぶい橙	
36	SI-61	土師器坏	口ク口	完形	15.5	6.5	5.2	7.5YR7/6 橙	
37	SI-61	土師器坏	口ク口		13.9	欠	欠	10YR7/4 にぶい黄橙	墨書あり 口縁一部のみ
38	SI-61	土師器坏	口ク口	3/4	14.0	6.4	4.8	10YR7/3 にぶい黄橙	内黒
39	SI-61	土師器坏	口ク口	1/5	12.5	5.4	4.7	7.5YR7/6 橙	内黒
40	SI-61	土師器坏	口ク口	底部	欠	5.8	欠	7.5YR8/4 浅黄橙	内黒
41	SI-61	土師器坏	口ク口		欠	8.2	欠	10YR8/4 浅黄橙	高台付 内黒
42	SI-61	土師器	口ク口	底部	欠	5.3	欠	10YR6/2 灰黄橙	
43	SI-61	土師器	口ク口	底部	欠	8.2	欠	2.5YR7/6 橙	
44	SI-61	土師器甕	口ク口	底部	欠	10.3	欠	10YR6/3 にぶい黄橙	
45	SX-11	かわらけ	口ク口		16.5	欠	欠	10YR8/3 浅黄橙	口縁一部のみ
46	SX-11	かわらけ	口ク口	1/3	8.2	6.8	2.0	10YR8/2 灰白	
47	SX-11	かわらけ	口ク口	1/3	9.8	7.0	1.9	7.5YR8/4 浅黄橙	
48	SX-11	かわらけ	口ク口		欠	8.0	欠	7.5YR8/4 浅黄橙	
49	SX-11	かわらけ	口ク口	完形	8.8	6.6	1.6	10YR7/3 にぶい黄橙	
50	SX-11	かわらけ	口ク口	1/2	9.1	7.0	2.0	7.5YR8/4 浅黄橙	
51	SX-11	かわらけ	口ク口	完形	9.9	7.5	1.8	7.5YR7/4 にぶい橙	
52	SX-11	かわらけ	口ク口	完形	9.4	6.7	1.4	10YR8/4 浅黄橙	
53	SX-11	かわらけ	口ク口	1/3	9.6	7.6	1.7	10YR8/3 浅黄橙	
54	SI-63	土師器	口ク口		欠	5.6	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	内黒
55	SX-12	土師器	口ク口	3/4	9.4	6.0	2.3	10YR8/3 浅黄橙	
56	SX-12	土師器	口ク口	1/5	9.5	6.1	2.0	10YR8/3 浅黄橙	
57	SI-65	土師器	口ク口	底部	欠	6.2	欠	7.5YR8/4 浅黄橙	
58	SI-65	長胴甕	口ク口		欠	7.1	欠	10YR8/3 浅黄橙	
59	SI-65	土師器	口ク口	完形	14.7	6.0	5.0	7.5YR7/3 にぶい橙	
60	SK-240	かわらけ	口ク口	4/5	8.6	5.6	2.4	7.5YR7/4 にぶい黄橙	
61	SK-240	かわらけ	口ク口	完形	8.4	5.4	2.4	7.5YR7/4 にぶい橙	
62	SK-241	かわらけ	口ク口	底部	欠	8.0	欠	10YR8/3 浅黄橙	
63	SK-241	かわらけ	口ク口	完形	8.7	6.0	1.8	10YR7/3 にぶい橙	
64	SK-242	かわらけ	口ク口	完形	8.4	6.6	1.4	7.5YR8/3 浅黄橙	
65	SK-242	かわらけ	口ク口	完形	7.6	5.6	1.7	10YR8/4 浅黄橙	
66	SK-242	かわらけ	口ク口	1/2	10.8	8.6	1.6	10YR7/2 にぶい黄橙	
67	SK-242	かわらけ	口ク口	完形	8.8	5.5	2.8	10YR8/3 浅黄橙	
68	SK-242	かわらけ	口ク口	完形	8.3	5.6	1.7	10YR7/3 にぶい黄橙	
69	SK-242	かわらけ	口ク口	2/3	10.0	7.8	1.7	10YR8/2 灰白	
70	SK-242	かわらけ	口ク口	1/2	10.2	6.6	1.6	10YR8/4 浅黄橙	
71	SK-242	かわらけ	口ク口	底部	欠	9.5	欠	10YR8/3 浅黄橙	
72	SK-243	かわらけ	口ク口	1/3	10.0	7.4	2.1	10YR8/4 浅黄橙	
73	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	8.9	6.9	2.0	10YR8/4 浅黄橙	
74	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	9.5	6.5	1.8	10YR7/3 にぶい黄橙	
75	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	9.7	6.8	1.5	10YR7/4 にぶい黄橙	
76	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	8.9	6.5	1.6	10YR7/4 にぶい黄橙	
77	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	9.3	7.2	1.9	10YR7/4 にぶい黄橙	
78	SK-243	かわらけ	口ク口	2/3	8.8	6.3	1.6	10YR7/3 にぶい黄橙	
79	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	8.8	7.0	2.0	10YR7/3 にぶい黄橙	
80	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	9.3	6.5	1.8	10YR7/3 にぶい黄橙	
81	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	8.7	5.9	1.7	10YR8/4 浅黄橙	
82	SK-243	かわらけ	口ク口	完形	14.3	8.0	4.5	10YR8/4 浅黄橙	
83	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	14.7	8.8	4.4	7.5YR8/4 浅黄橙	
84	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	14.3	7.3	4.6	10YR8/3 浅黄橙	
85	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	14.1	8.0	4.7	10YR8/4 浅黄橙	
86	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	14.0	7.3	4.5	7.5YR8/6 浅黄橙	
87	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	15.5	7.9	4.6	10YR5/1 褐灰	
88	SK-244	かわらけ	口ク口	1/2	14.4	8.4	4.7	10YR8/3 浅黄橙	
89	SK-244	かわらけ	口ク口	1/3	16.5	9.4	4.8	10YR8/3 浅黄橙	
90	SK-244	かわらけ	口ク口	1/4	15.6	7.6	4.2	10YR8/3 浅黄橙	
91	SK-244	かわらけ	口ク口	1/3	15.4	8.4	4.9	10YR8/4 浅黄橙	
92	SK-244	かわらけ	口ク口	4/5	15.2	8.6	4.5	10YR8/4 浅黄橙	
93	SK-244	かわらけ	口ク口	1/2	15.0	6.2	4.0	2.5YR7/2 灰黄	
94	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	8.8	6.6	1.8	10YR7/3 にぶい橙	
95	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	9.0	6.6	1.6	10YR8/3 浅黄橙	
96	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	9.1	6.2	1.5	10YR7/4 にぶい黄橙	
97	SK-244	かわらけ	口ク口	4/5	9.2	6.2	1.9	10YR7/3 にぶい黄橙	
98	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	9.3	5.7	1.6	10YR8/4 浅黄橙	
99	SK-244	かわらけ	口ク口	1/2	11.0	7.8	2.1	10YR8/4 浅黄橙	
100	SK-244	かわらけ	口ク口	完形	8.7	6.3	1.4	10YR7/3 にぶい黄橙	
101	SK-244	かわらけ	口ク口	1/2	8.4	6.0	1.8	10YR7/3 にぶい黄橙	
102	SK-244	かわらけ	口ク口	1/2	9.2	6.8	1.7	10YR7/4 にぶい黄橙	
103	SK-244	かわらけ	口ク口	1/2	14.7	9.4	4.0	10YR8/4 浅黄橙	
104	SK-244	かわらけ	口ク口	底部	欠	5.8	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	
105	SK-244	かわらけ	口ク口		14.0	欠	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	口縁一部のみ
106	SK-245	かわらけ	手捏ね		14.9	—	欠	5YR7/6 橙	口縁一部のみ
107	SK-245	かわらけ	口ク口	完形	8.9	5.9	1.6	5YR7/6 橙	
108	SK-245	かわらけ	口ク口	1/2	14.1	7.3	4.1	7.5YR8/4 浅黄橙	
109	SK-245	かわらけ	手捏ね	1/2	15.1	—	3.4	5YR8/4 淡橙	
110	SK-246-2	かわらけ	手捏ね	完形	9.0	—	1.7	5YR7/6 橙	
111	SK-246-2	かわらけ	口ク口		11.4	6.5	1.2	5YR6/6 橙	底部転用有孔円盤
112	SK-246-2	かわらけ	手捏ね	1/2	—	—	1.8	10YR7/3 にぶい橙	

番号	遺構名	種別	成形	残存	口径	底径	器高	色調	備考
113	SK-247	かわらけ	口ク口	完形	8.7	6.2	2.6	7.5YR7/4 にぶい橙	
114	SK-247	かわらけ	口ク口	完形	8.6	6.3	1.8	7.5YR8/4 浅黄橙	
115	SK-247	かわらけ	口ク口	1/2	8.4	6.0	2.0	5YR7/6 橙	
116	SK-247	かわらけ	口ク口	完形	9.5	7.5	2.8	5YR7/6 橙	
117	SK-247	かわらけ	口ク口	2/3	9.0	6.0	2.1	7.5YR8/6 浅黄橙	
118	SK-247	かわらけ	口ク口	2/3	9.4	6.8	2.5	7.5YR8/6 浅黄橙	
119	SK-247	かわらけ	口ク口	2/3	10.3	7.6	2.2	5YR7/8 橙	
120	SK-247	かわらけ	口ク口	1/2	7.9	5.7	1.7	7.5YR8/4 浅黄橙	
121	SK-247	かわらけ	口ク口	完形	8.4	5.7	1.9	7.5YR8/4 浅黄橙	
122	SK-248	かわらけ	口ク口	完形	8.8	6.4	2.1	5YR7/6 橙	
123	SK-248	かわらけ	口ク口	3/4	12.8	7.7	4.2	7.5YR8/3 浅黄橙	
124	SK-248	かわらけ	口ク口	2/3	13.3	7.5	3.6	5YR6/6 橙	
125	SK-248	かわらけ	口ク口	1/2	12.9	8.1	3.6	7.5YR8/4 浅黄橙	
126	SK-248	かわらけ	口ク口	1/2	14.1	6.8	3.7	10YR7/3 にぶい黄橙	
127	SK-250	白磁蓋	口ク口	完形	5.3	—	1.7	灰白色	4層出土
128	SK-250	かわらけ	口ク口	1/3	15.8	9.0	4.7	10YR8/3 浅黄橙	
129	SK-253	かわらけ	手捏ね	1/2	13.2	—	2.8	7.5YR8/6 浅黄橙	
130	SK-253	かわらけ	手捏ね	完形	15.7	—	3.8	5YR7/6 橙	
131	SK-257	かわらけ	口ク口	1/6	8.6	5.6	1.5	5YR7/8 橙	
132	SK-257	かわらけ	手捏ね	1/2	9.1	—	1.4	5YR7/6 橙	
133	SK-260	かわらけ	口ク口	1/5	欠	6.1	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	
134	SK-260	かわらけ	口ク口	完形	8.2	6.3	1.9	10YR8/3 浅黄橙	
135	SK-260	かわらけ	口ク口	完形	10.3	7.0	2.6	7.5YR8/6 浅黄橙	中間欠損
136	SK-260	かわらけ	口ク口	1/3	7.9	5.3	1.7	2.5YR6/1 黄灰	
137	SK-260	かわらけ	口ク口	1/2	8.2	5.7	1.9	10YR6/4 にぶい黄橙	
138	SK-260	かわらけ	口ク口	1/3	8.4	6.0	1.6	2.5YR6/2 灰黄	
139	SK-260	かわらけ	口ク口	1/2	8.2	5.3	1.9	10YR8/3 浅黄橙	
140	SK-260	かわらけ	口ク口	1/2	8.0	5.6	2.1	10YR7/3 にぶい黄橙	
141	SK-260	かわらけ	口ク口	1/2	8.0	5.8	2.2	7.5YR8/6 浅黄橙	
142	SK-260	かわらけ	口ク口	1/3	8.4	5.9	2.1	10YR7/3 にぶい黄橙	
143	SK-260	かわらけ	口ク口	1/2	9.0	6.6	1.8	10YR8/3 浅黄橙	
144	SK-260	かわらけ	口ク口	1/2	8.5	5.7	2.0	10YR8/3 浅黄橙	
145	SK-260	かわらけ	口ク口	1/2	9.0	6.0	1.8	10YR8/4 浅黄橙	
146	SK-260	かわらけ	口ク口		欠	7.4	欠	7.5YR8/6 浅黄橙	
147	SK-260	かわらけ	口ク口	1/3	欠	6.6	欠	10YR5/3 にぶい黄褐	
148	SK-260	かわらけ	口ク口	1/3	14.2	7.0	4.2	10YR6/2 灰黄橙	
149	SK-260	かわらけ	口ク口		14.1	7.1	4.2	10YR8/3 浅黄橙	
150	SK-260	かわらけ	口ク口	完形	14.7	7.1	4.7	10YR7/4 にぶい黄橙	
151	SK-260	かわらけ	口ク口	完形	14.5	7.2	4.0	10YR7/3 にぶい黄橙	
152	SK-260	かわらけ	口ク口	完形	8.5	5.9	1.8	10YR6/1 褐灰	
153	SK-260	かわらけ	口ク口	完形	8.5	6.0	1.7	10YR8/2 灰白	
154	SK-261	かわらけ	口ク口	底部	欠	5.8	欠	10YR8/3 浅黄橙	
155	SK-264	かわらけ	口ク口	完形	12.9	7.7	3.6	7.5YR7/8 黄橙	
156	SK-264	かわらけ	手捏ね	1/3	8.5	—	2.0	10YR8/2 灰白	
157	SK-264	かわらけ	口ク口	1/2	8.6	6.0	1.6	7.5YR7/6 橙	
158	SK-264	かわらけ	手捏ね	完形	15.0	—	3.1	10YR8/3 浅黄橙	
159	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/4	15.0	—	3.2	7.5YR8/4 浅黄橙	
160	SK-265	かわらけ	口ク口		14.0	7.1	3.5	7.5YR7/6 橙	
161	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/5	13.9	—	欠	10YR8/3 浅黄橙	
162	SK-265	かわらけ	口ク口	1/6	13.0	8.1	2.0	5YR7/6 橙	
163	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/6	14.0	—	2.9	5YR7/6 橙	
164	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/2	15.9	—	3.1	5YR6/6 橙	
165	SK-265	かわらけ	手捏ね		14.9	7.6	3.2	10YR8/4 浅黄橙	
166	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/3	12.7	—	2.7	5YR7/6 橙	
167	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/2	14.0	—	2.7	5YR7/8 橙	
168	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/2	15.0	—	2.4	7.5YR7/6 橙	
169	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/2	13.6	—	3.2	7.5YR8/4 浅黄橙	
170	SK-265	かわらけ	口ク口	1/4	12.6	7.2	2.6	7.5YR6/4 にぶい橙	
171	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/3	14.5	—	2.9	2.5YR6/8 橙	
172	SK-265	かわらけ	口ク口	完形	9.0	5.7	1.6	5YR7/6 橙	
173	SK-265	かわらけ	口ク口	2/3	9.6	4.8	2.0	5YR7/6 橙	
174	SK-265	かわらけ	口ク口	完形	8.9	6.8	1.9	7.5YR7/6 橙	
175	SK-265	かわらけ	口ク口	1/5	8.5	6.0	1.8	5YR7/6 橙	
176	SK-265	かわらけ	口ク口		欠	5.6	欠	5YR7/6 橙	底部転用有孔円盤
177	SK-265	かわらけ	口ク口	—	欠	5.1	欠	10YR8/2 灰白	底部転用有孔円盤
178	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/2	10.4	4.5	2.2	5YR7/8 橙	
179	SK-265	かわらけ	手捏ね	1/2	—	—	1.5	5YR7/6 橙	
180	SK-265	かわらけ	口ク口	1/3	7.9	5.2	1.7	7.5YR7/6 橙	
181	SK-268	かわらけ	手捏ね	完形	8.6	—	2.1	5YR7/6 橙	
182	SK-270	かわらけ	口ク口	底部	欠	6.3	欠	5YR7/6 橙	
183	SK-270	かわらけ	口ク口	2/3	9.4	7.0	1.9	10YR7/3 にぶい黄橙	
184	SK-270	かわらけ	口ク口		9.1	5.7	1.6	10YR8/3 浅黄橙	
185	SK-271	かわらけ	口ク口	1/4	7.8	6.4	1.5	10YR8/3 浅黄橙	
186	SK-271	かわらけ	口ク口		8.9	6.2	1.8	2.5YR7/1 灰白	
187	SK-271	かわらけ	口ク口		9.3	7.1	1.9	10YR8/3 浅黄橙	
188	SK-271	かわらけ	口ク口	底部	欠	6.0	欠	10YR8/3 浅黄橙	
189	SK-271	かわらけ	口ク口	1/4	欠	5.7	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	底部残径5.7cm
190	SK-271	かわらけ	口ク口		欠	6.1	欠	10YR8/2 灰白	
191	SK-271	かわらけ	口ク口	底部	欠	6.1	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	
192	SK-271	かわらけ	口ク口	2/3	14.5	8.1	4.6	10YR8/4 浅黄橙	

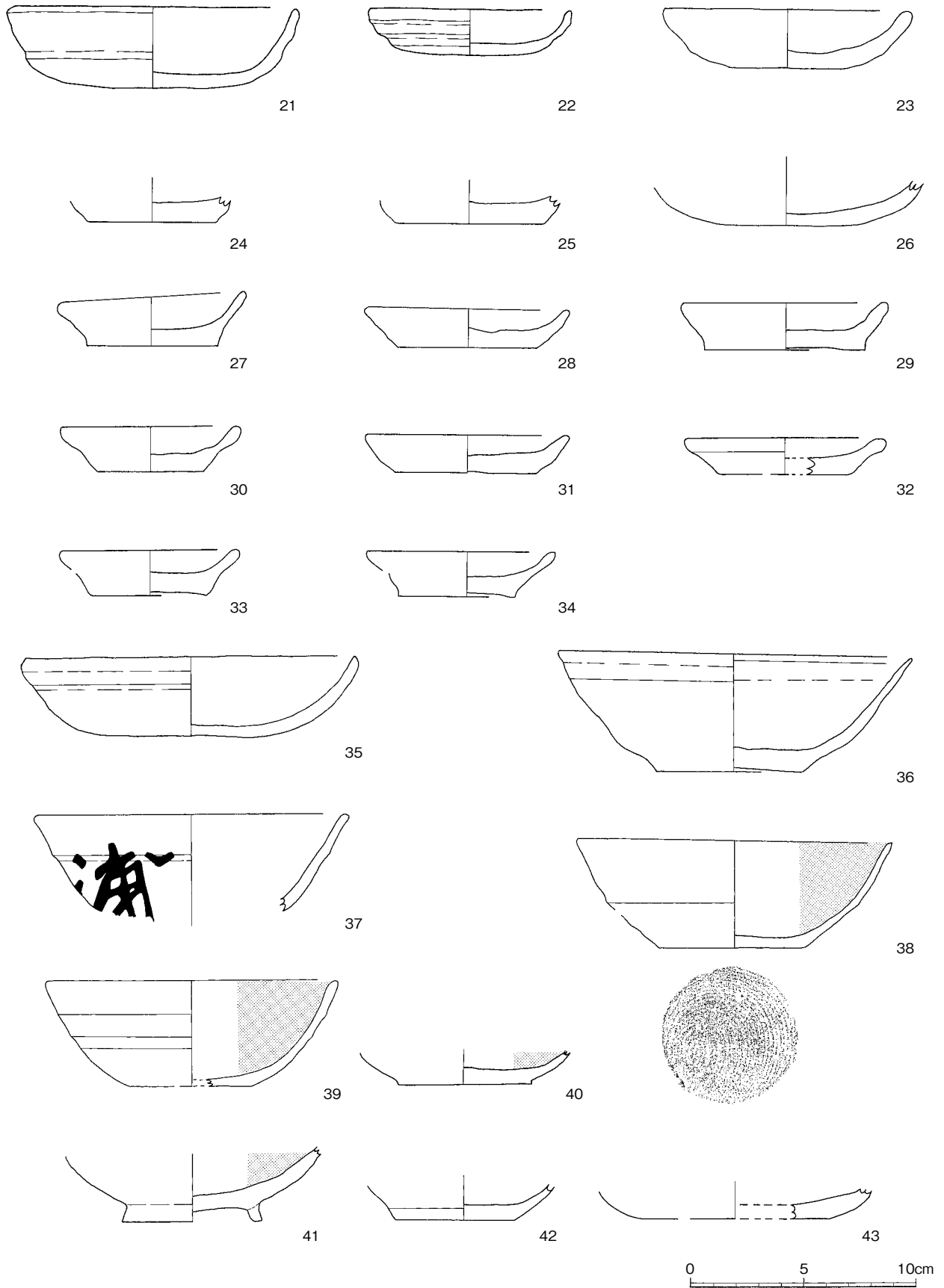
番号	遺構名	種別	成形	残存	口径	底径	器高	色 調	備考
193	SK-272	かわらけ	口ク口		15.1	欠	3.6	10YR8/3 浅黄橙	口縁一部のみ
194	SK-272	かわらけ	口ク口		15.0	欠	3.8	5YR7/6 橙	
195	SK-275	かわらけ	口ク口	1/3	13.7	6.8	3.9	10YR7/2 にぶい黄橙	
196	SK-275	かわらけ	口ク口	1/2	9.2	6.4	1.7	10YR8/2 灰白	
197	SK-277	かわらけ	口ク口	1/4	13.0	7.0	3.3	7.5YR8/4 浅黄橙	
198	SK-277	かわらけ	口ク口	1/5	14.0	8.2	3.1	7.5YR8/4 浅黄橙	
199	SK-277	かわらけ	手捏ね		15.0	欠	欠	5YR6/6 橙	側面少々のみ
200	SK-279	かわらけ	手捏ね	1/2	9.0	—	1.7	5YR7/6 橙	
201	SK-281	かわらけ	手捏ね	完形	9.7	—	1.4	5YR7/6 橙	
202	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	9.4	6.6	1.6	7.5YR8/6 浅黄橙	
203	SK-281	かわらけ	口ク口		8.1	5.0	2.1	5YR7/6 橙	
204	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	9.0	6.5	1.9	5YR7/6 橙	
205	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	8.9	6.3	2.0	5YR6/6 橙	
206	SK-281	かわらけ	口ク口		7.9	6.0	2.0	10YR8/4 浅黄橙	
207	SK-281	かわらけ	口ク口	底部	欠	5.9	欠	10YR8/3 浅黄橙	
208	SK-281	かわらけ	口ク口	1/2	7.4	5.9	2.2	10YR8/4 浅黄橙	
209	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	9.0	6.8	1.3	10YR8/4 浅黄橙	
210	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	8.9	6.4	2.1	5YR7/6 橙	
211	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	9.0	6.0	1.6	5YR7/8 橙	
212	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	9.2	6.6	1.8	10YR8/2 灰白	
213	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	8.9	6.0	1.6	5YR7/8 橙	
214	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	9.2	5.1	1.9	10YR8/3 浅黄橙	
215	SK-281	かわらけ	手捏ね	完形	15.9	—	3.3	7.5YR8/6 浅黄橙	
216	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	14.0	7.0	3.4	7.5YR7/6 橙	
217	SK-281	かわらけ	手捏ね	完形	14.4	—	3.4	7.5YR7/6 橙	
218	SK-281	かわらけ	手捏ね		15.9	—	3.2	7.5YR8/6 浅黄橙	
219	SK-281	かわらけ	手捏ね	完形	15.9	—	3.0	5YR7/6 橙	
220	SK-281	かわらけ	手捏ね	完形	14.9	—	3.4	5YR7/8 橙	
221	SK-281	かわらけ	口ク口	完形	13.4	7.3	3.9	5YR7/6 橙	
222	SK-281	かわらけ	手捏ね	1/3	16.0	—	3.0	7.5YR8/6 浅黄橙	
223	SK-281	かわらけ	手捏ね	1/3	15.2	—	2.8	5YR7/6 橙	
224	SK-286	かわらけ	口ク口	5/6	9.0	6.2	2.6	7.5YR8/6 浅黄橙	
225	SK-286	かわらけ	口ク口	底部	欠	6.0	欠	10YR8/4 浅黄橙	
226	SK-286	かわらけ	口ク口	2/3	9.1	6.0	1.6	7.5YR7/6 橙	
227	SK-286	かわらけ	口ク口	—	—	6.4	0.8	5YR6/6 橙	底部転用有孔円盤
228	SK-286	かわらけ	口ク口	1/3	14.4	6.5	4.8	10YR8/4 浅黄橙	
229	SP-ag	かわらけ	口ク口	1/5	9.0	6.5	1.7	10YR8/3 浅黄橙	
230	SP-ah	かわらけ	口ク口	1/4	9.4	7.0	1.7	10YR8/4 浅黄橙	
231	SP-ai	かわらけ	口ク口	1/2	8.0	6.0	1.7	7.5YR7/4 にぶい橙	
232	SP-ao	かわらけ	口ク口		欠	8.2	欠	10YR8/3 浅黄橙	
233	SP-aq	かわらけ	口ク口	1/2	15.3	8.4	3.7	10YR8/3 浅黄橙	
234	SP-ax	かわらけ	口ク口	完形	8.5	5.8	1.8	5YR7/6 橙	
235	SP-ax	かわらけ	口ク口	完形	9.0	6.3	2.1	7.5YR7/6 橙	
236	SP-ax	かわらけ	手捏ね		8.3	—	2.3	5YR7/6 橙	
237	SP-ax	かわらけ	口ク口	完形	8.6	6.3	1.8	5YR7/6 橙	
238	SP-ax	かわらけ	手捏ね	完形	9.9	—	2.9	7.5YR7/6 橙	
239	SP-ax	かわらけ	口ク口	完形	8.6	5.9	2.2	5YR7/8 橙	
240	SP-ax	かわらけ	口ク口	1/2	8.5	6.2	1.8	7.5YR7/6 橙	
241	SP-ax	かわらけ	口ク口	3/4	9.2	6.0	1.9	5YR7/8 橙	
242	SP-ax	かわらけ	手捏ね	1/2	8.4	—	2.4	5YR7/6 橙	
243	SP-ax	かわらけ	口ク口	1/3	9.3	7.0	1.3	7.5YR8/4 浅黄橙	
244	SP-ax	かわらけ	口ク口	1/3	8.3	5.8	1.6	5YR7/8 橙	
245	SP-ax	かわらけ	口ク口	完形	8.2	5.4	2.2	5YR7/6 橙	
246	SP-ax	かわらけ	口ク口	2/3	8.5	6.0	1.7	7.5YR7/6 橙	
247	SP-ax	かわらけ	口ク口	1/3	欠	7.8	欠	7.5YR7/6 橙	
248	SP-ax	かわらけ	口ク口	4/5	8.2	5.9	2.2	5YR7/6 橙	
249	SP-ax	かわらけ	手捏ね		15.0	—	3.2	5YR7/6 橙	
250	SP-ay	かわらけ	口ク口	1/4	14.0	7.8	4.2	7.5YR8/8 黄橙	
251	SP-bg	かわらけ	口ク口	3/5	14.0	7.2	4.2	10YR8/2 灰白	
252	SP-bg	かわらけ	口ク口	完形	9.5	6.1	1.7	7.5YR8/4 浅黄橙	
253	SP-bl	かわらけ	手捏ね	1/5	13.1	欠	欠	7.5YR8/6 浅黄橙	口縁一部のみ
254	SP-bl	かわらけ	手捏ね	1/4	14.9	—	3.3	7.5YR7/4 にぶい橙	
255	SP-bl	かわらけ	手捏ね	1/5	15.0	—	3.3	7.5YR8/4 浅黄橙	
256	SP-bn	かわらけ	口ク口	3/4	14.2	7.0	3.6	7.5YR8/4 浅黄橙	SB-19
257	SP-bn	かわらけ	口ク口	2/3	13.6	7.6	3.8	5YR7/6 橙	
258	SP-bn	かわらけ	口ク口		14.8	7.7	4.1	7.5YR7/6 橙	SB-19
259	SP-bx	かわらけ	口ク口		欠	7.0	欠	7.5YR8/4 浅黄橙	
260	SP-ch	かわらけ	口ク口	1/2	7.6	5.2	2.0	5YR7/6 橙	
261	SP-ci	かわらけ	口ク口	1/3	8.6	5.4	1.5	7.5YR8/6 浅黄橙	SB-16
262	SP-cv	かわらけ	口ク口		欠	5.8	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	
263	SP-df	かわらけ	手捏ね	1/3	13.6	—	3.0	7.5YR8/6 浅黄橙	SB-19
264	SP-dk	かわらけ	手捏ね	3/4	17.4	—	3.4	5YR7/8 橙	
265	SP-dk	かわらけ	手捏ね	3/4	16.0	—	3.7	7.5YR8/6 浅黄橙	
266	SP-fa	かわらけ	口ク口	完形	8.4	6.4	1.8	10YR7/3 にぶい黄橙	
267	SP-fa	かわらけ	口ク口	完形	9.4	6.8	1.7	7.5YR7/4 にぶい橙	
268	SP-fa	かわらけ	口ク口	2/3	9.2	4.5	1.9	7.5YR7/6 橙	
269	SP-fa	かわらけ	口ク口	1/2	9.0	7.0	2.1	10YR8/3 浅黄橙	
270	SP-fa	かわらけ	口ク口	2/3	8.9	6.9	2.1	10YR7/3 にぶい黄橙	
271	SP-fa	かわらけ	口ク口		欠	9.9	欠	10YR7/3 にぶい黄橙	
272	SP-fa	かわらけ	口ク口	1/5	12.6	2.0	4.4	10YR8/4 浅黄橙	

番号	遺構名	種別	成形	残存	口径	底径	器高	色調	備考
273	SP-fa	かわらけ	口ク口	1/5	7.8	5.3	1.7	10YR7/2 にぶい黄橙	
274	SP-fa	かわらけ	口ク口	1/5	11.5	4.8	4.7	10YR8/4 浅黄橙	
275	SP-ff	かわらけ	口ク口	4/5	8.7	6.0	2.0	7.5YR6/4 にぶい黄橙	
276	SP-fj	かわらけ	口ク口	完形	9.9	7.1	1.8	10YR8/3 浅黄橙	
277	SP-fo	かわらけ	口ク口	1/2	9.7	6.8	1.8	10YR8/3 浅黄橙	
278	SP-fo	かわらけ	口ク口	1/5	15.0	8.0	4.6	10YR7/4 にぶい黄橙	
279	SP-gi	かわらけ	口ク口	完形	14.5	8.4	4.7	10YR7/3 にぶい橙	
280	SP-ta	かわらけ	口ク口	1/3	14.4	8.0	4.7	10YR8/4 浅黄橙	
281	SP-tl	かわらけ	手握ね	底部	欠	—	欠	7.5YR8/6 浅黄橙	
282	SP-002	かわらけ	口ク口	2/3	9.0	6.0	1.5	7.5YR8/4 浅黄橙	
283	SP-007	かわらけ	口ク口	3/5	9.0	6.0	1.8	7.5YR7/4 にぶい橙	
284	SP-051	かわらけ	口ク口	2/3	9.2	6.7	1.6	10YR8/4 浅黄橙	
285	SP-057	かわらけ	口ク口		8.4	6.9	2.1	7.5YR7/4 にぶい橙	
286	SP-057	かわらけ	口ク口	1/2	8.6	6.6	1.8	10YR8/3 浅黄橙	
287	SP-058	かわらけ	口ク口	1/4	9.6	5.9	1.8	5YR7/8 橙	
288	SP-058	かわらけ	口ク口	1/2	8.9	5.8	2.3	7.5YR8/6 浅黄橙	
289	SP-098	かわらけ	口ク口		9.3	5.3	2.4	10YR8/2 灰白	
290	SP-098	かわらけ	口ク口	1/2	9.2	5.6	2.2	10YR8/3 浅黄橙	
291	SP-098	かわらけ	口ク口		9.4	6.0	2.1	10YR8/3 浅黄橙	
292	SP-098	かわらけ	口ク口	完形	9.8	6.8	2.1	10YR8/3 浅黄橙	
293	SP-099	かわらけ	口ク口	完形	8.5	5.4	1.4	7.5YR7/6 橙	
294	SP-100	かわらけ	口ク口	1/3	9.4	5.9	1.6	5YR6/6 橙	
295	SP-119	かわらけ	口ク口	1/3	14.4	8.0	4.4	10YR8/3 浅黄橙	
296	SP-131	かわらけ	口ク口	完形	9.3	6.8	1.9	10YR8/4 浅黄橙	
297	SP-158	かわらけ	口ク口		16.7	欠	欠	10YR8/3 浅黄橙	口縁一部のみ
298	SP-158	かわらけ	口ク口	完形	15.4	8.2	5.2	7.5YR7/6 橙	
299	SP-171	かわらけ	口ク口	完形	8.8	6.0	1.8	10YR7/4 にぶい黄橙	
300	SP-2	かわらけ	口ク口	1/4	8.6	6.9	1.8	7.5YR8/4 浅黄橙	
301	SP-8	かわらけ	口ク口	1/5	8.6	5.9	2.2	10YR7/3 にぶい黄橙	
302	検出面	かわらけ	口ク口	1/5	14.2	7.6	4.0	7.5YR8/6 浅黄橙	
303	NE表土	かわらけ	口ク口	完形	9.2	6.7	2.3	7.5YR8/6 浅黄橙	

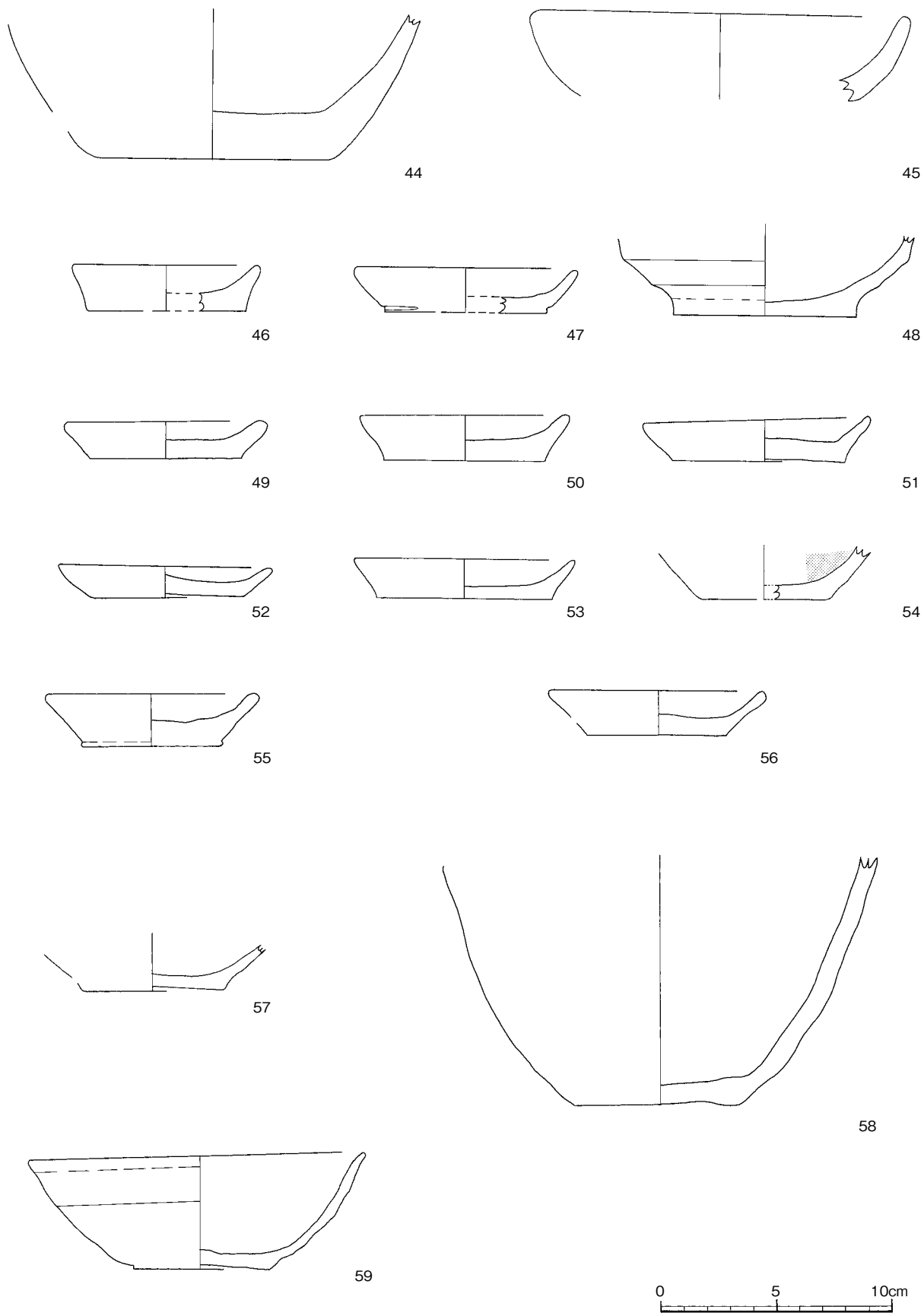
出土遺物実測図版



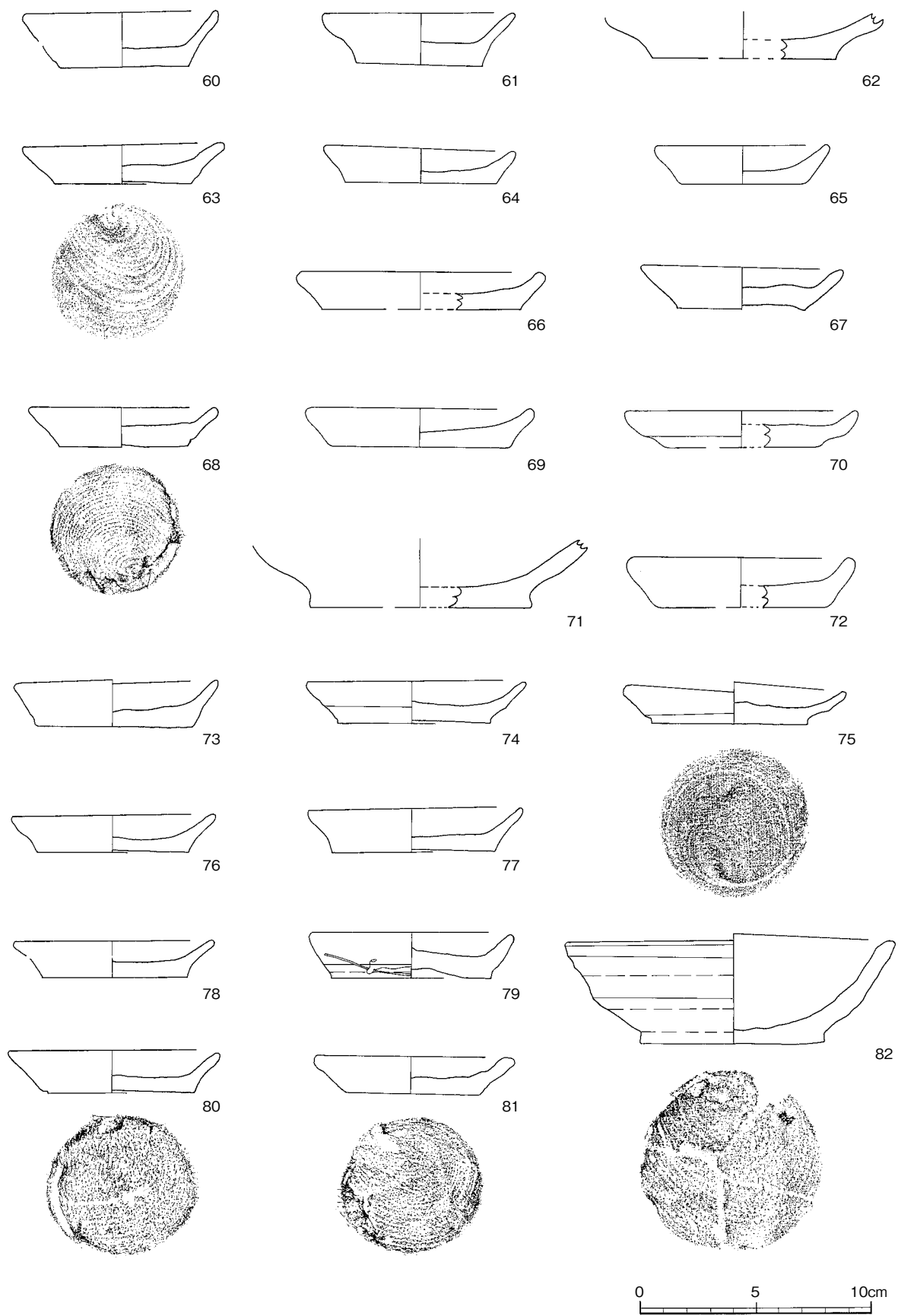
第40图 溝跡出土土器実測図



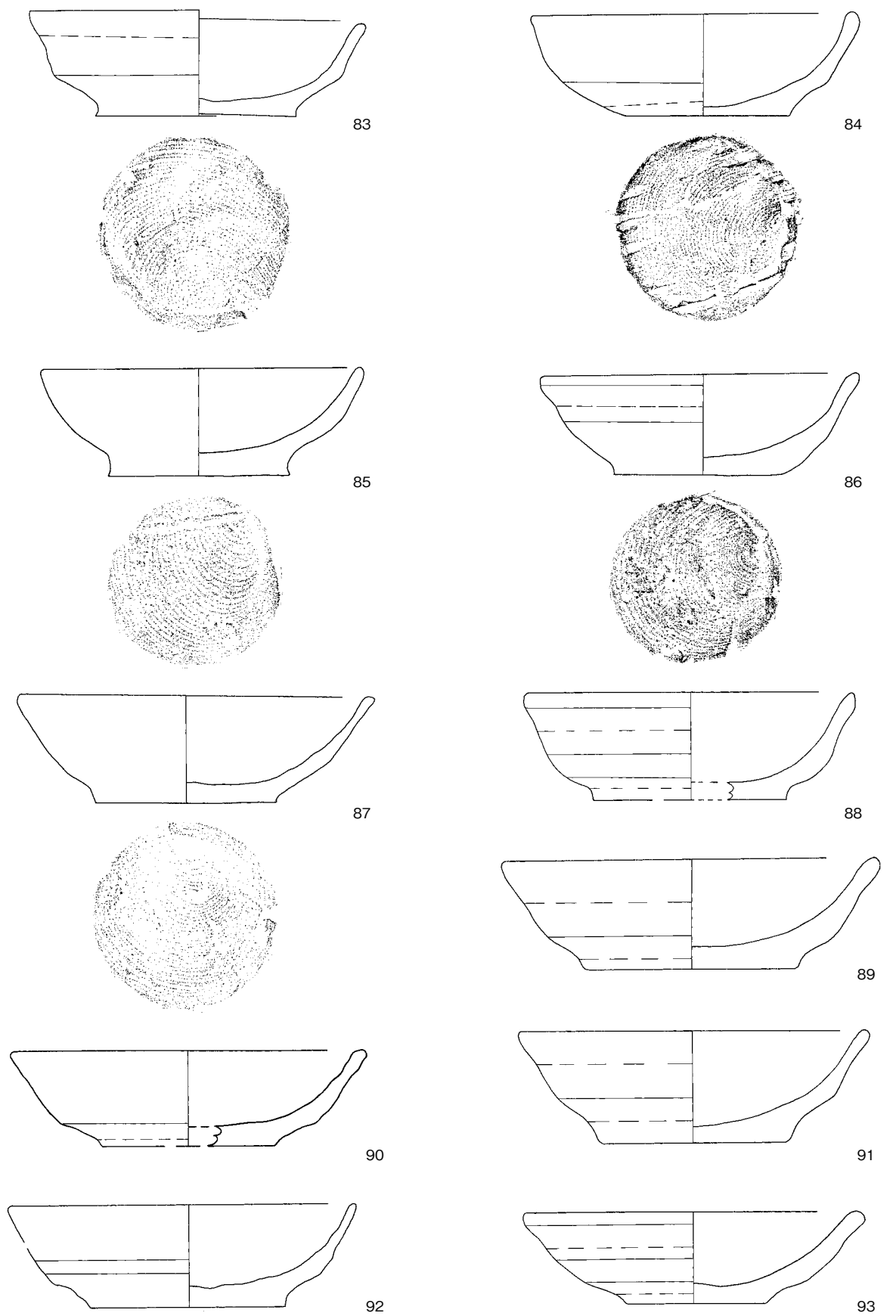
第41図 SE-39井戸跡 SI-61竪穴住居跡出土土器実測図



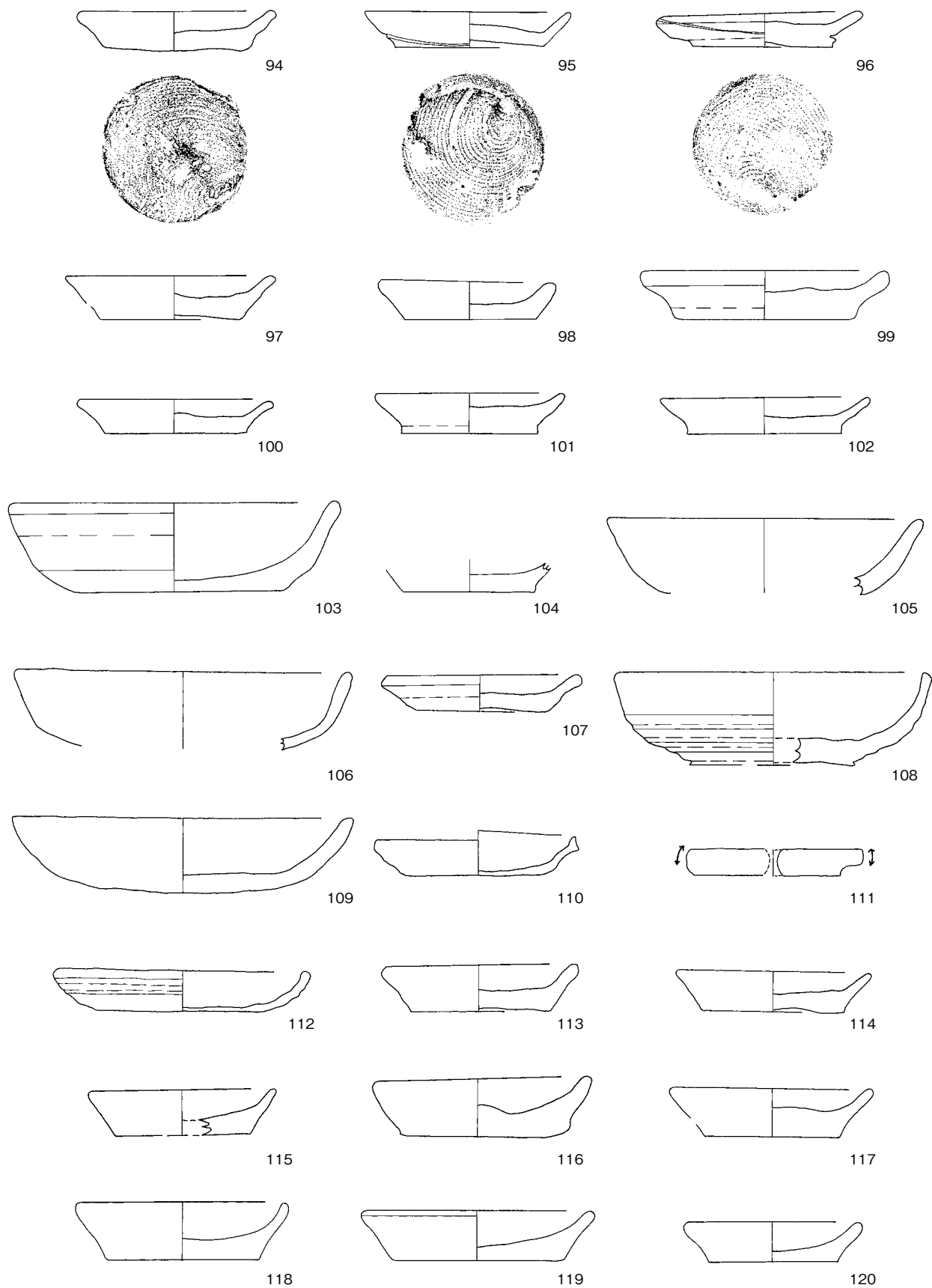
第42図 竪穴住居跡、その他遺構出土土器実測図



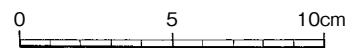
第43图 土坑迹出土土器实测图 (1)

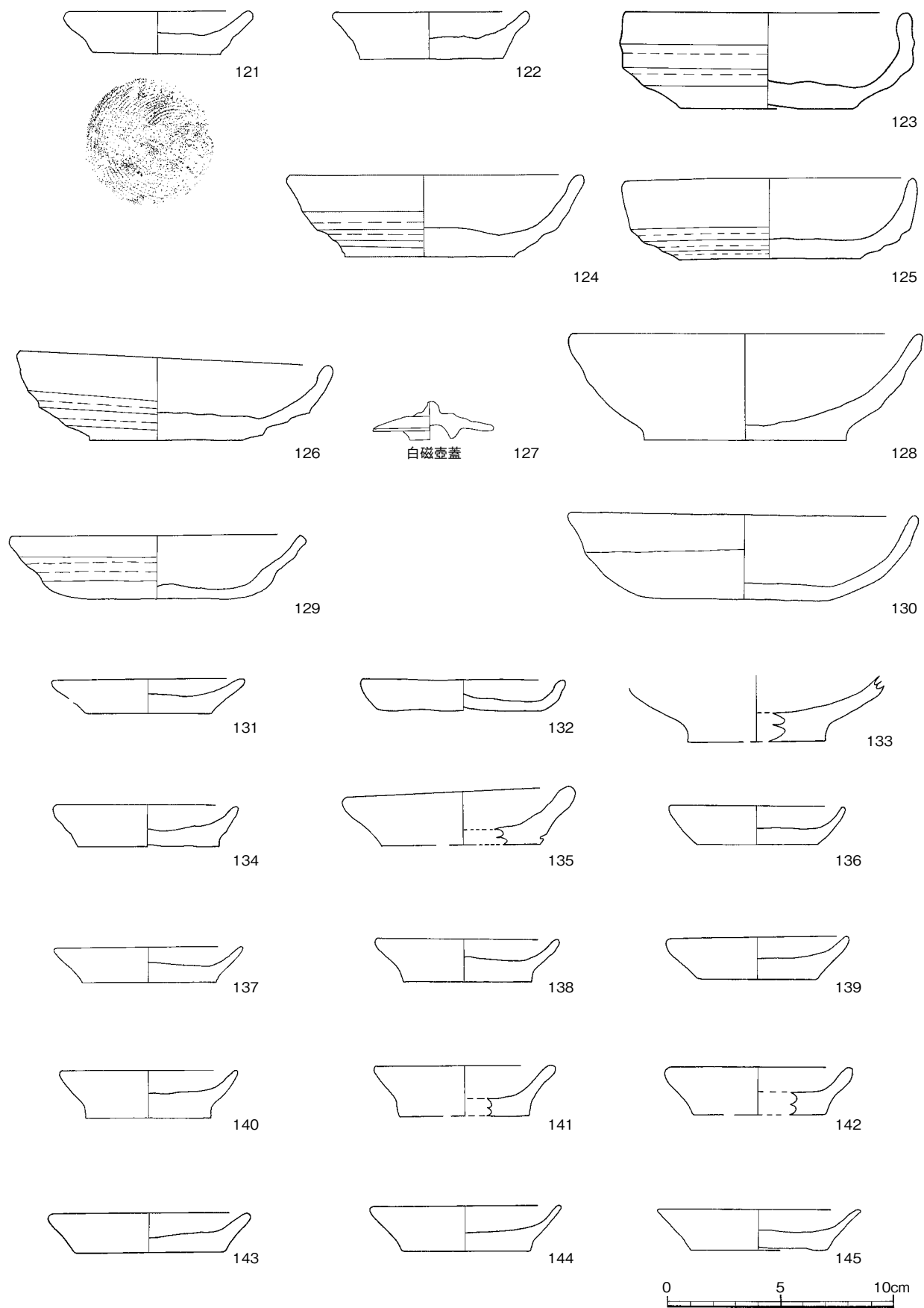


第44图 土坑迹出土土器实测图 (2)

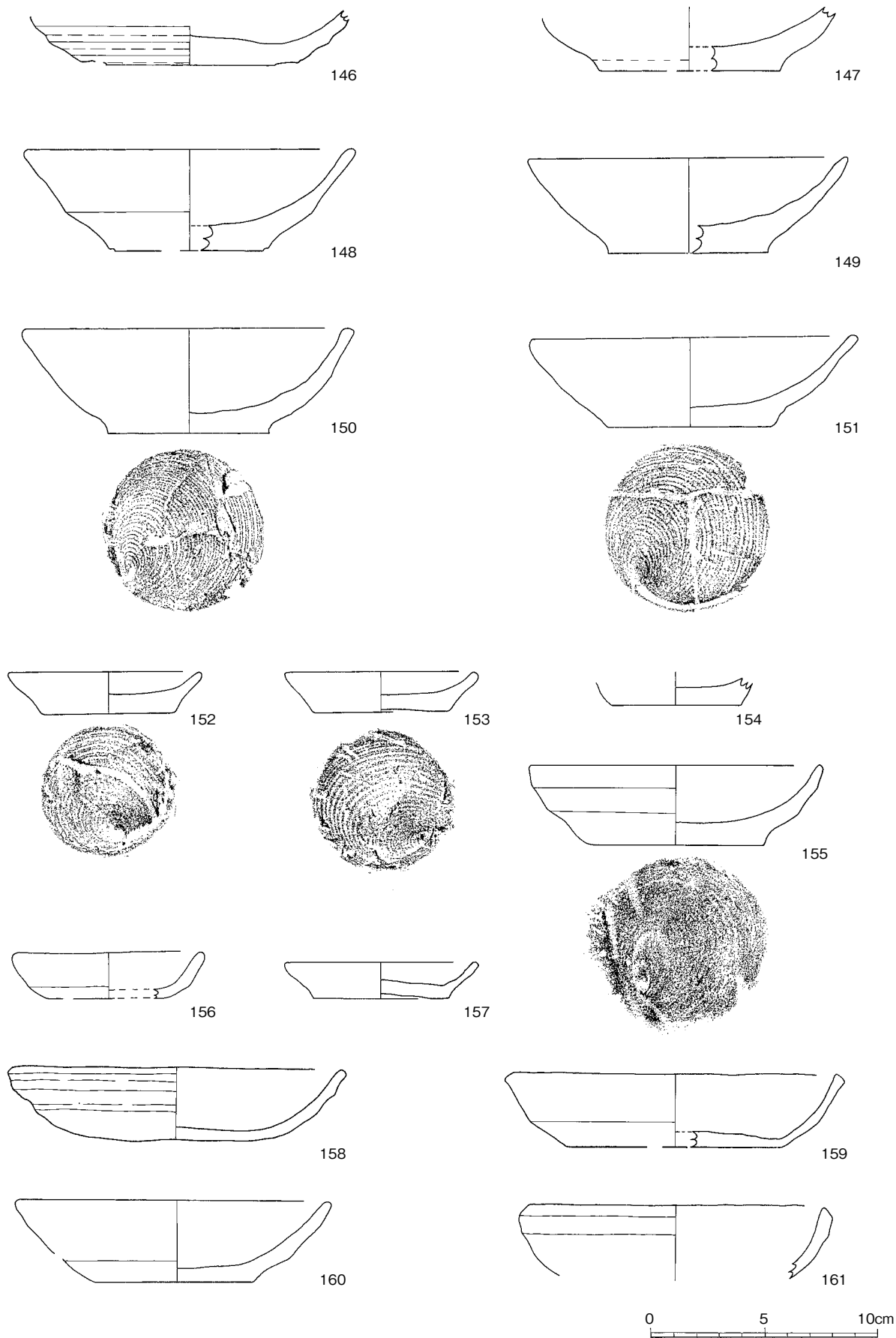


第45图 土坑迹出土土器实测图 (2)

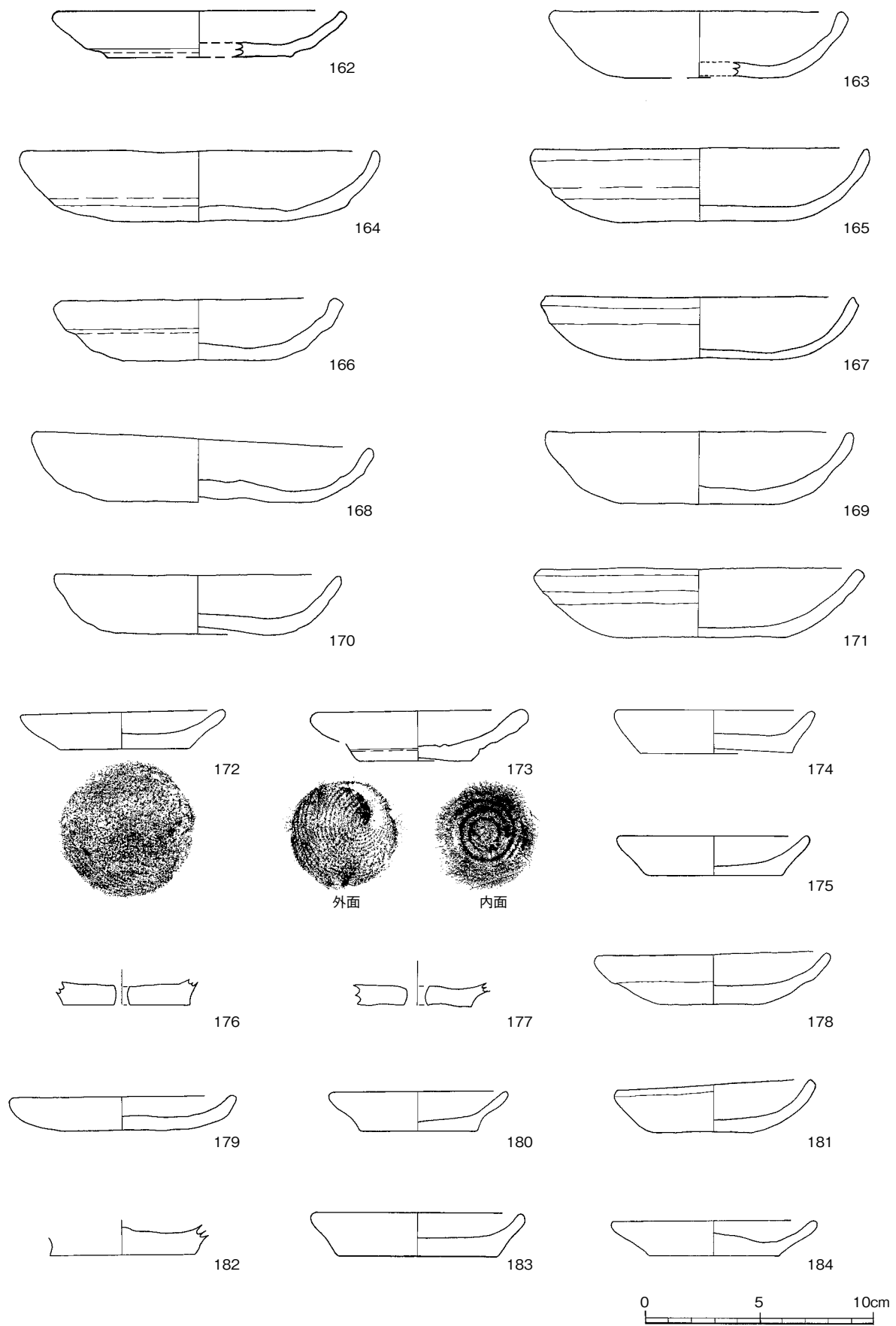




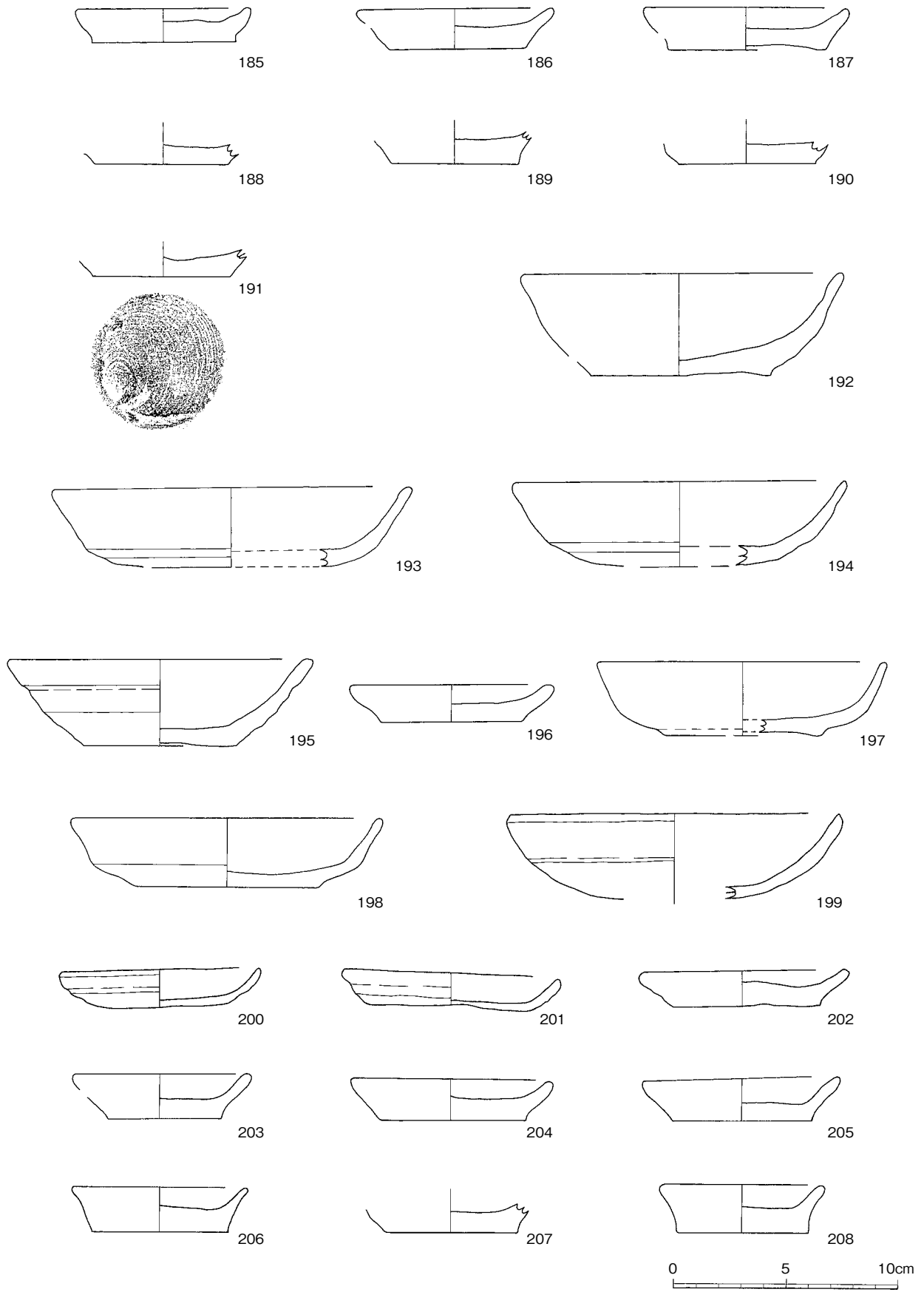
第46图 土坑迹出土土器实测图 (3)



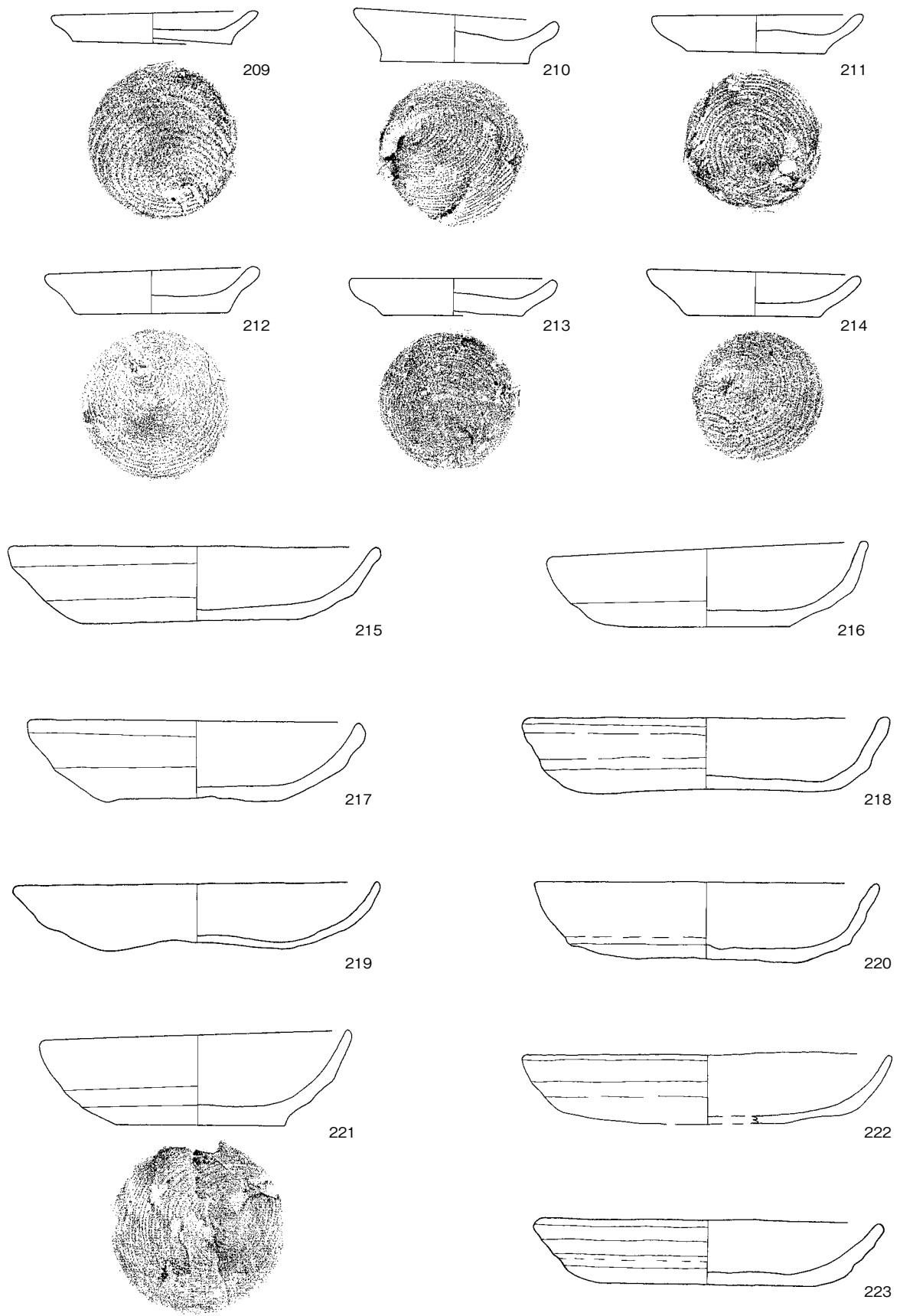
第47图 土坑迹出土土器实测图(4)



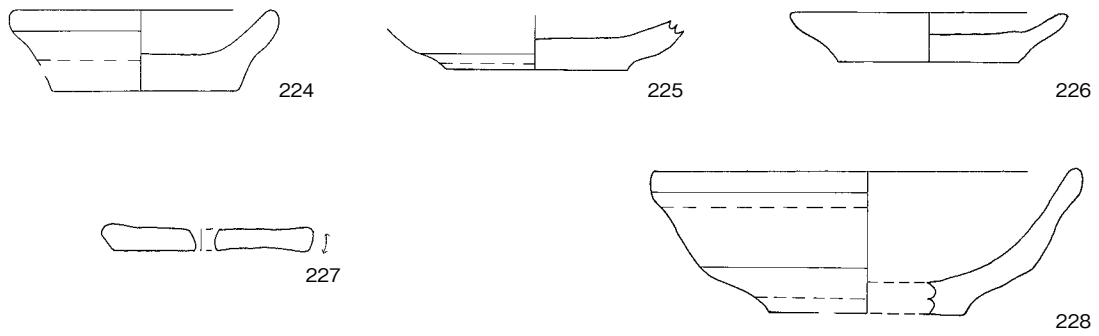
第48図 土坑跡出土土器実測図 (5)



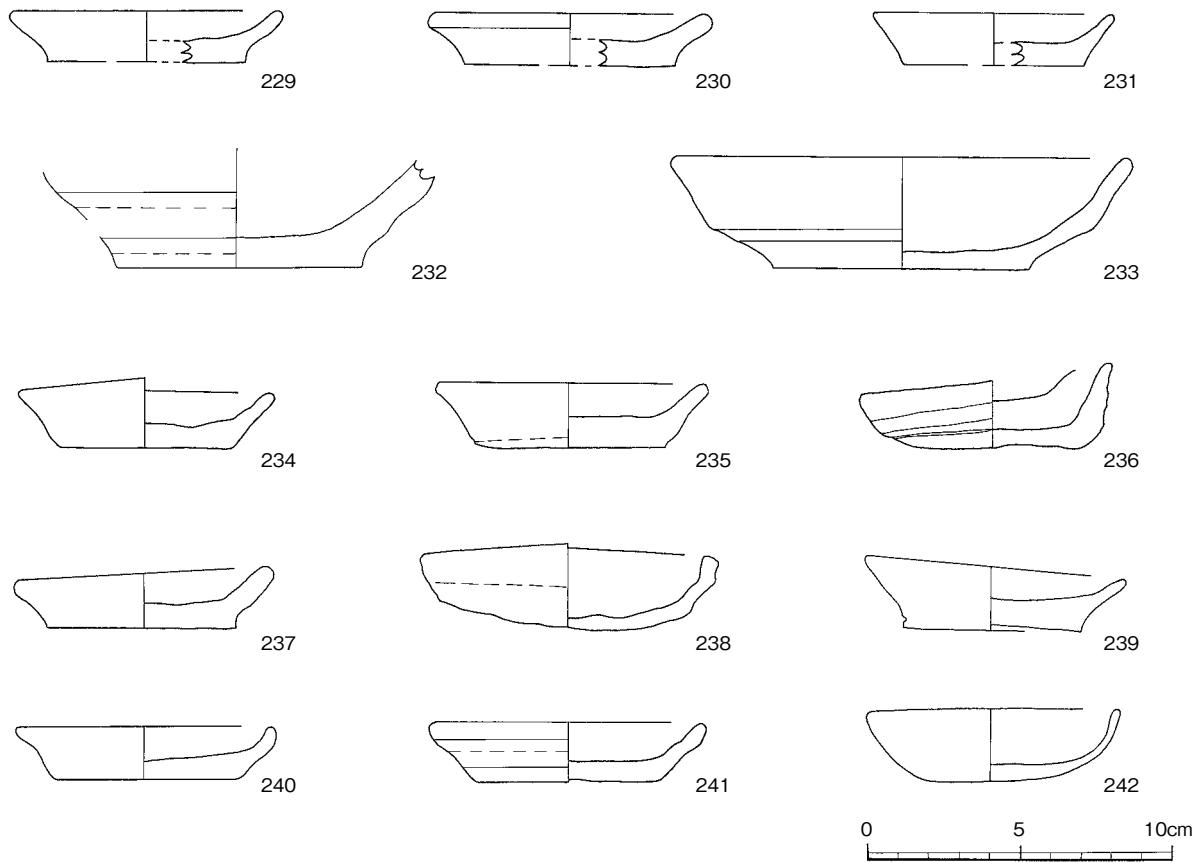
第49图 土坑迹出土土器实测图 (6)



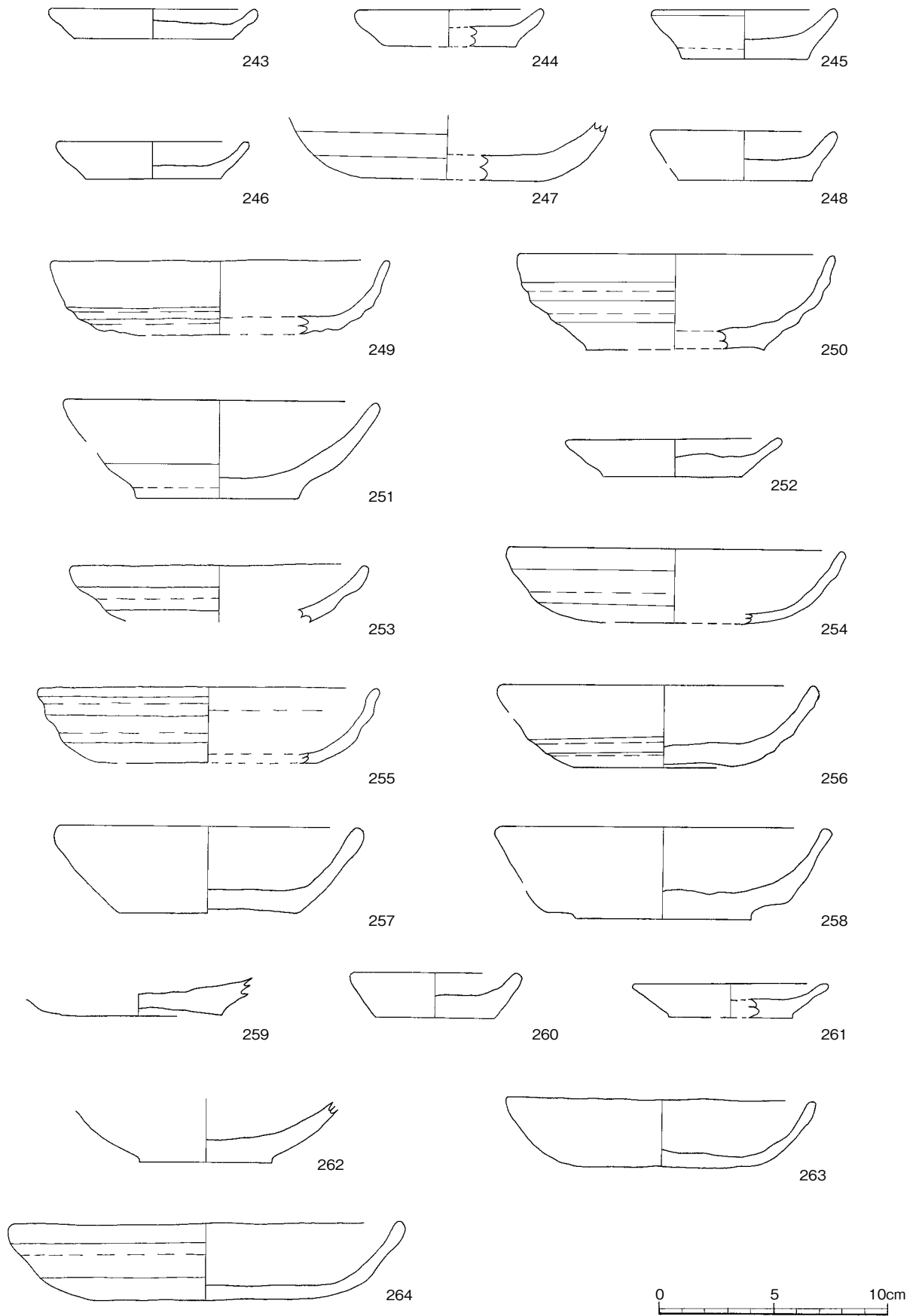
第50図 土坑跡出土土器実測図 (7)



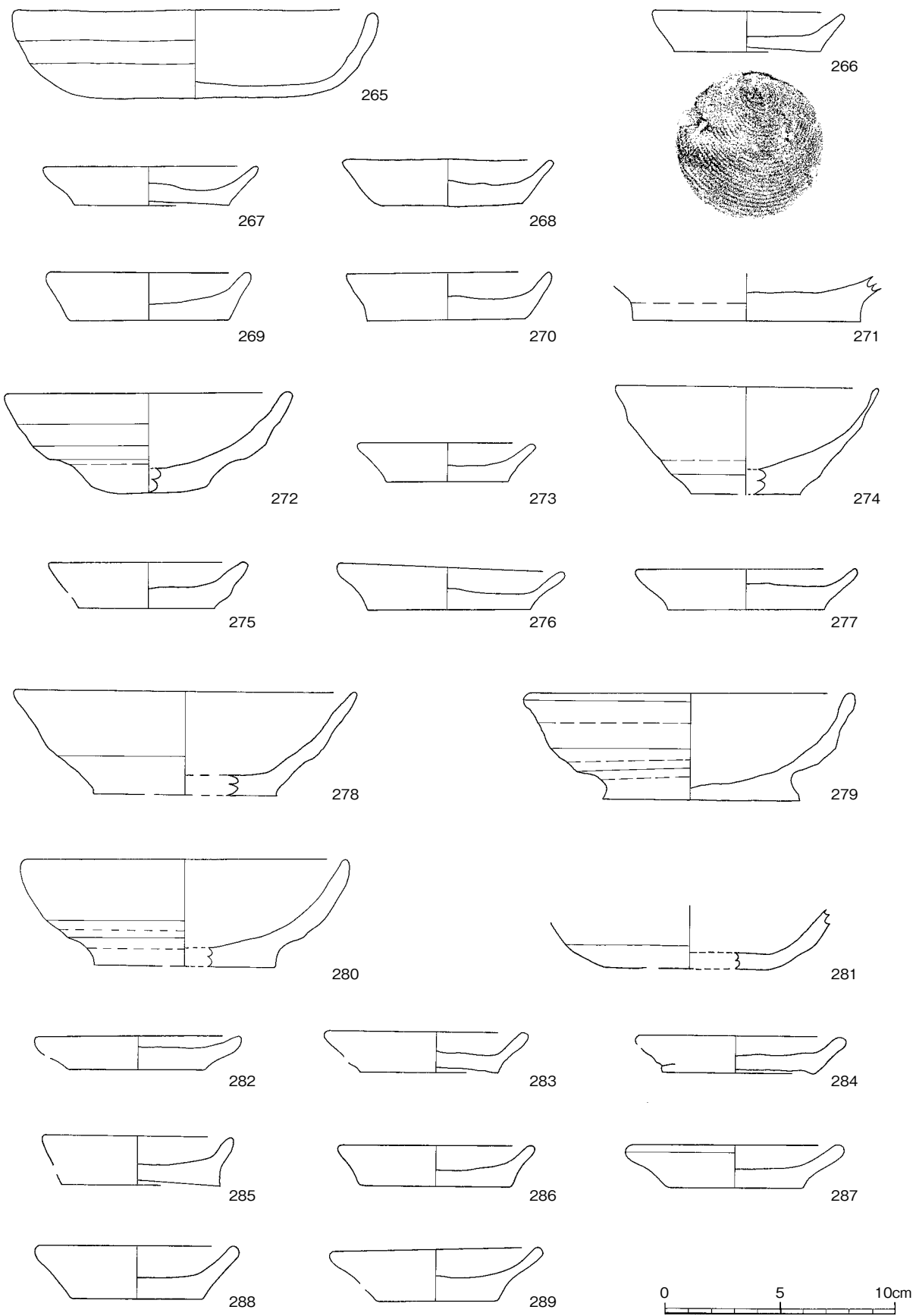
図番号	出土遺構	図番号	出土遺構	図番号	出土遺構
60 ~ 61	SK-240	122 ~ 126	SK-248	181	SK-268
62 ~ 63	SK-241	127 ~ 128	SK-250	182 ~ 184	SK-270
64 ~ 71	SK-242	129 ~ 130	SK-253	185 ~ 192	SK-271
72 ~ 82	SK-243	131 ~ 132	SK-257	193 ~ 194	SK-272
83 ~ 105	SK-244	133 ~ 153	SK-260	195 ~ 196	SK-275
106 ~ 109	SK-245	154	SK-261	197 ~ 199	SK-277
110 ~ 112	SK-246-2	155 ~ 158	SK-264	200	SK-279
113 ~ 121	SK-247	159 ~ 180	SK-265	201 ~ 223	SK-281
				224 ~ 228	SK-286



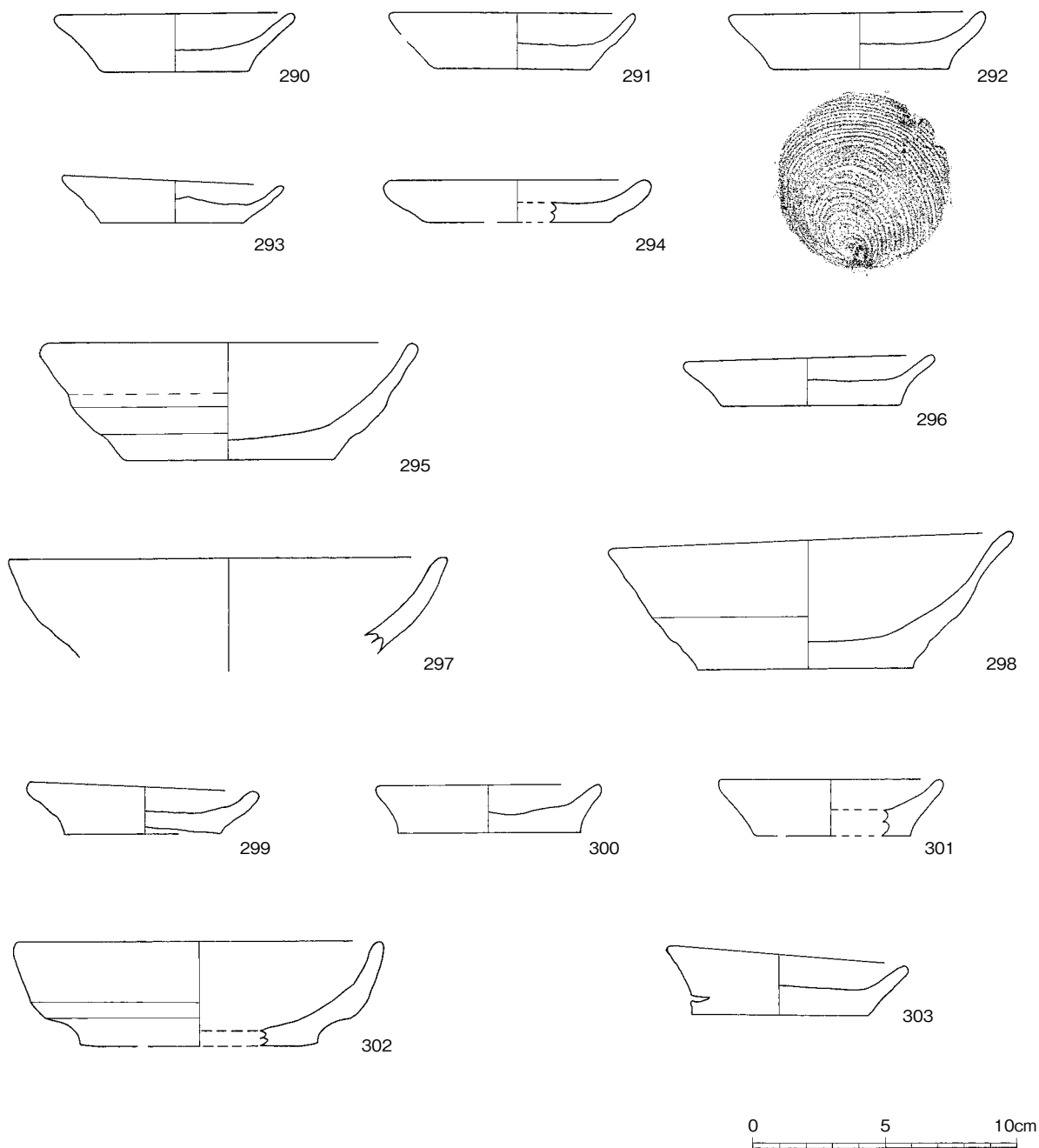
第51図 土坑跡出土土器実測図(8) ピット出土土器実測図(1)



第52図 ピット出土土器実測図 (2)

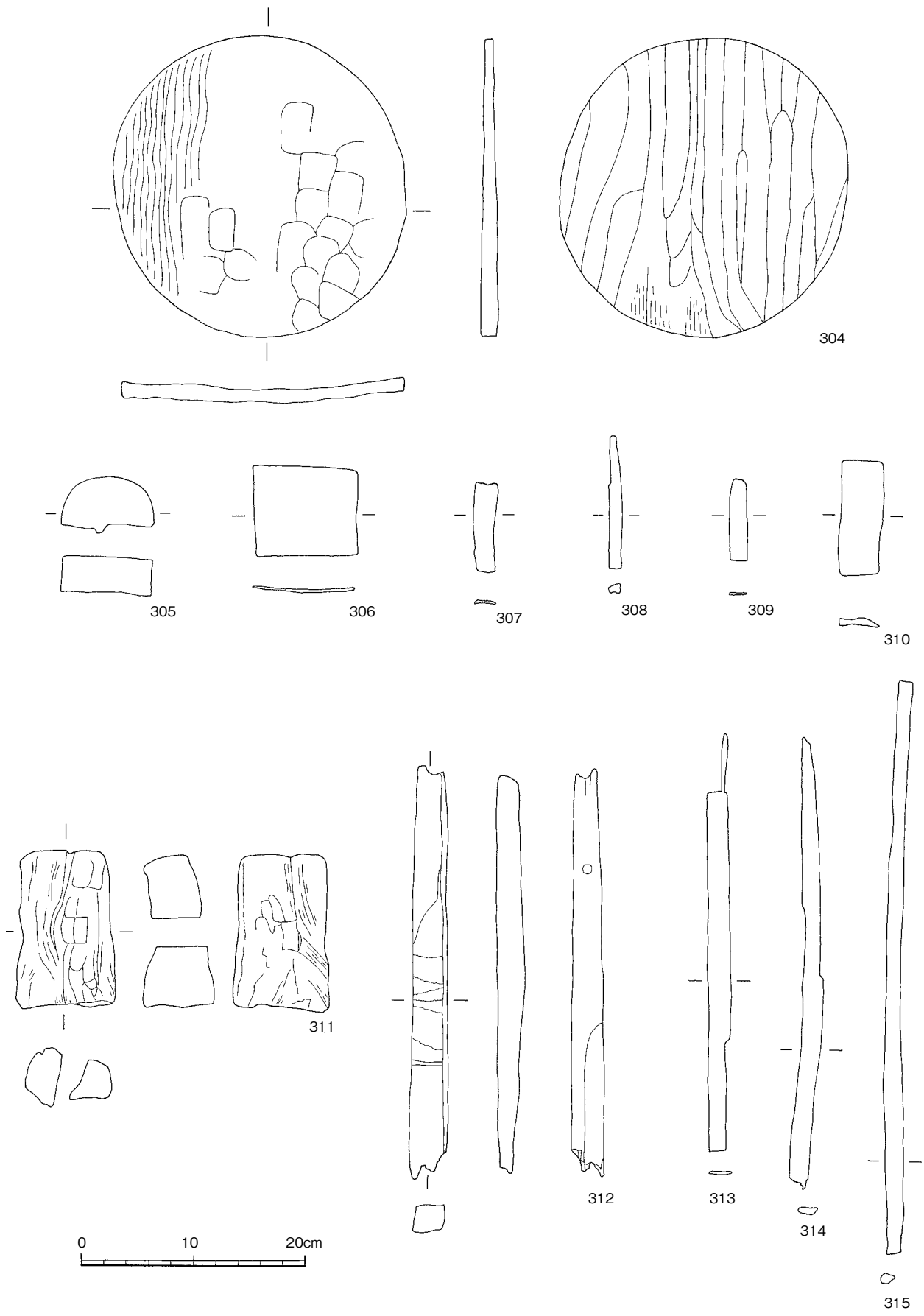


第53図 ピット出土土器実測図 (2)

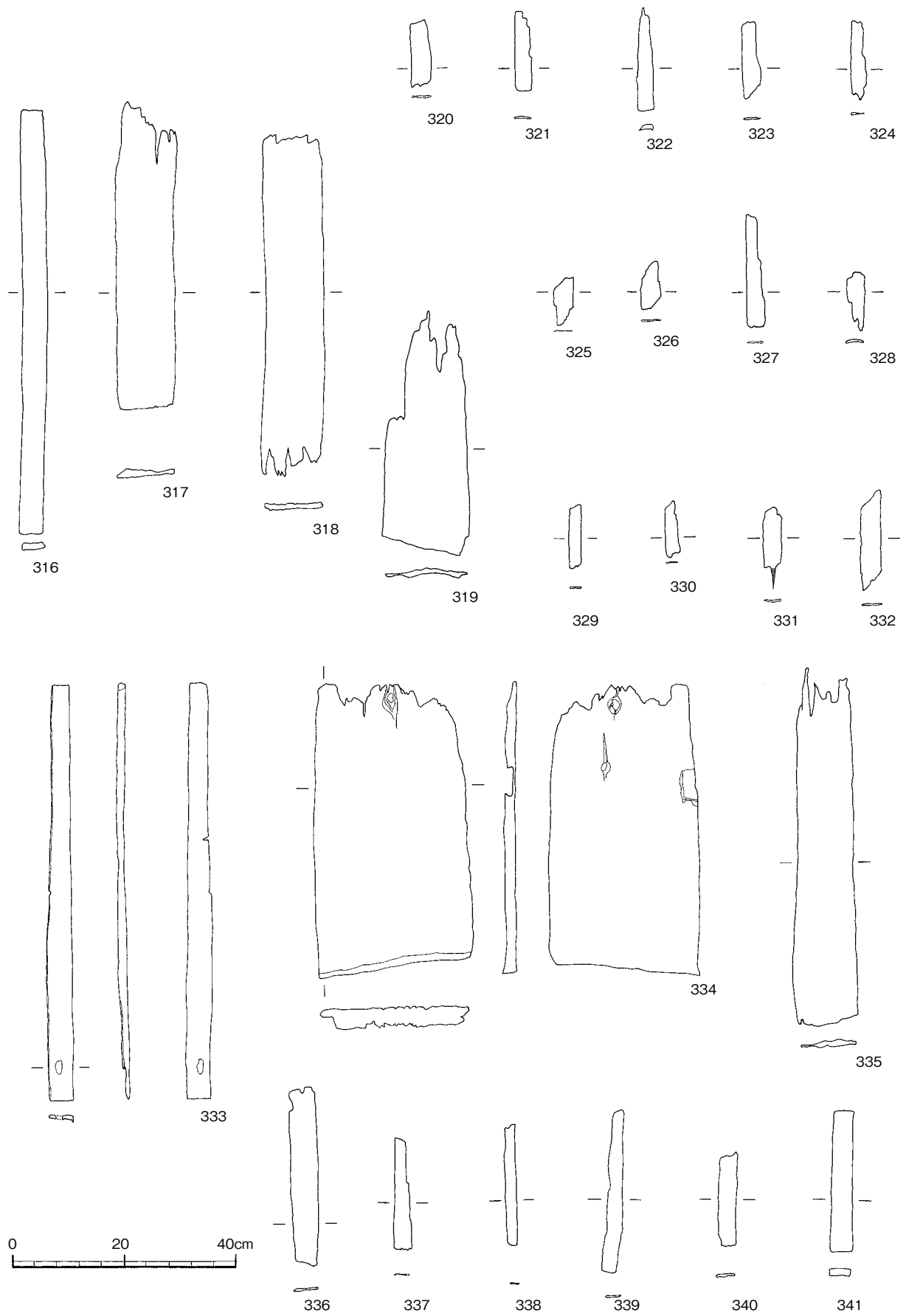


図番号	出土遺構	図番号	出土遺構	図番号	出土遺構	図番号	出土遺構
229	SP-ag	259	SP-bx	279	SP-gi	294	SP-100
230	SP-ah	260	SP-ch	280	SP-ta	295	SP-119
231	SP-ai	261	SP-ci	281	SP-tl	296	SP-131
232	SP-ao	262	SP-cv	282	SP-002	297 ~ 298	SP-158
233	SP-aq	263	SP-df	283	SP-007	299	SP-171
234 ~ 249	SP-ax	264 ~ 265	SP-dk	284	SP-051	300	SP-2
250	SP-ay	266 ~ 274	SP-fa	285 ~ 286	SP-057	301	SP-8
251 ~ 252	SP-bg	275	SP-ff	287 ~ 288	SP-058	302	検出面
253 ~ 255	SP-bl	276	SP-fj	289 ~ 292	SP-098	303	N区表土
256 ~ 258	SP-bn	277 ~ 278	SP-fo	293	SP-099		

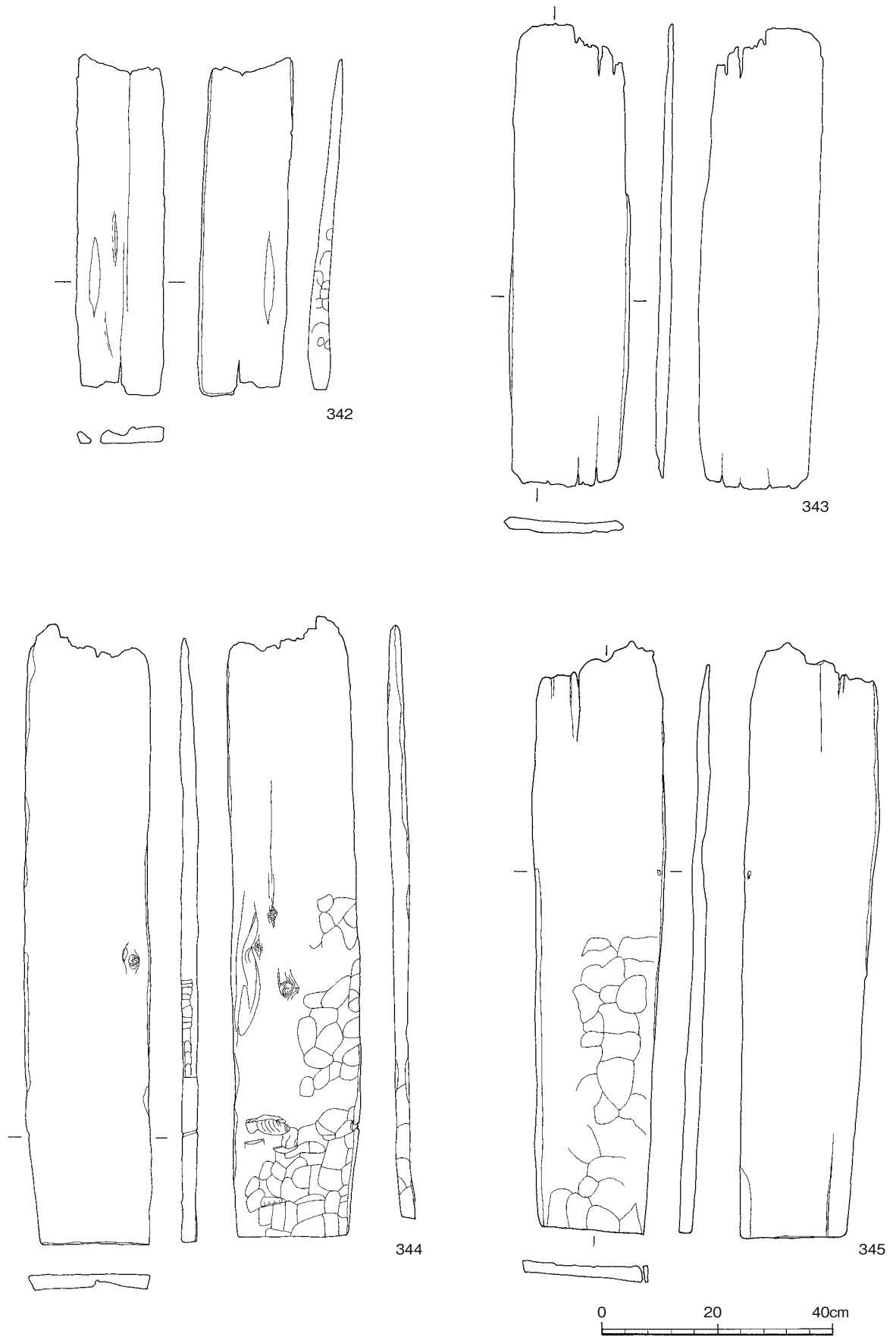
第54図 ピット、その他出土土器実測図



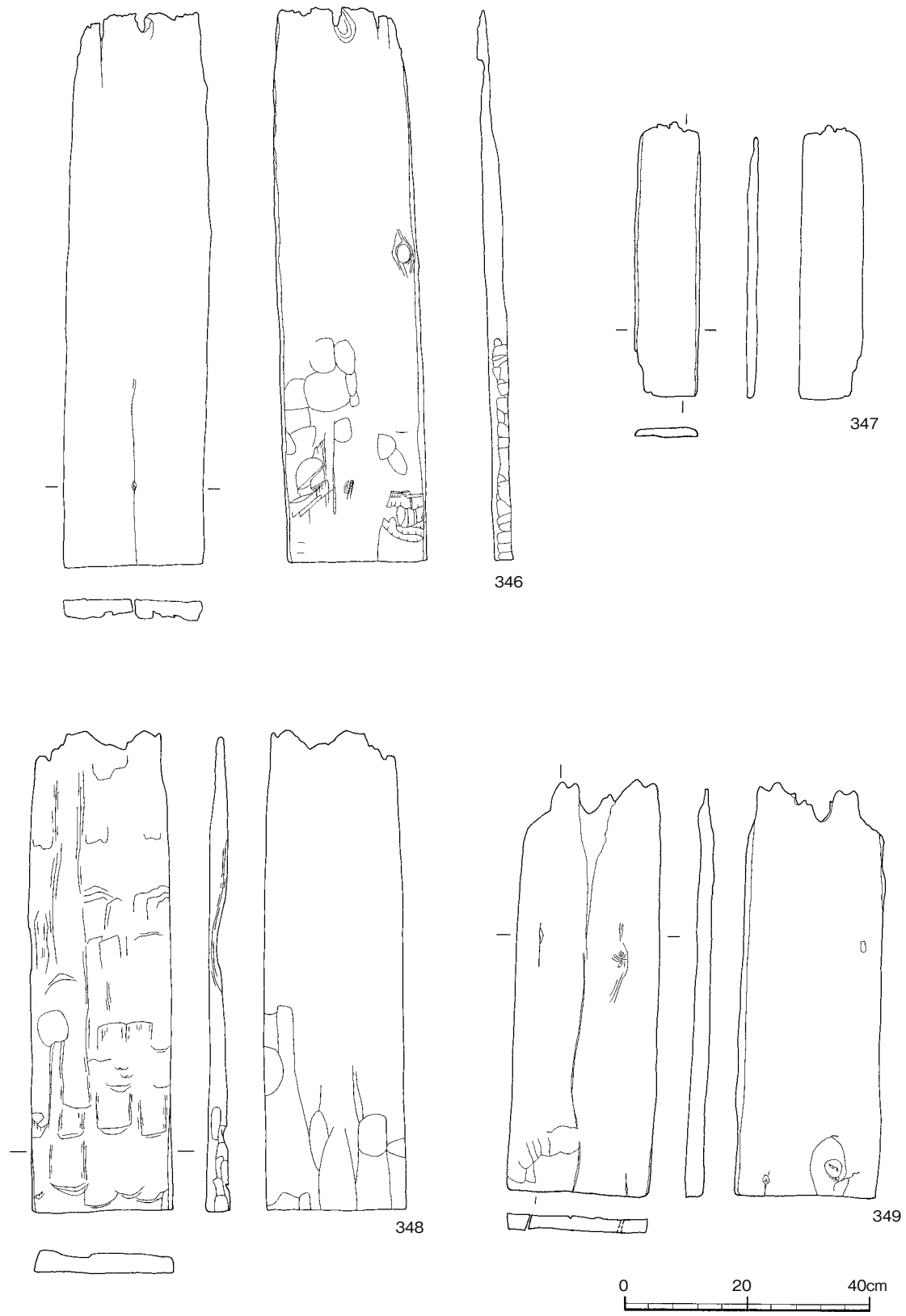
第55図 SE-37 井戸跡出土木製品実測図



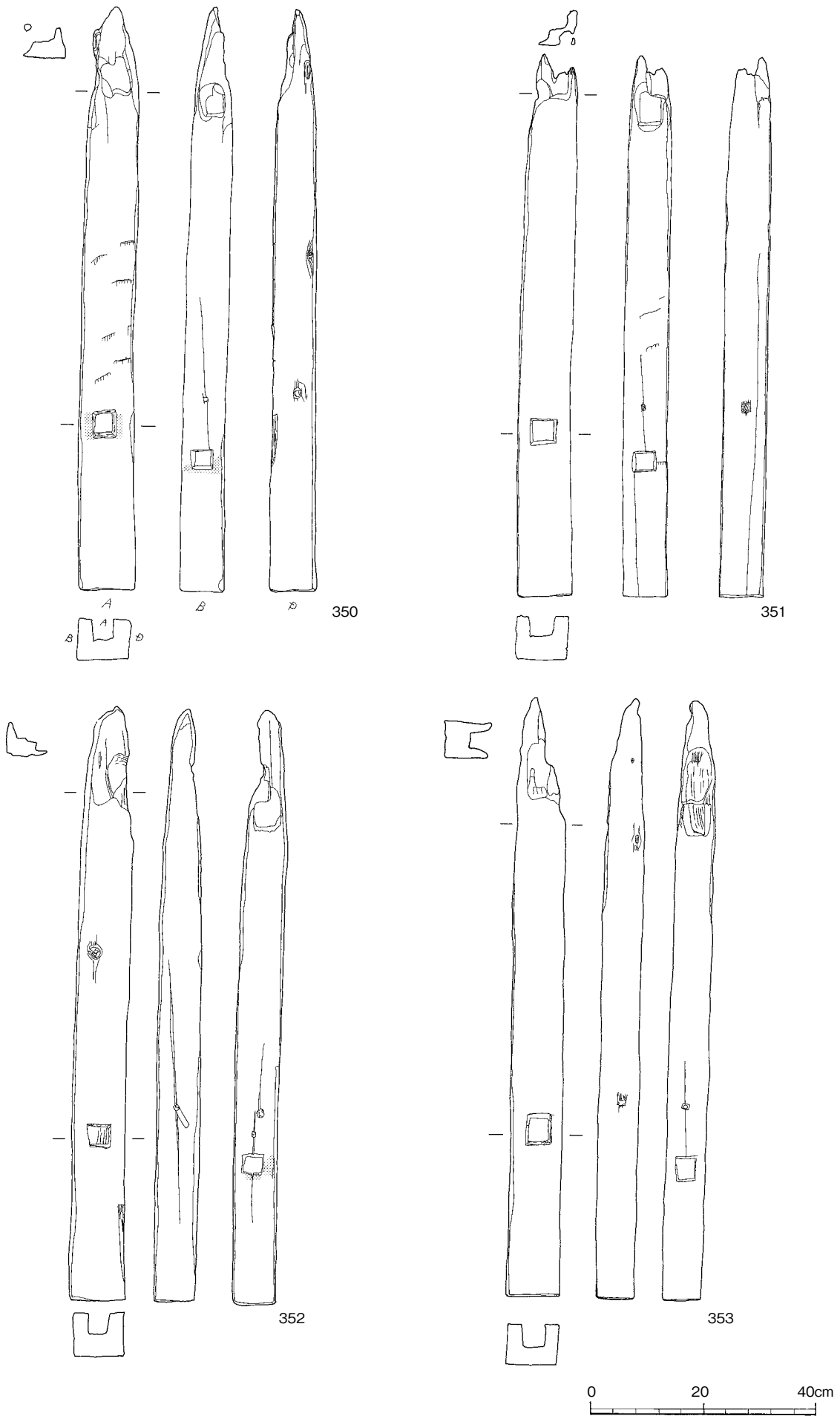
第56図 SE-38 井戸跡出土木製品実測図



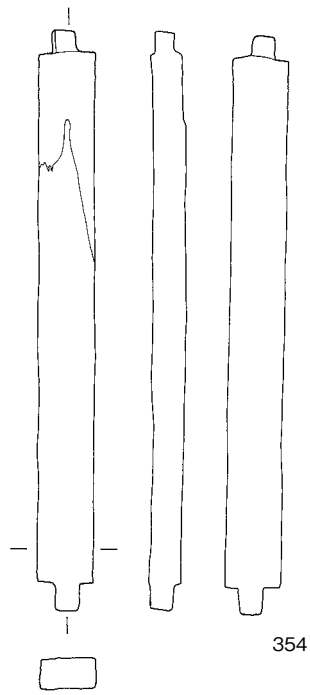
第57図 SE-39 井戸跡出土木製品実測図 (1)



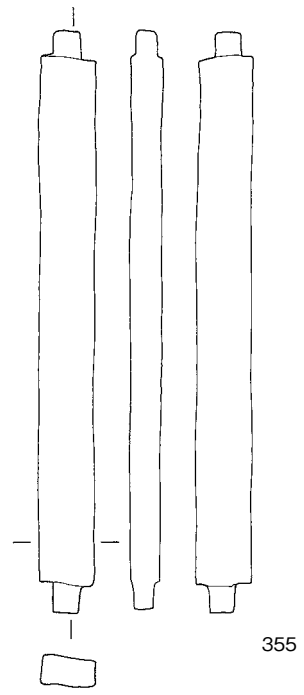
第58図 SE-39 井戸跡出土木製品実測図 (2)



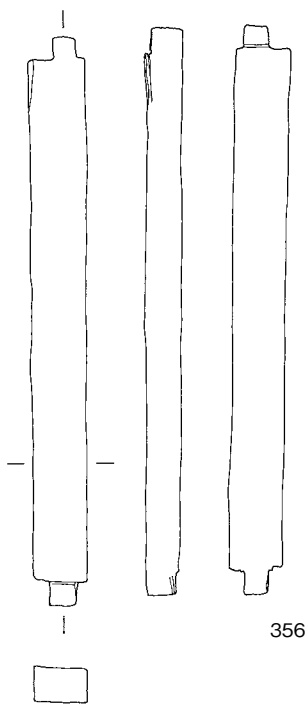
第59図 SE-39 井戸跡出土木製品実測図 (3)



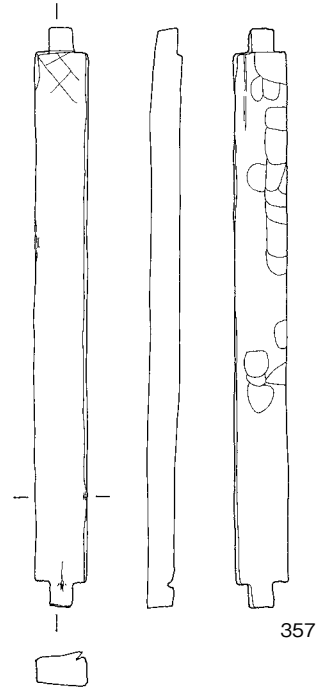
354



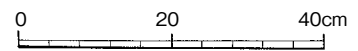
355



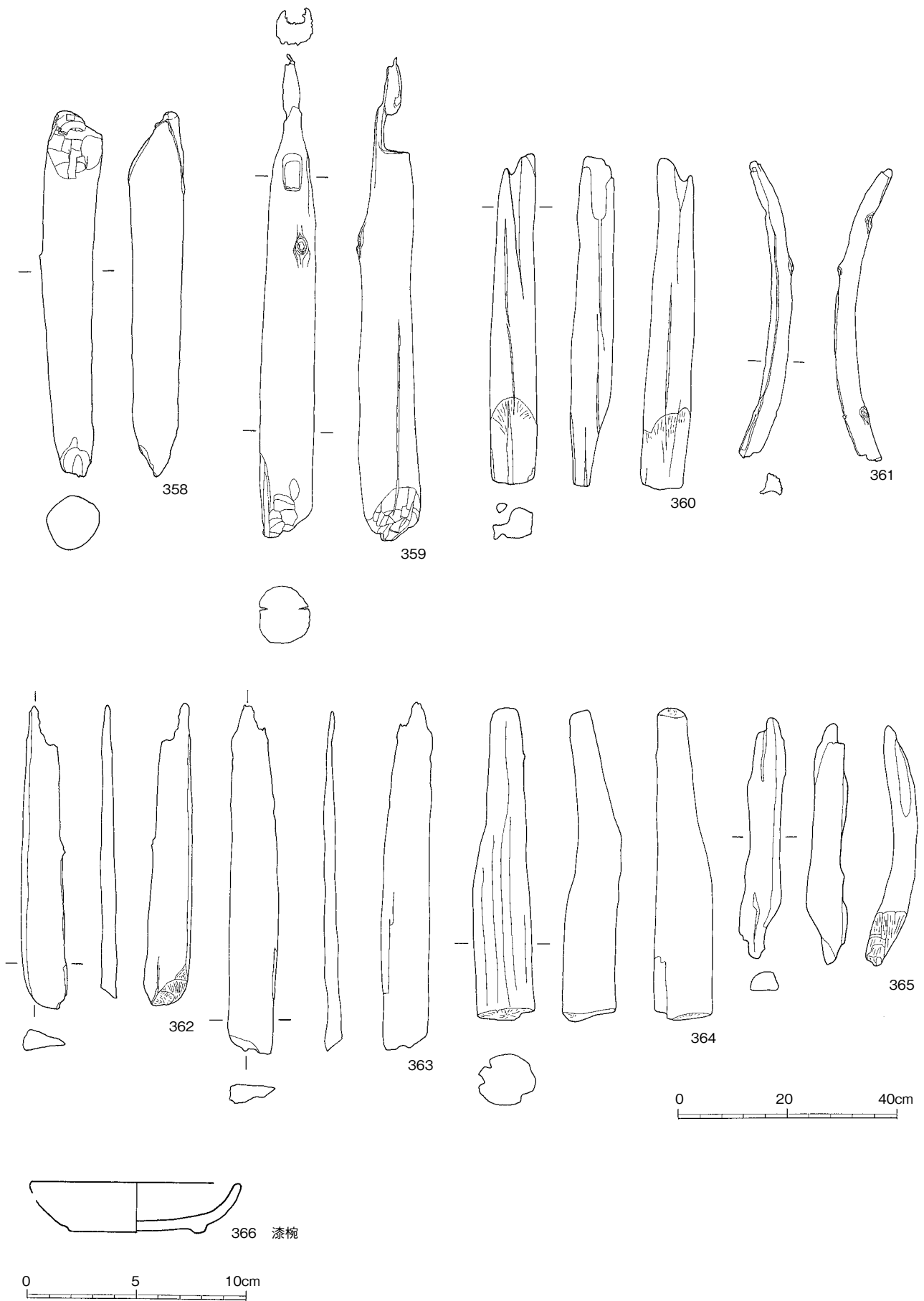
356



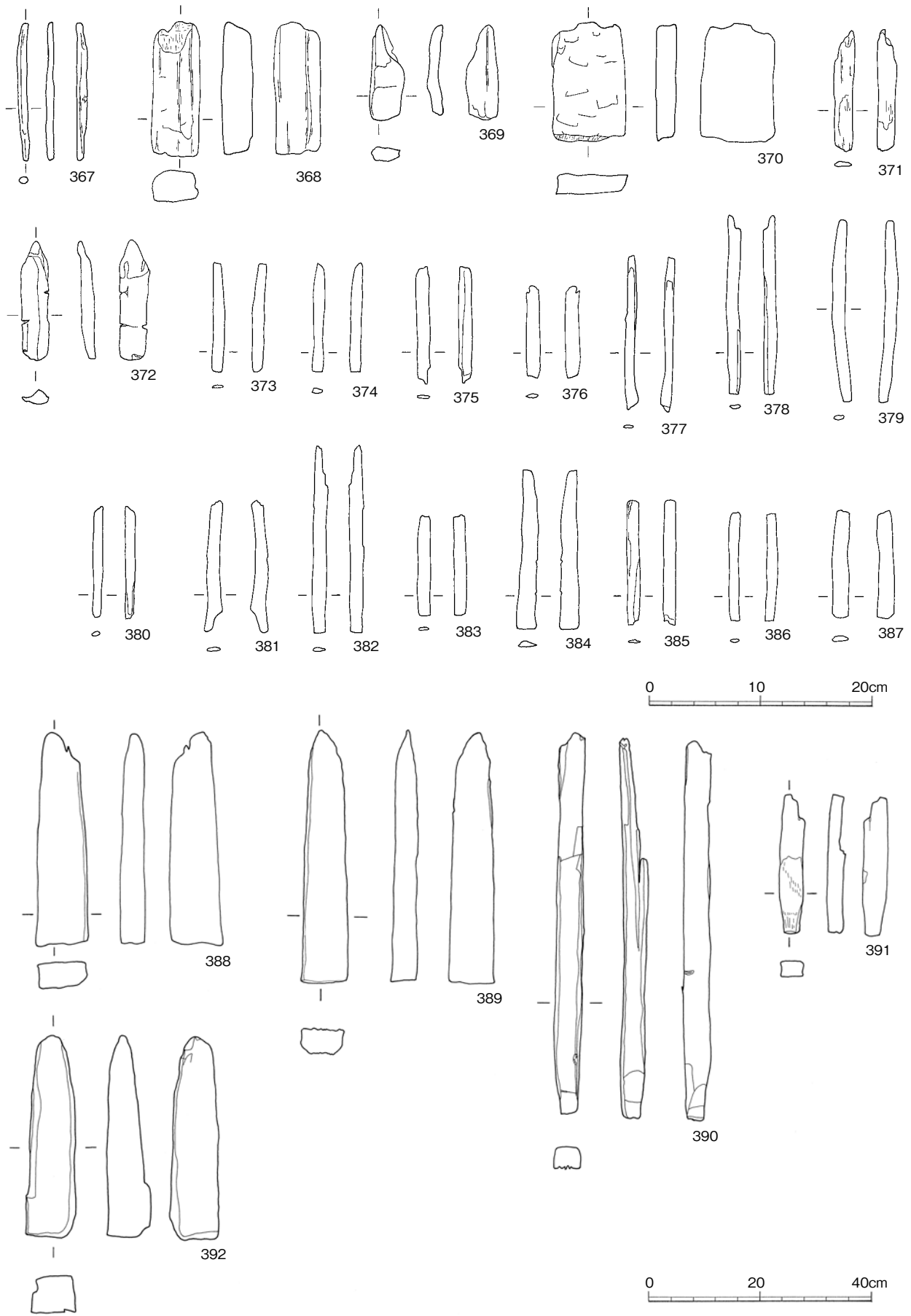
357



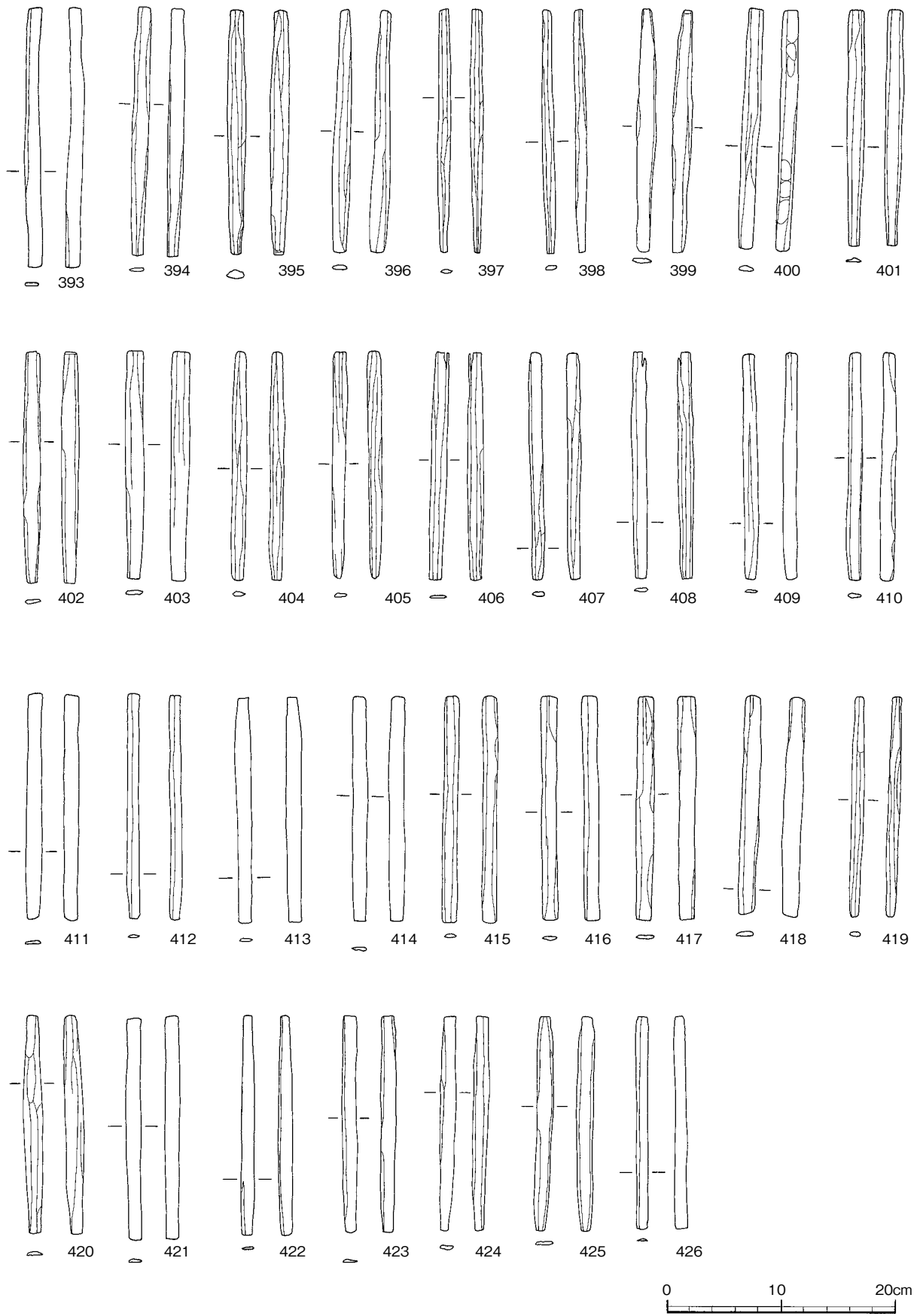
第60図 SE-39 井戸跡出土木製品実測図 (4)



第61図 SE-40 井戸跡出土木製品実測図

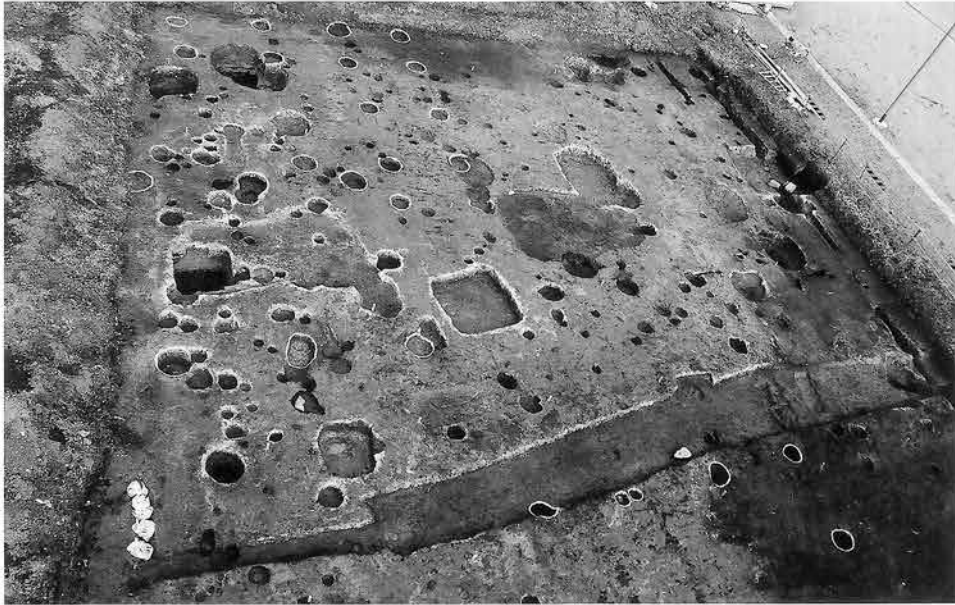


第62図 土坑跡出土木製品実測図



第63図 SK-286 土坑跡出土ちゅう木実測図

写真図版



北区東側（南から）

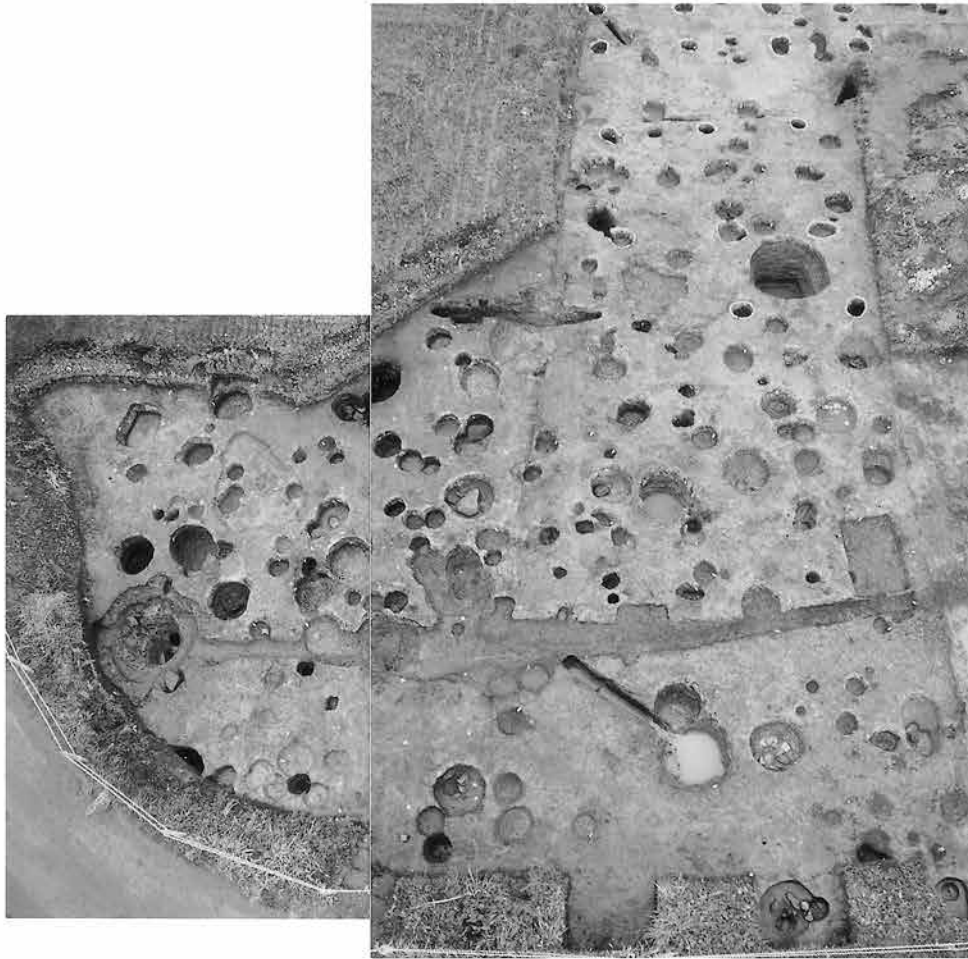


中央部東側（西から）



南区北側（東から）

写真1 調査区全景1



中央部西側（南より）



南区南側（東から）

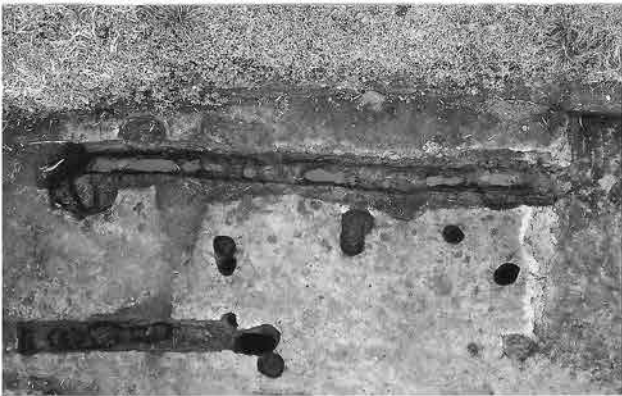
写真2 調査区全景2



SD-138溝跡



SD-138溝跡 (断面)



SD-138溝跡・SD-139溝跡



SD-139溝跡 (断面)



SI-61竪穴住居跡



SI-61竪穴住居跡 (東西断面)



SI-61竪穴住居跡 (カマド断面)



SI-61竪穴住居跡 (南北断面)



SI-62竪穴住居跡 (南北断面)



SI-62竪穴住居跡 (遺物出土状況)



SI-63竪穴住居跡 (東側断面)



SI-63竪穴住居跡 (西側断面)



SI-63竪穴住居跡 (南北断面)



SI-63竪穴住居跡 (全景)



SI-65竪穴住居跡 (遺物出土状況)



SI-65竪穴住居跡 (東西断面)

写真4 竪穴住居跡



SE-35井戸跡 (断面)



SE-36井戸跡 (断面)



SE-36井戸跡 (礫出土状況)



SE-37井戸跡 (断面)



SE-37井戸跡 (曲げ物底出土状況)



SE-38井戸跡 (断面)



SE-38井戸跡 (井戸枠)





SE-39井戸跡



SE-39井戸跡 (断面)



SE-39井戸跡 (張出し部分断面)



SE-40井戸跡 (井戸柱出土状況)



SE-40井戸跡 (断面)



SE-40井戸跡 (漆碗出土状況)



SE-40井戸跡 (碗出土状況)



SE-40井戸跡

写真6 井戸跡2



SK-240土坑跡（断面）



SK-241土坑跡（断面）



SK-241土坑跡（かわらけ出土状況）



SK-241土坑跡・SK-240土坑跡



SK-241土坑跡（鉄製品出土状況）



SK-242土坑跡



SK-243土坑跡



SK-243土坑跡（断面）

写真7 土坑跡1



SK-244土坑跡



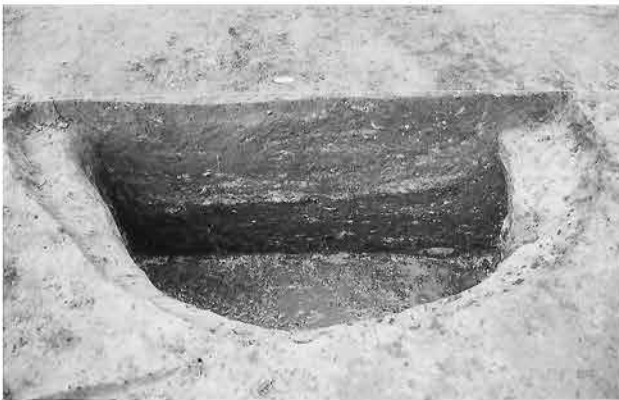
SK-244土坑跡 (断面)



SK-244土坑跡 (かわらけ出土状況)



SK-245土坑跡 (断面)



SK-247土坑跡 (断面)



SK-248土坑跡 (かわらけ出土状況)



SK-248土坑跡



SK-248土坑跡 (断面)



SK-249土坑跡 (断面)



SK-250 土坑 断面



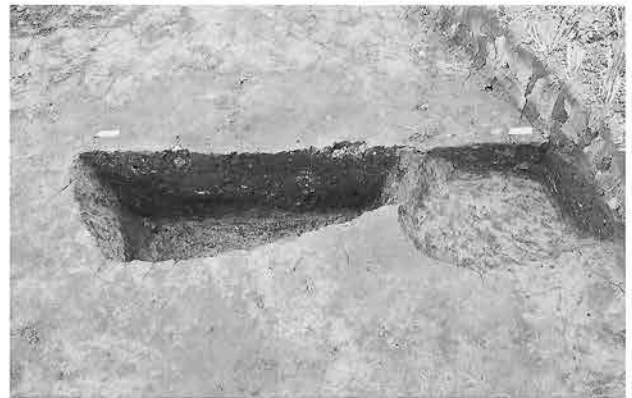
SK-250土坑跡 (低面)



SK-250土坑跡 (出土遺物)



SK-251土坑跡 (断面)



SK-252土坑跡 (断面)



SK-253土坑跡 (断面)



SK-255土坑跡 (断面)

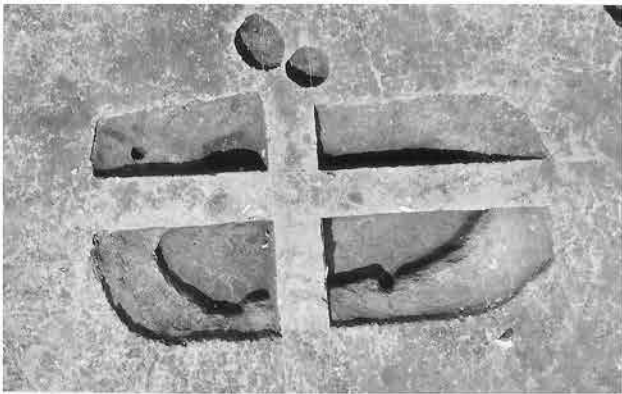
写真9 土坑跡3



SK-257土坑跡（西側断面）



SK-257土坑跡（東側断面）



SK-257土坑跡



SK-258土坑跡（断面）



SK-259土坑跡



SK-259土坑跡（東西断面）



SK-259土坑跡（南北断面）



SK-260土坑跡（南北断面）

写真10 土坑跡4



SK-260土坑跡



SK-260土坑跡 (かわらけ出土状況)



SK-261土坑跡 (断面)



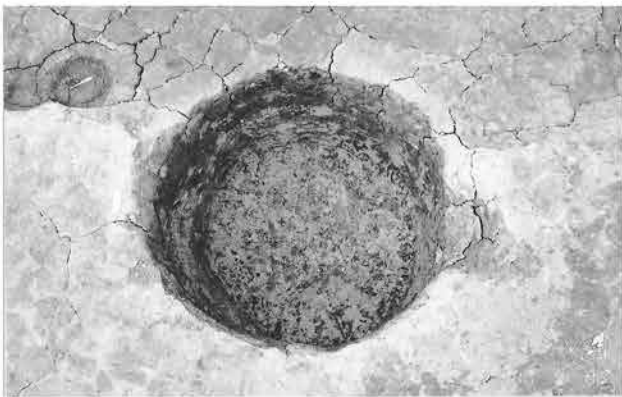
SK-262土坑跡 (断面)



SK-264土坑跡・SK-263土坑跡



SK-264土坑跡 (かわらけ出土状況)



SK-264土坑跡



SK-264土坑跡 (断面)

写真11 土坑跡5



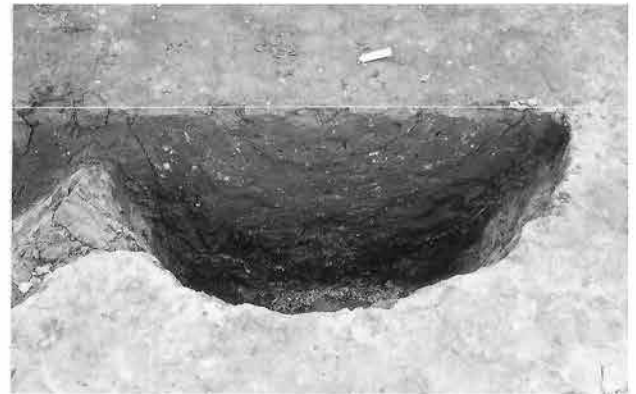
SK-266土坑跡



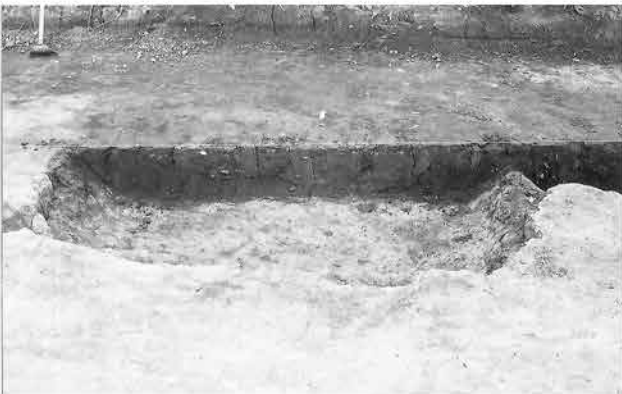
SK-266土坑跡 (断面)



SK-267土坑跡 (断面)



SK-268土坑跡 (断面)



SK-269土坑跡 (断面)



SK-270土坑跡 (断面)

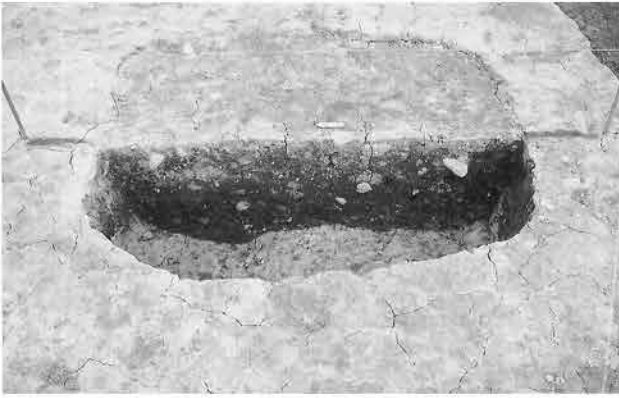


SK-271土坑跡 (断面)

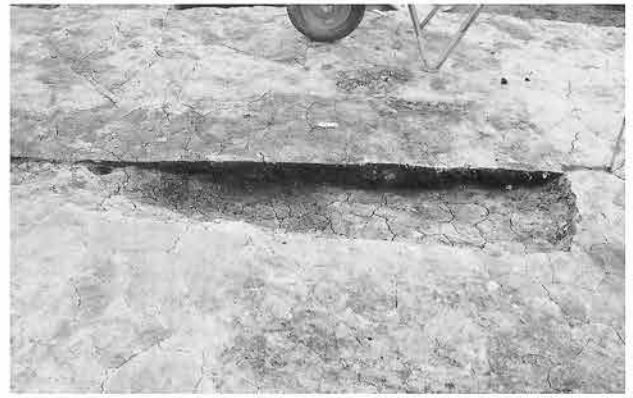


SK-272土坑跡 (断面)

写真12 土坑跡6



SK-273土坑跡 (断面)



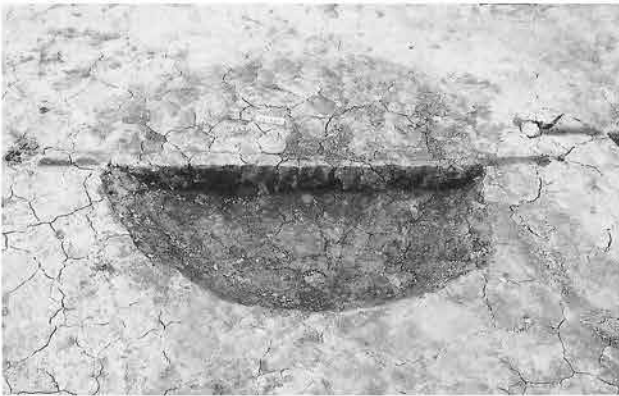
SK-274土坑跡 (断面)



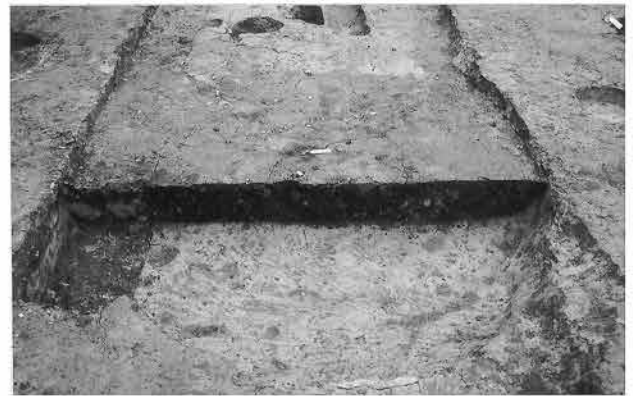
SK-275土坑跡



SK-275土坑跡 (断面)



SK-276土坑跡 (断面)



SK-278土坑跡 (断面)



SK-279土坑跡 (断面)



SK-280土坑跡 (断面)

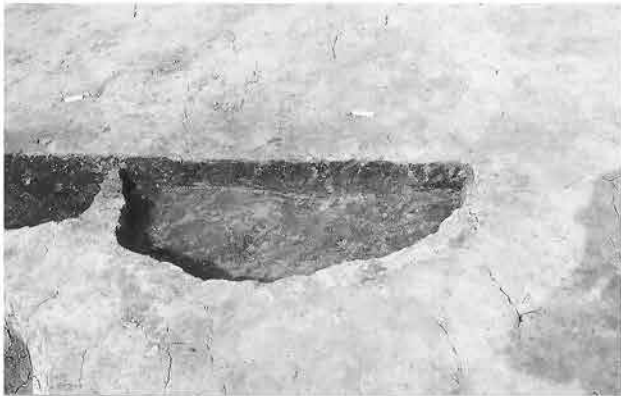
写真13 土坑跡7



SK-281土坑跡（かわらけ出土状況）



SK-281土坑跡（断面）



SK-283土坑跡（断面）



SK-286土坑跡（断面）

写真14 土坑跡8



SD-138溝跡



SD-138溝跡 (断面)



SD-141溝跡・SD-142溝跡



SD-142溝跡

写真15 溝跡

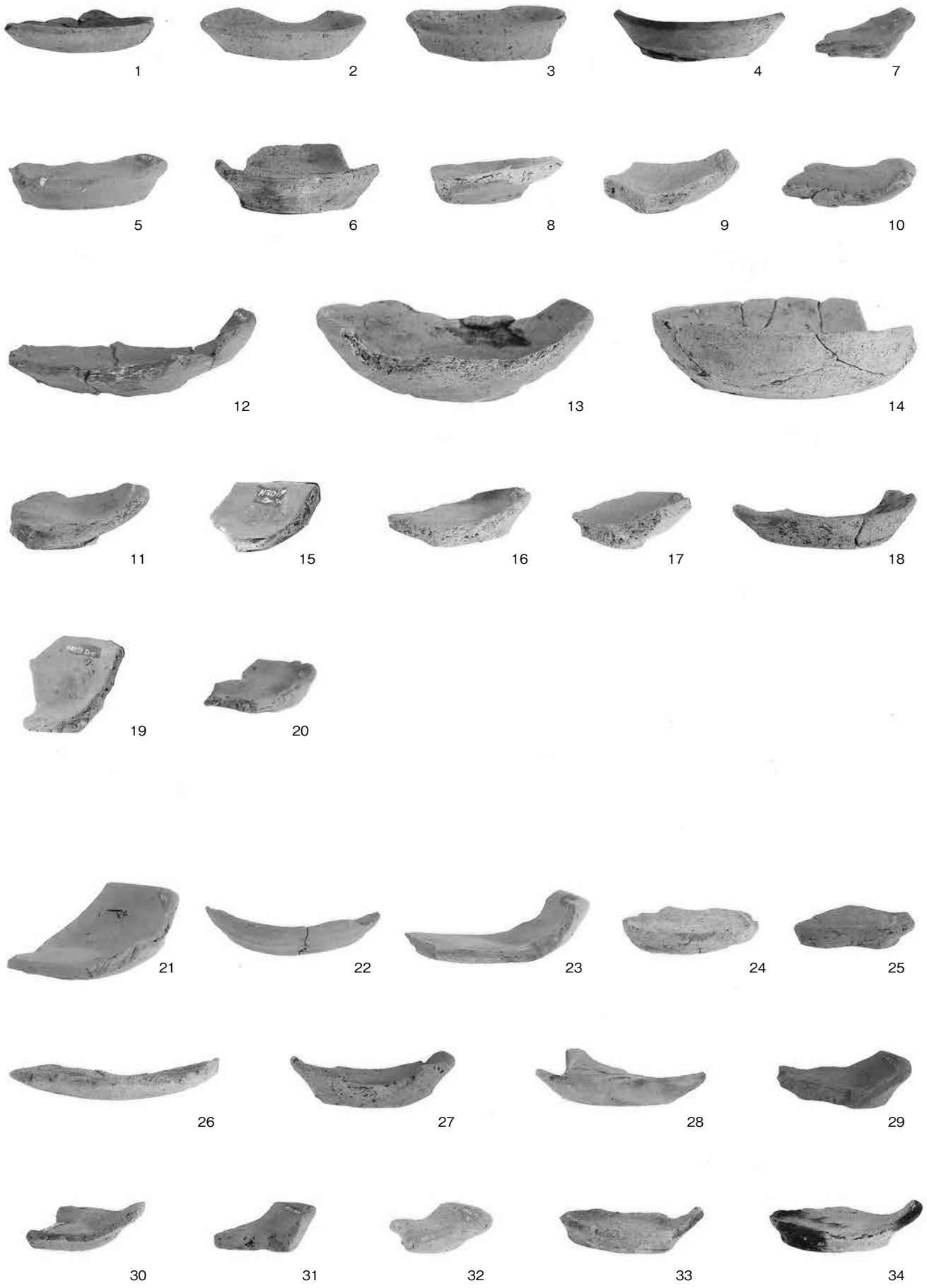


写真16 出土遺物1

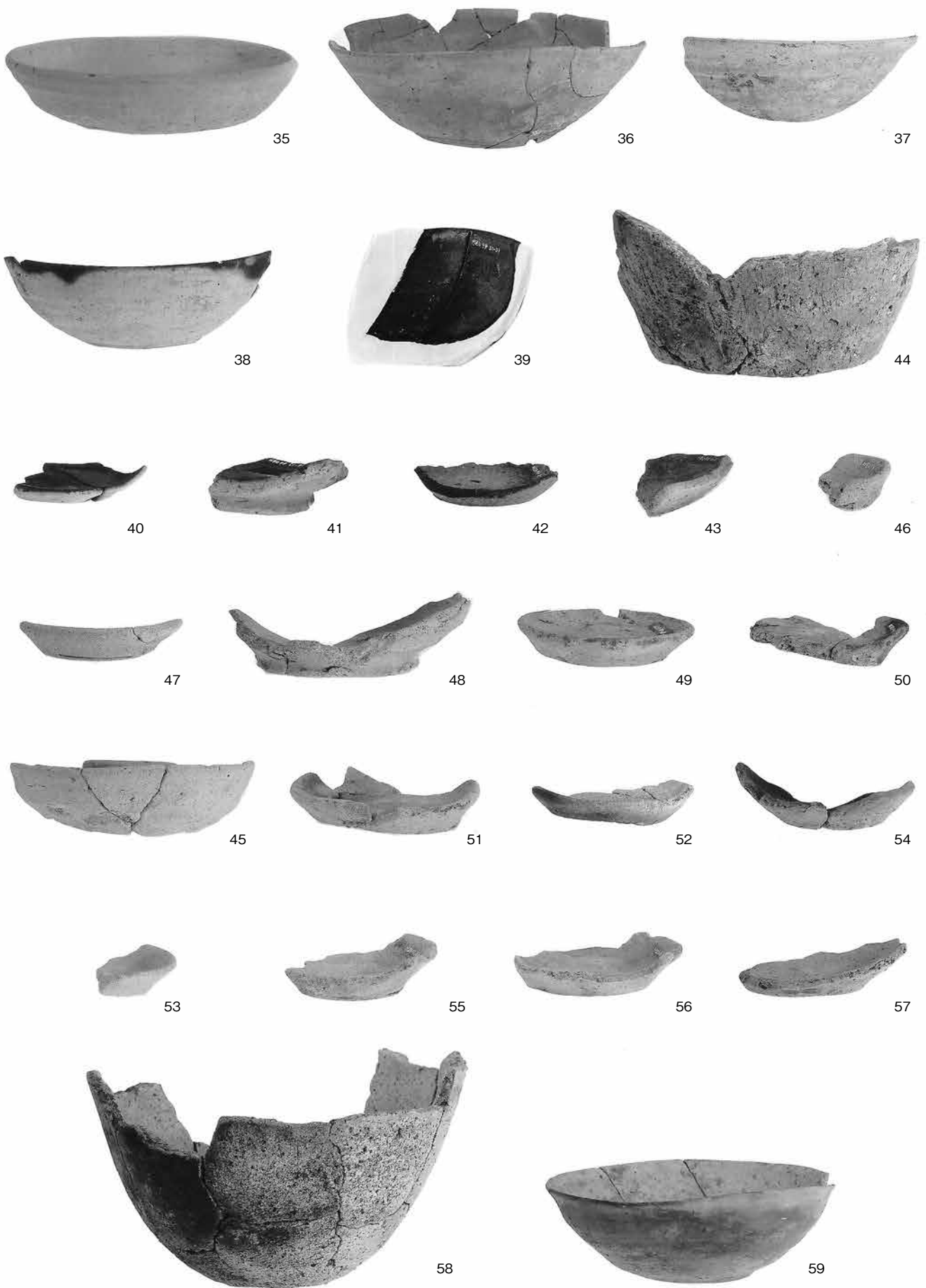


写真17 出土遺物2

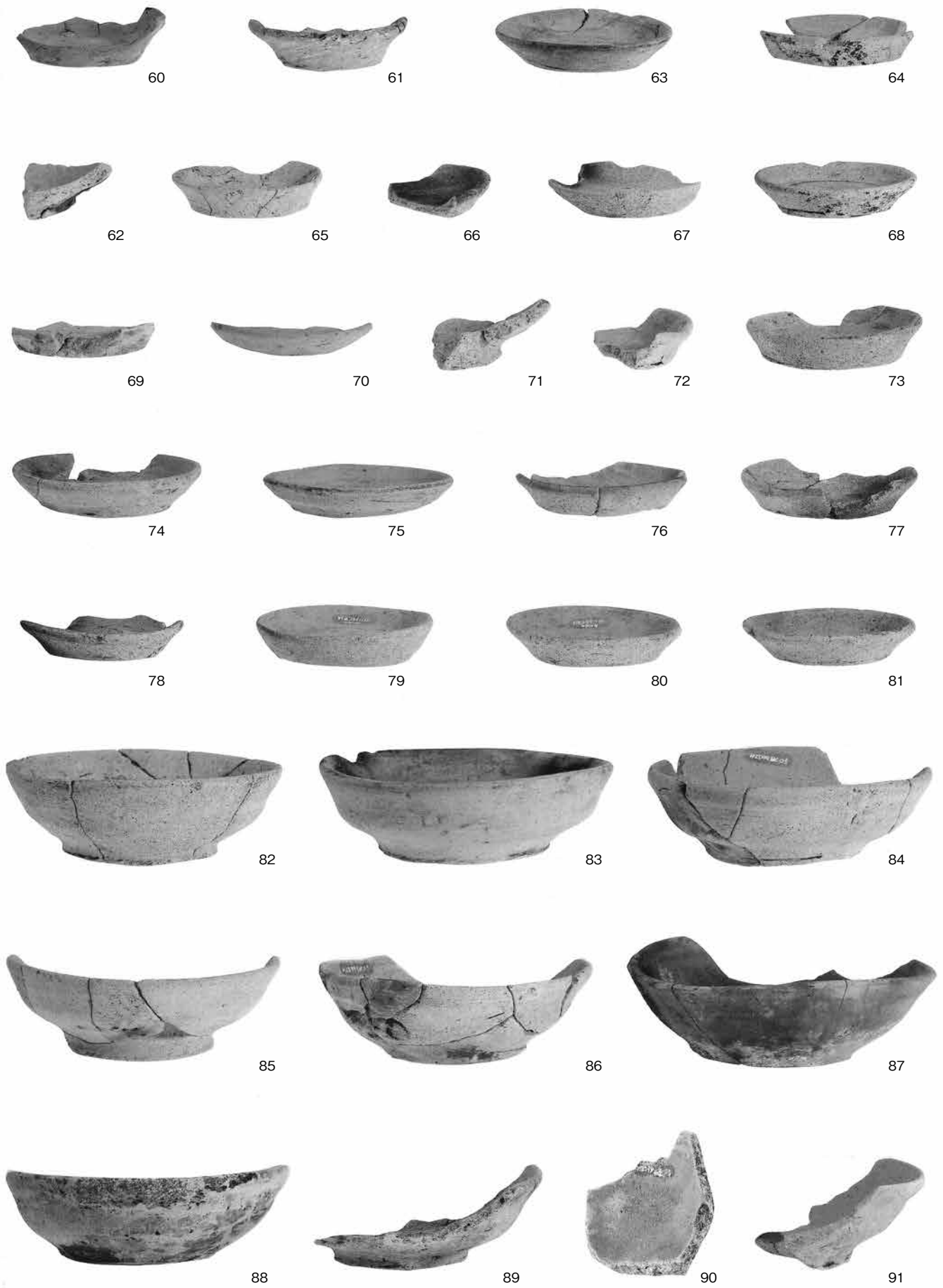


写真18 出土遺物3

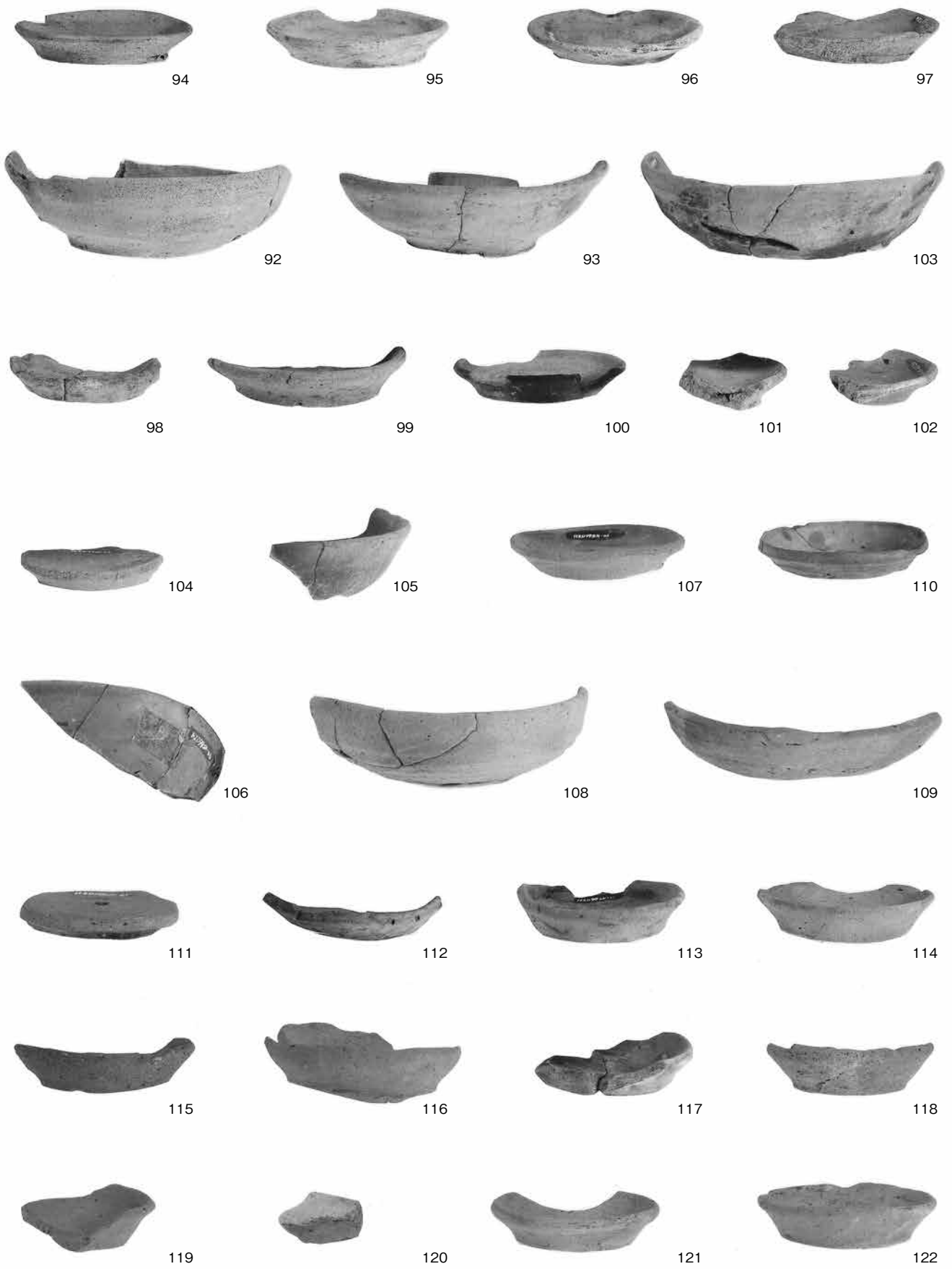


写真19 出土遺物4



123



124



125



126



127



128



129



130



132



131



133



134



135



136



137



138



139



140



141



142



143



144



145



146



147



148



149

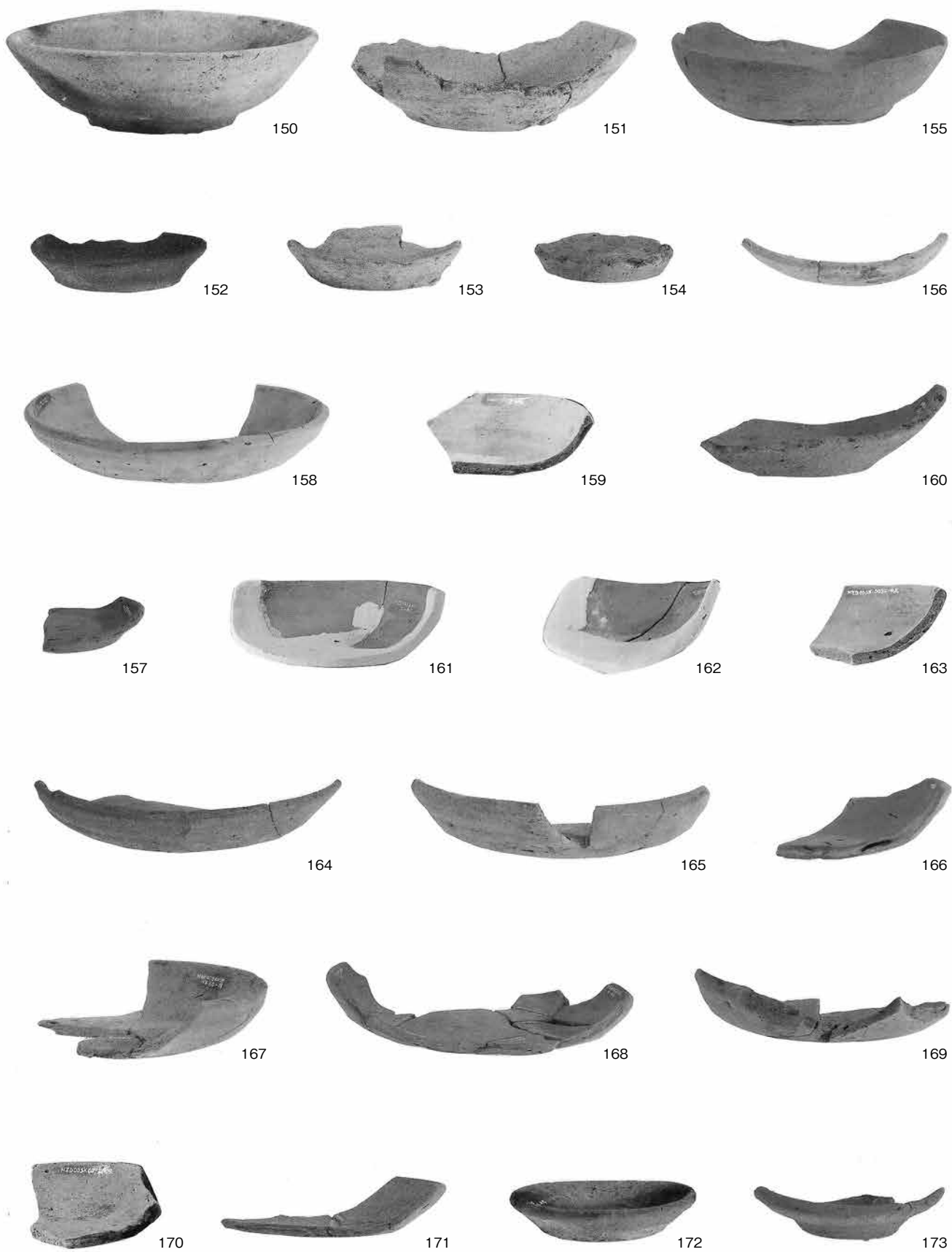


写真21 出土遺物6

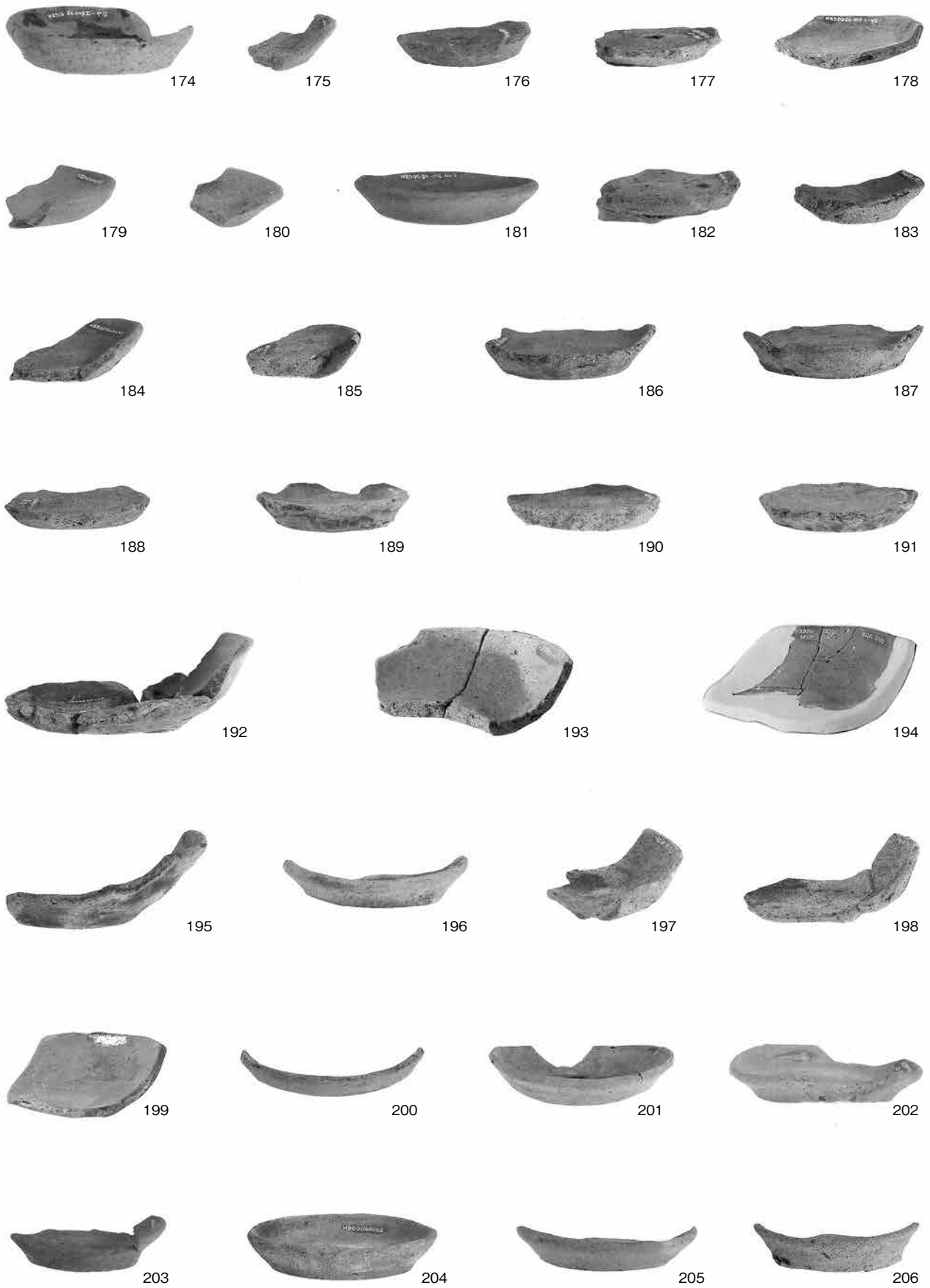


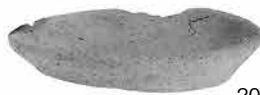
写真22 出土遺物7



207



208



209



210



211



212



213



214



215



219



216



217



218



220



221



222



223



228



224



225



226



227

写真23 出土遺物8

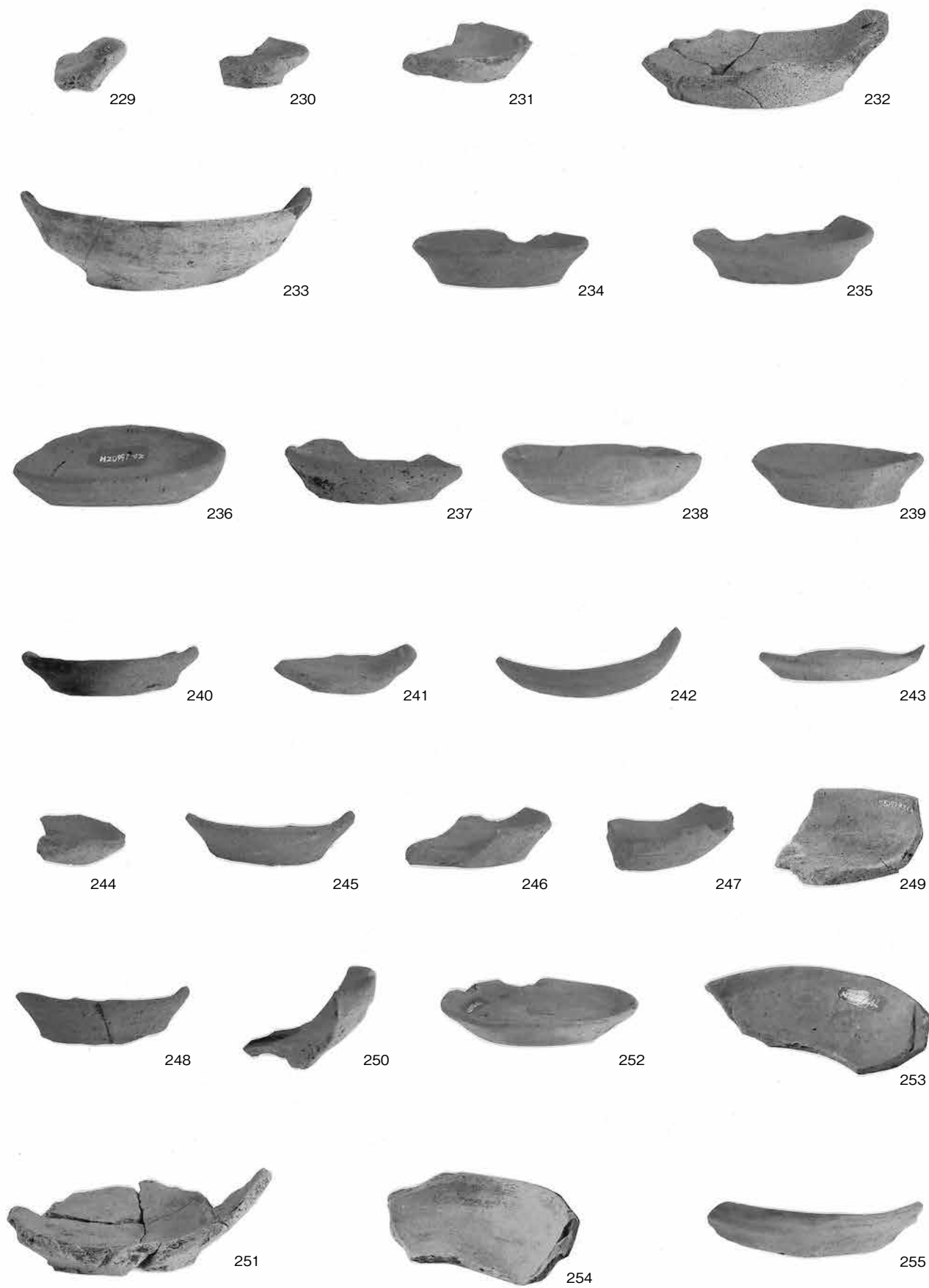


写真24 出土遺物9

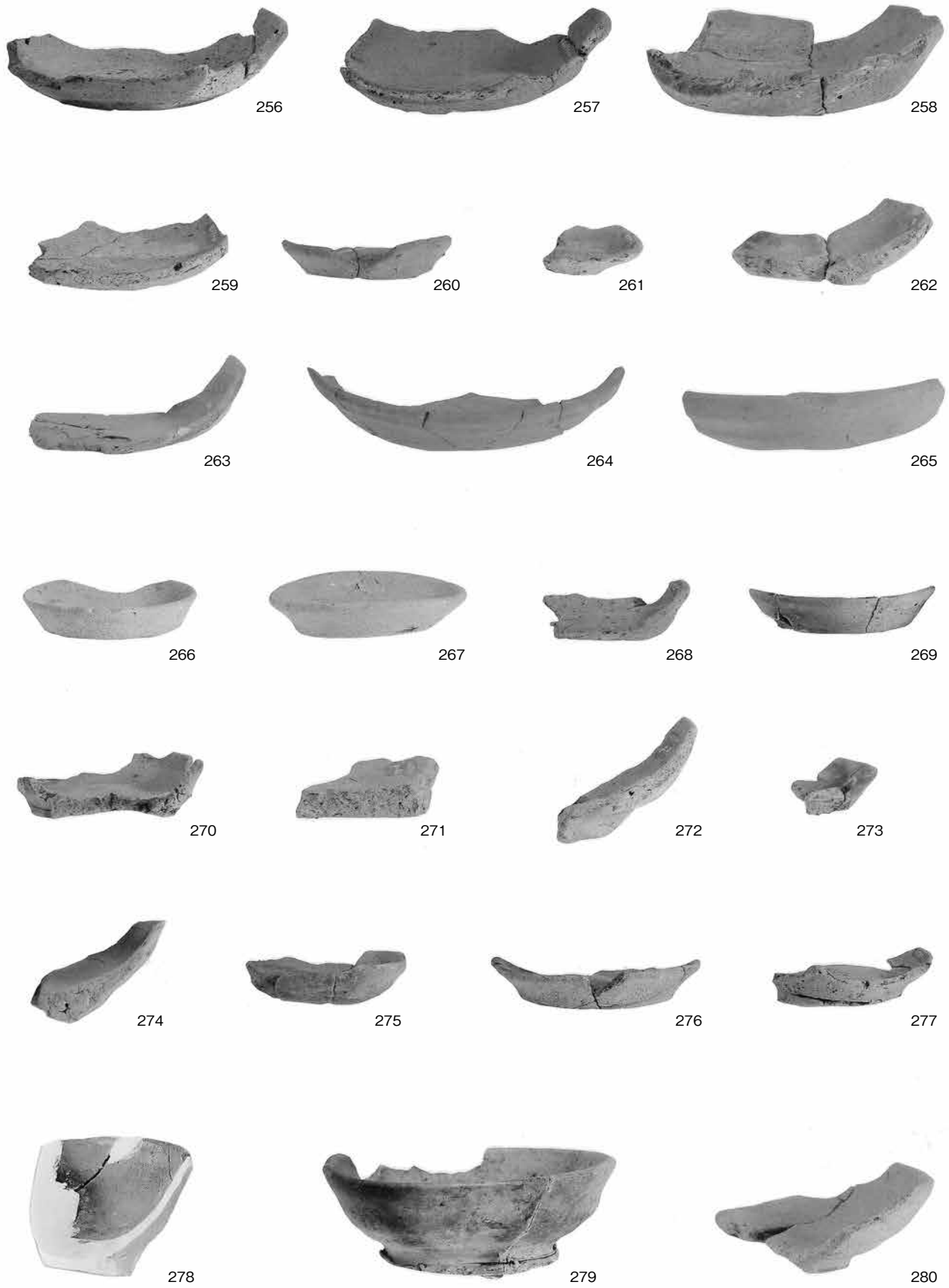


写真25 出土遺物10



281



282



283



284



285



286



287



288



289



290



291



292



293



294



296



299



295



297



298



300



301



302

検出面出土



303

表土出土



316



317



318



319



333



334



335



336



341



342



343



344



345



346



347



348



349



350



351



352



353



354



355



356



357



366

抄 録

ふりがな	ひづめだてあと							
書名	比爪館跡							
副書名	第23次・第24次発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
編著者名	桜井芳彦、花籠博文							
編集機関	紫波町教育委員会							
所在地	岩手県紫波郡紫波町日詰字下丸森24-2							
発行年月日	2013年3月							
(ふりがな) 所収遺跡名	(ふりがな) 所在地	コード		北緯	東経	期間	面積	原因
		町	遺跡					
ひづめだてあと 比爪館跡	いわてけんしわくぐんしわちやう 岩手県紫波郡紫波町 みなみひづめあざほこしみず 南日詰字箱清水15-4 他	03321	LE77- 0087	39° 32′ 06″	141° 09′ 45″	19990701 ～ 20001215	1,509㎡	学校 施設 建設
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	住居跡 城館跡	平安 平安末期	竪穴住居跡 掘立柱建物跡 井戸跡 土坑跡	かわらけ 須恵器 磁器 鉄器 木製品		吾妻鏡記載 奥州藤原氏 関連遺跡		

紫波町埋蔵文化財調査報告書2012

比 爪 館 跡

第23次・第24次発掘調査報告書

発行 平成25年3月

紫波町教育委員会

所在地 〒028-3305

岩手県紫波郡紫波町日詰字下丸森24-2

TEL (019) 672-3362

印刷 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 盛岡市川目町23-2 盛岡中央工業団地

TEL (019) 651-2110
